Nikon

デジタルカメラ

COOLPIX S4000

クールピクスS4000

使用説明書

Jp

商標説明

- Microsoft、WindowsおよびWindows Vistaは、Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Macintosh、Mac OSおよびQuickTimeは、Apple Inc.の商標です。
- AdobeおよびAdobe AcrobatはAdobe Systems, Inc.（アドビシステムズ社）の商標、または特定地域における同社の登録商標です。
- SDロゴおよびSDHCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- PictBridgeロゴは商標です。
- その他の会社名、製品名は各社の商標、登録商標です。

安全上のご注意

お使いになる前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しい方法でお使いください。
この「安全上のご注意」は製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために重要な内容を記載しています。内容を理解してから本文をお読みいただき、お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。
表示と意味は次のようになっています。

⚠危険	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が高いと想定される内容を示しています。
⚠警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

お守りいただく内容の種類を、次の図記号で区分し、説明しています。

絵表示の例	
	△記号は、注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。図の中や近くに具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。
	⃠記号は、禁止（してはいけないこと）の行為を告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	●記号は、行為を強制すること（必ずすること）を告げるものです。図の中や近くに具体的な強制内容（左図の場合はプラグをコンセントから抜く）が描かれています。

⚠警告（カメラについて）

分解禁止	**分解したり、修理や改造をしないこと** 感電したり、異常動作をしてケガの原因となります。
接触禁止 すぐに修理依頼を	**落下などによって破損し、内部が露出したときは、露出部に手を触れないこと** 感電したり、破損部でケガをする原因となります。 電池、電源を抜いて、ニコンサービス機関に修理を依頼してください。
水かけ禁止	**水につけたり、水をかけたり、雨にぬらしたりしないこと** 発火したり感電の原因となります。
電池を取る すぐに修理依頼を	**熱くなる、煙が出る、こげ臭いなどの異常時は、すみやかに電池を取り出すこと** そのまま使用すると火災、やけどの原因となります。 電池を取り出す際、やけどに充分注意してください。 電池を抜いて、ニコンサービス機関に修理を依頼してください。

使用禁止

引火、爆発のおそれのある場所では使用しないこと

プロパンガス、ガソリンなど引火性ガスや粉塵の発生する場所で使用すると爆発や火災の原因となります。

発光禁止

車の運転者等にむけてフラッシュを発光しないこと

事故の原因となります。

発光禁止

フラッシュを人の目に近づけて発光しないこと

視力障害の原因となります。
特に乳幼児を撮影する時は1 m以上離れてください。

保管注意

幼児の口に入る小さな付属品は、幼児の手の届かないところに置くこと

幼児の飲み込みの原因となります。
万一飲み込んだときは、直ちに医師にご相談ください。

保管注意

ストラップが首に巻き付かないようにすること

特に幼児・児童の首にストラップをかけないこと

首に巻き付いて窒息の原因となります。

警告

指定の電源(電池、本体充電ACアダプターまたはACアダプター)を使うこと

指定以外のものを使用すると、火災や感電の原因となります。

使用禁止

充電時やACアダプター使用時に雷が鳴り出したら、電源プラグに触れないこと

感電の原因となります。
雷が鳴り止むまで機器から離れてください。

⚠注意(カメラについて)

感電注意

ぬれた手でさわらないこと

感電の原因になることがあります。

保管注意

製品は、幼児の手の届かない所に置くこと

ケガの原因になることがあります。

保管注意

使用しないときは、電源をOFFにしてレンズを遮光し、太陽光のあたらない所に保管すること

太陽光が焦点を結び、火災の原因になることがあります。

移動注意

三脚にカメラを取り付けたまま移動しないこと

転倒したりぶつけたりしてケガの原因になることがあります。

使用注意

航空機内で使うときは、離着陸時に電源をOFFにすること

病院で使うときは病院の指示に従うこと

本機器が出す電磁波などにより、航空機の計器や医療機器に影響を与えるおそれがあります。

電池を取る

プラグを抜く

長期間使用しないときは電源(電池、本体充電ACアダプターまたはACアダプター)を外すこと

電池の液もれにより、火災、ケガや周囲を汚損する原因となることがあります。
本体充電ACアダプターやACアダプターをお使いの際には、電源プラグをコンセントから抜いて、その後でカメラを取り外してください。火災の原因となることがあります。

発光禁止

内蔵フラッシュの発光窓を人体やものに密着させて発光させないこと

やけどや発火の原因となることがあります。

禁止

布団でおおったり、つつんだりして使用しないこと

熱がこもりケースが変形し、火災の原因となることがあります。

放置禁止

窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しないこと

内部の部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。

禁止	**付属のCD-ROMを音楽用CDプレーヤーで使用しないこと** 機器に損傷を与えたり大きな音がして聴力に悪影響を及ぼすことがあります。

⚠危険
（専用Li-ionリチャージャブルバッテリーについて）

禁止	**電池を火に入れたり、加熱しないこと** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
分解禁止	**電池をショート、分解しないこと** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
危険	**専用の充電器を使用すること** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
使用禁止	Li-ionリチャージャブルバッテリー EN-EL10は、**ニコンデジタルカメラ専用の充電池でCOOLPIX S4000に対応しています。EN-EL10に対応していない機器には使用しないこと** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
危険	**ネックレス、ヘアピンなど金属製のものと一緒に持ち運んだり、保管しないこと** ショートして液もれ、発熱、破裂の原因となります。 持ち運ぶときはバッテリーケースに入れてください。
危険	**電池からもれた液が目に入ったときは、すぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受けること** そのままにしておくと、目に傷害を与える原因となります。

⚠警告
（専用Li-ionリチャージャブルバッテリーについて）

保管注意	**電池は幼児の手の届かないところに置くこと** 幼児の飲み込みの原因となります。万一飲み込んだときは、直ちに医師にご相談ください。
水かけ禁止	**水につけたり、ぬらさないこと** 液もれ、発熱の原因となります。
使用禁止	**変色や変形、そのほか今までと異なることに気づいたときは、使用しないこと** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
警告	**充電の際に所定の充電時間を超えても充電が完了しないときは、充電をやめること** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
警告	**電池をリサイクルするときや、やむなく廃棄するときは、テープなどで接点部を絶縁すること** 他の金属と接触すると、発熱、破裂、発火の原因となります。ニコンサービス機関またはリサイクル協力店にご持参いただくか、お住まいの自治体の規則に従って廃棄してください。
警告	**電池からもれた液が皮膚や衣服に付いたときは、すぐにきれいな水で洗うこと** そのままにしておくと、皮膚がかぶれたりする原因となります。

⚠注意
（専用Li-ionリチャージャブルバッテリーについて）

注意	**電池に強い衝撃を与えたり、投げたりしないこと** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。

⚠警告
（本体充電ACアダプターについて）

 分解禁止	**分解したり、修理や改造をしないこと** 感電したり、異常動作をしてケガの原因となります。
 接触禁止 すぐに修理依頼を	**落下などによって破損し、内部が露出した時は、露出部に手を触れないこと** 感電したり、破損部でケガをする原因となります。 電源プラグをコンセントから抜いて、ニコンサービス機関に修理を依頼してください。
 プラグを抜く すぐに修理依頼を	**熱くなる、煙が出る、こげ臭いなどの異常時は、速やかに電源プラグをコンセントから抜くこと** そのまま使用すると火災、やけどの原因となります。 電源プラグをコンセントから抜く際、やけどに充分注意してください。 電源プラグを抜いて、ニコンサービス機関に修理を依頼してください。
 水かけ禁止	**水につけたり、水をかけたり、雨にぬらしたりしないこと** 発火したり感電の原因となります。
 使用禁止	**引火、爆発のおそれのある場所では使用しないこと** プロパンガス、ガソリンなど引火性ガスや粉塵の発生する場所で使用すると爆発や火災の原因となります。
 警告	**電源プラグの金属部やその周辺にほこりが付着しているときは、乾いた布で拭き取ること** そのまま使用すると、火災の原因になります。
 使用禁止	**雷が鳴り出したら、電源プラグに触れないこと** 感電の原因となります。 雷が鳴り止むまで機器から離れてください。
 禁止	**ケーブルを傷つけたり、加工したりしないこと** **また、重いものを載せたり、加熱したり、引っぱったり、むりに曲げたりしないこと** ケーブルが破損し、火災、感電の原因となります。
 感電注意	**ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないこと** 感電の原因となります。
 禁止	**海外旅行者用電子式変圧器（トラベルコンバーター）やDC/ACインバーターなどの電源に接続して使わないこと** 発熱、故障、火災の原因となります。

⚠注意
（本体充電ACアダプターについて）

 感電注意	**ぬれた手でさわらないこと** 感電の原因になることがあります。
 放置禁止	**製品は、幼児の手の届かない所に置くこと** ケガの原因になることがあります。
 禁止	**布団でおおったり、つつんだりして使用しないこと** 熱がこもりケースが変形し、火災の原因となることがあります。

目次

使用説明書について

ニコンデジタルカメラCOOLPIX S4000をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

お使いになる前に、この使用説明書をよくお読みになり、内容を充分に理解してから正しくお使いください。お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに保管し、撮影を楽しむためにお役立てください。

●本文中のマークについて

カメラの故障を防ぐために、使用前に注意していただきたいことや守っていただきたいことを記載しています。

カメラを使用するときに、便利な情報を記載しています。

カメラを使用する前に知っておいていただきたいことを記載しています。

関連情報を記載した参照ページを記載しています。

●表記について

- SDメモリーカードを「SDカード」と表記しています。
- ご購入時のカメラの設定を「初期設定」と表記しています。
- 液晶モニターに表示されるメニュー項目や、パソコンに表示されるボタン名、メッセージなどは、[ ] で囲って表記しています。

●画面例について

本書では、液晶モニター上の表示をわかりやすく説明するために、被写体の表示を省略している場合があります。

●本文中のイラストについて

本文中の画面表示を含むイラストは、実際と異なる場合があります。

内蔵メモリーとSDカードについて

本機は、内蔵メモリーとSDカードの両方に対応しています。SDカードをカメラにセットしているときは、SDカードが優先して使用されます。内蔵メモリーを使用して、撮影、再生、削除、初期化などの操作をするときは、SDカードをカメラから取り出してください。

ご確認ください

●保証書について

この製品には「保証書」が付いていますのでご確認ください。「保証書」は、お買い上げの際、ご購入店からお客様へ直接お渡しすることになっています。必ず「ご購入年月日」と「ご購入店」が記入された保証書をお受け取りください。「保証書」をお受け取りにならないと、ご購入1年以内の保証修理が受けられないことになります。お受け取りにならなかった場合は、ただちに購入店にご請求ください。

●カスタマー登録

下記のホームページからカスタマー登録できます。

https://reg.nikon-image.com/

付属の「登録のご案内」に記載されている登録コードをご用意ください。

●カスタマーサポート

下記のホームページでサポート情報をご案内しています。

http://www.nikon-image.com/jpn/support/

●大切な撮影を行う前には試し撮りを

大切な撮影（結婚式や海外旅行など）の前には、必ず試し撮りをしてカメラが正常に機能することを事前に確認してください。本製品の故障に起因する付随的損害（撮影に要した諸費用および利益喪失等に関する損害等）についての補償はご容赦願います。

●本製品を安心してご使用いただくために

本製品は、当社製のアクセサリー（バッテリー、バッテリーチャージャー、本体充電ACアダプター、ACアダプターなど）に適合するように作られていますので、当社製品との組み合わせでお使いください。

- Li-ionリチャージャブルバッテリー EN-EL10には、ニコン純正品であることを示すホログラムシールが貼られています。
- 模倣品のLi-ionリチャージャブルバッテリーをお使いになると、カメラの充分な性能が出せないことや、バッテリーの異常な発熱や液もれ、破裂、発火などの原因となることがあります。

ホログラムシール

- 他社製品や模倣品と組み合わせてお使いになると、事故、故障などが起こる可能性があります。その場合、当社の保証の対象外となりますのでご注意ください。

●使用説明書について

- この使用説明書の一部または全部を無断で転載することは、固くお断りいたします。
- 仕様、性能は予告なく変更することがありますので、ご承知ください。
- 使用説明書の誤りなどについての補償はご容赦ください。
- 使用説明書の内容が破損などによって判読できなくなったときは、下記のホームページから使用説明書のPDFファイルをダウンロードできます。

  http://www.nikon-image.com/jpn/support/manual/

  ニコンサービス機関で新しい使用説明書を購入することもできます（有料）。

●著作権についてのご注意

あなたがカメラで撮影または録音したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権上、権利者に無断で使うことができません。なお、実演や興業、展示物の中には、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影や録音を制限している場合がありますのでご注意ください。また、著作権の目的となっている画像や音楽は、著作権法の規定による範囲内でお使いになる以外は、ご利用いただけませんのでご注意ください。

●カメラやメモリーカードを譲渡/廃棄するときのご注意

メモリー（SDカード/カメラ内蔵メモリーを含む）内のデータはカメラやパソコンで初期化または削除しただけでは、完全には削除されません。譲渡/廃棄した後に市販のデータ修復ソフトウェアなどを使ってデータが復元され、重要なデータが流出してしまう可能性があります。メモリー内のデータはお客様の責任において管理してください。

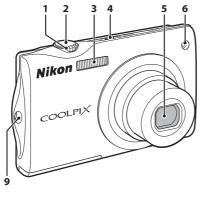
メモリーを譲渡/廃棄する際は、市販のデータ削除専用ソフトウェアなどを使ってデータを完全に削除するか、初期化後にメモリーがいっぱいになるまで、空や地面などを撮影することをおすすめします。なお、「オープニング画面」の「撮影した画像」（🕮140）も、同様に別の画像で置き換えてから譲渡/廃棄してください。メモリーを物理的に破壊して廃棄するときは、周囲の状況やけがなどに充分ご注意ください。

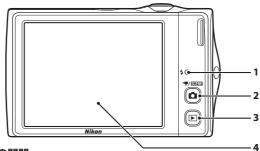
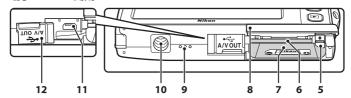
●電波障害自主規制について

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
使用説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

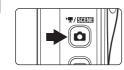
VCCI-B

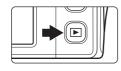
各部の名称

カメラ本体

レンズ収納時

1	ズームレバー ....29 W ：広角ズーム ....29 T ：望遠ズーム ....29 ▦ ：サムネイル表示 ....77 Q ：拡大 79	5	レンズ ....157、174
2	シャッターボタン 30	6	セルフタイマーランプ ....44 AF補助光............147
3	内蔵フラッシュ 42	7	マイク ....103、119
4	電源スイッチ/電源ランプ ....26、149	8	レンズバリアー 158
		9	ストラップ取り付け部 7

端子カバーの開閉

1	充電ランプ ....19、131 フラッシュランプ 43	7	バッテリー室 16
2	（撮影モード）ボタン ....6、46	8	バッテリー /SDカードカバー ....16、24
3	（再生）ボタン ....6、32、80	9	スピーカー ....104、123
4	液晶モニター /タッチパネル 10	10	三脚ネジ穴
5	バッテリーロックレバー ....16、17	11	USB/オーディオビデオ出力端子 .... 124、127、133
6	SDカードスロット 24	12	端子カバー .... 124、127、133

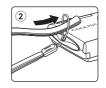
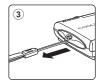
主なボタン操作

◘（撮影モード）ボタン

- 再生モードで◘ボタンを押すと、撮影モードになります。
- 撮影モードで◘ボタンを押すと、「撮影モードメニュー」を表示して、撮影モードの切り換えができます（◫46）。

▶（再生）ボタン

- 撮影モードで▶ボタンを押すと、再生モードになります。
- 再生モードで▶ボタンを押すと、「再生モードメニュー」を表示して、再生モードの切り換えができます（◫80）。
- 電源がOFFの状態で▶ボタンを押し続けると、再生モードで電源をONにできます。

シャッターボタンの半押しと全押し

シャッターボタンを軽く抵抗を感じるところまで押して、そのまま指を止めることを、「シャッターボタンを半押しする」といいます。半押しするとピントと露出が合い、そのまま深く押し込む（全押しする）と、シャッターがきれます。シャッターボタンを押すときに力を入れすぎると、カメラが動いて画像がぶれる（手ブレする）ことがあるので、ゆっくりと押し込んでください。

ストラップの取り付け方

タッチパネルの操作方法

COOLPIX S4000の液晶モニターは、タッチパネルになっています。指や付属のタッチペンで画面をタッチして操作します。

タッチする

タッチパネルに触れて離す動作です。

以下の操作をするときに使います。

- アイコンを選ぶ
- サムネイル表示中（📖77）に画像を選ぶ
- タッチシャッター（📖34）、タッチAF/AE（📖37）またはターゲット追尾（📖40）を使う
- 動画の撮影を開始/終了する（📖119）

ドラッグする

タッチパネルに触れたまま動かす動作です。

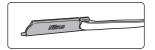
以下の操作をするときに使います。

- 再生中（1 コマ表示時）（📖32）に前後の画像を表示する
- 画像の拡大表示中（📖79）に表示範囲を移動する
- 露出補正（📖52）などのスライダー操作

タッチペンについて

指で操作しにくいときや、画像にペイントするとき（107）、手書きメモを書くとき（69）などはタッチペンを使うと便利です。

タッチペンの取り付け方

タッチペンは図のようにストラップに取り付けできます。

タッチパネルについてのご注意

- 付属のタッチペン以外の先のとがった硬い物で押さないでください。
- タッチパネルを必要以上に強く押したり、こすったりしないでください。

タッチ/ドラッグするときのご注意

- タッチするときに、指をタッチパネルに触れたままにすると、適切に動作しないことがあります。
- ドラッグするときに、以下の操作をすると、適切に動作しないことがあります。
  - タッチパネルを弾く
  - 指を動かす距離が短すぎる
  - タッチパネルを軽くなでるように指を動かす
  - 指を動かす速度が速すぎる

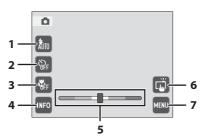
タッチペンについてのご注意

- タッチペンは乳幼児の手の届くところには置かないでください。
- タッチペンを持って、カメラを持ち運ばないでください。タッチペンからストラップが外れて、カメラが落下することがあります。

液晶モニター/タッチパネルの主な表示と基本操作

撮影時（操作部）

以下のアイコンをタッチすると、設定の切り換えができます。

- 情報表示のON/OFF、撮影モードや設定状態などによって、操作できる項目や表示は異なります。

1	フラッシュモード 42
2	セルフタイマー 44
3	マクロモード 45
4	情報の切り換え
5	色合い調整（料理モード時）..... 66
6	タッチ撮影 タッチシャッター .... 34 タッチAF/AE .... 37 ターゲット追尾 .... 40 タッチAF/AE解除 37
7	メニュー 14

情報のON/OFF表示について

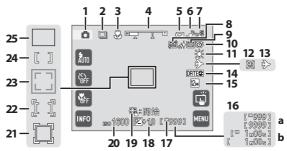
INFOをタッチすると、以下のように画面に表示される情報が切り換わります。説明のため、本書では情報ONの画面を記載しています。

情報 ON：撮影画像と操作アイコン、撮影情報を表示します。

方眼表示：構図を決めるための格子状ガイドを表示します（（オート撮影）モードのみ）。

撮影時（その他の表示）

以下の表示は、撮影メニュー（□47）などの設定内容やAF（オートフォーカス）エリアを示しています。

• 撮影モードや設定状態などによって、表示は異なります。

1	撮影モード※ .. 26、59、72、119
2	連写モード、BSS 53
3	マクロ領域表示 45
4	ズーム表示 .... 29、45
5	バッテリーチェック 26
6	モーション検知 146
7	電子式手ブレ補正 145
8	美肌効果 74
9	笑顔自動シャッター 74
10	目つぶり軽減 74
11	PRE ホワイトバランス 50
12	日時未設定 164
13	訪問先 141
14	DATE DATE デート写し込み 144
15	12M* 12M 8M 5M 3M PC VGA 16:9 画像モード ....48 720P TV 320 動画設定 121
16	a 記録可能コマ数（静止画）..... 26 b 記録可能時間（動画）...........119
17	IN 内蔵メモリー表示 27
18	+1.0 露出補正値 52
19	ターゲット追尾開始ガイド 40
20	ISO ISO感度表示 ....43、54
21	AFエリア（ターゲット追尾時）..................40
22	AFエリア（タッチAF/AE時）...37
23	AFエリア（顔認識時）.......30、55
24	AFエリア（中央時）...................55
25	AFエリア（オート）..........30、55

※撮影モードによって、表示されるアイコンが異なります。

再生時（操作部）

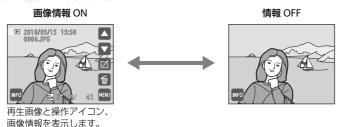
以下のアイコンをタッチすると、表示の切り換え、削除、編集などができます。

- 情報表示のON/OFF、再生中の画像の種類やカメラの状態によって、操作できる項目や表示は異なります。

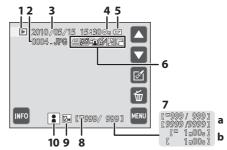
1	INFO 情報の切り換え
2	▲ 前の画像を表示 ......32 音量 ......104、123
3	▼ 次の画像を表示 32
4	画像編集 ....81、102、103、105 トリミング ......118 動画再生 123
5	削除 33
6	MENU メニュー 14

情報のON/OFF表示について

INFOをタッチすると、以下のように画面に表示される情報が切り換わります。説明のため、本書では情報ONの画面を記載しています。

再生画像と操作アイコン、画像情報を表示します。

再生時（情報表示）

以下の表示は、再生中の画像の情報を示しています。

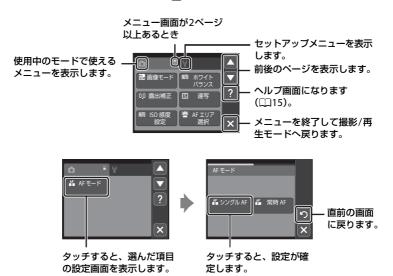
- 再生中の画像の種類やカメラの状態によって、表示は異なります。

1	再生モード※1 ...32、81、88、91
2	ファイル名 ...163
3	撮影日/撮影時刻 ...22
4	プロテクト設定 ...100
5	バッテリーチェック ...26
6	プリント指定 ...94 美肌 ...112 簡単レタッチ ...110 D-ライティング ...111 ペイント ...107 ピクチャーカラー ...117 スリム効果 ...114 アオリ効果 ...115 音声メモ ...104 スモールピクチャー ...116
7	a 画像の番号/全画像数 ...32 b 動画の再生時間 ...123
8	IN 内蔵メモリー表示 ...27
9	画像モード ...48 動画設定 ...121
10	お気に入り項目表示 ※2 ...83 オート分類項目表示 ※2 ...88

※1 再生モードによって、表示されるアイコンが異なります。

※2 再生時に選んだお気に入りフォルダーやオート分類項目のアイコンが表示されます。

メニュー画面

MENUをタッチすると、選んでいるモードに応じたメニューを表示します。

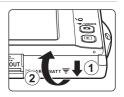
- 上部のタブを選ぶと、選んだタブのメニューに切り換わります。
- メニュー表示を終了するには、✕をタッチします。

ヘルプの表示方法

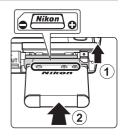
画面に ? が表示されているときに、そのアイコンをタッチすると、ヘルプ画面になります。項目をタッチすると、その機能の説明（ヘルプ）を表示できます。
↺ をタッチすると、直前の画面に戻ります。

バッテリーを入れる

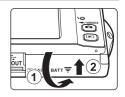
付属のLi-ionリチャージャブルバッテリー EN-EL10（リチウムイオン充電池）をカメラに入れます。

- ご購入直後やバッテリー残量が少なくなったときは、バッテリーを充電してからお使いください（□18）。

1 バッテリー /SDカードカバーを開ける

2 バッテリーを入れる

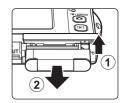
- バッテリー室内の表示を見ながら、＋と－を正しい向きで入れてください。
- バッテリーでオレンジ色のバッテリーロックレバーを矢印の方向に押し上げながら（①）、奥まで差し込みます（②）。
- 奥まで差し込むと、バッテリーロックレバーでバッテリーが固定されます。

逆挿入に注意

バッテリーの向きを間違えると、カメラを破損するおそれがあります。正しい向きになっているか、必ずご確認ください。

3 バッテリー /SDカードカバーを閉じる

バッテリーを取り出すときは

電源をOFFにして（□21）、電源ランプと液晶モニターの消灯を確認してから、バッテリー/SDカードカバーを開けてください。

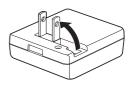
オレンジ色のバッテリーロックレバーを矢印の方向に押すと（①）、バッテリーが押し出されるので、まっすぐ引き抜いてください（②）。

- カメラを使った直後は、バッテリーが熱くなっていることがあります。取り出すときは充分ご注意ください。

バッテリーについてのご注意

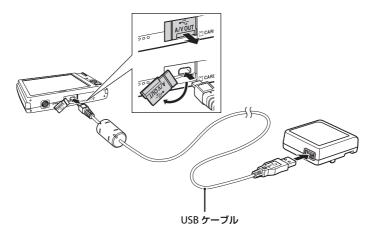
- リチャージャブルバッテリーをお使いになるときは、「安全上のご注意」の「危険」（□iv）、「警告」（□iv）、「注意」（□iv）の注意事項を必ずお守りください。
- 「取り扱い上のご注意 バッテリーについて」（□159）をよくお読みの上、内容を充分に理解してから正しくお使いください。
- バッテリーは、長期間使わないときでも必ず半年に1回は充電し、使い切った状態で保管してください。

バッテリーを充電する

付属のLi-ionリチャージャブルバッテリー EN-EL10（リチウムイオン充電池）を入れたカメラを家庭用コンセントに接続して充電します。
接続には付属の本体充電ACアダプター EH-68PとUSBケーブル UC-E6を使います。

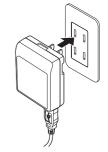
1 本体充電ACアダプター EH-68Pを用意する

2 カメラの電源ランプと液晶モニターが消灯していることを確認する

- バッテリーはカメラに入れ（□16）、電源はOFFにしてください（□21）。

3 付属のUSBケーブルでカメラと本体充電ACアダプターを接続する

ケーブル接続時のご注意

ケーブルは、端子の挿入方向を確認して、無理な力を加えずにまっすぐに差し込んでください。端子を引き抜くときも、まっすぐに引き抜いてください。

4 電源プラグをコンセントに差し込む

- カメラの充電ランプが緑色でゆっくり点滅し、充電が始まります。
- 残量がないバッテリーの場合、フル充電までの時間は約2時間10分です。

- コンセントに接続しているときの充電ランプの状態と意味は以下のとおりです。

充電ランプ	意味
ゆっくり点滅（緑色）	充電中です。
消灯	充電していません。ゆっくりした点滅（緑色）から消灯に変わると、充電の完了です。
速い点滅（緑色）	• 使用可能な温度ではありません。周囲の温度が 5 ～ 35 ℃の室内で充電してください。 • USB ケーブルまたは本体充電 AC アダプターが正しく接続されていないか、バッテリーの異常です。正しく接続し直すか、バッテリーを交換してください。

5 コンセントから本体充電AC アダプターを外し、USBケーブルを外す

本体充電ACアダプターについてのご注意

- 本体充電ACアダプター EH-68Pに対応している機器以外で使わないでください。
- EH-68Pをお使いになるときは、「安全上のご注意」の「警告」（□v）、「注意」（□v）の注意事項を必ずお守りください。
- 「取り扱い上のご注意　バッテリーについて」（□159）をよくお読みの上、内容を充分に理解してから正しくお使いください。
- EH-68Pは、家庭用電源のAC 100－240 V、50/60 Hz に対応しています。日本国外では、必要に応じて市販の変換プラグアダプターを装着してお使いください。変換プラグアダプターは、あらかじめ旅行代理店などでお確かめのうえ、お買い求めください。
- EH-68Pはカメラ内のバッテリーを充電するためのAC　アダプターです。カメラをEH-68Pでコンセントに接続しているときは、カメラの電源はONにできません。
- EH-68P 以外の本体充電AC アダプター、USB-AC アダプターは絶対に使わないでください。カメラの故障、発熱の原因となります。

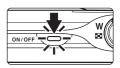
AC電源について

- 別売のACアダプター EH-62D（□161）を使うと、家庭用コンセント（AC 100 V）からこのカメラへ電源を供給して撮影または再生ができます。
- EH-62D以外のACアダプターは絶対に使わないでください。カメラの故障、発熱の原因となります。

パソコンや充電器で充電する

- COOLPIX S4000をパソコンに接続してもEN-EL10を充電できます（□126、152）。
- EN-EL10は、別売のバッテリーチャージャー MH-63（□161）でも充電できます。

電源をON/OFFするには

電源スイッチを押すと、電源がONになります。電源ランプ（緑色）が一瞬点灯した後、液晶モニターが点灯します。
もう一度電源スイッチを押すと、電源はOFFになります。電源がOFFになると、電源ランプと液晶モニターの両方が消灯します。

- 電源がOFFの状態で▶ボタンを押し続けると、再生モードで電源をONにできます（□33）。

節電機能について（オートパワーオフ）

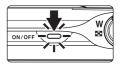
カメラを操作しない状態が続くと、液晶モニターが自動的に消灯して待機状態になり、電源ランプが点滅します。そのまま約3分経過すると、電源が自動的にOFFになります。

- 撮影時または再生時は、操作しない状態が約1分（初期設定）続くと待機状態になります。
- 待機状態で液晶モニターが消灯しているとき（電源ランプ点滅中）は、以下のボタンを押すと液晶モニターが点灯します。
  - 電源スイッチ、シャッターボタン、■ボタン、または▶ボタン
- 待機状態になるまでの時間は、セットアップメニュー（□138）の［**オートパワーオフ**］（□149）で変更できます。

表示言語と日時を設定する

ご購入後はじめて電源をONにすると、表示言語やカメラの内蔵時計の日時を設定する画面が自動的に表示されます。

1 電源スイッチを押して、電源をONにする

- 電源ランプ（緑色）が一瞬点灯し、液晶モニターが点灯します。

2 表示言語をタッチする

- タッチパネルの操作方法→□8

3 ［はい］をタッチする

- 日時設定を中止するときは［**いいえ**］をタッチします。

4 ◀または▶をタッチして自宅のある地域（タイムゾーン）（□143）を選び、OKをタッチする

夏時間を設定する

夏時間（サマータイム）が現在実施されているときは、手順4の地域設定画面で夏時間アイコンをタッチして、夏時間の設定をオンにします。
設定をオンにすると、画面上部に夏時間マークが表示されます。
オフにするときは、もう一度夏時間アイコンをタッチしてください。

5 ▲または▼をタッチして［年月日］の表示順を選ぶ

6 日時を合わせる

- 変更したい項目をタッチし、▲または▼をタッチして日時を合わせます。

7 OKをタッチして決定する

- 設定が有効になり、撮影画面になります。

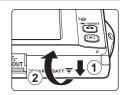
日時の変更と日付の写し込み

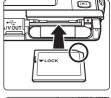
- すでに設定した日時を変更するときは、セットアップメニュー（□138）の［**日時設定**］（□141）で［**日時**］を選び、上記の手順5から設定してください。
- 地域（タイムゾーン）や夏時間の設定を変更するときは、セットアップメニューの［**日時設定**］から［**タイムゾーン**］を選んで設定してください（□141）。
- 日付を画像に写し込むときは、日時を設定した後に、セットアップメニューの［**デート写し込み**］を設定します（□144）。

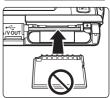
SDカードを入れる

撮影したデータは、カメラの内蔵メモリー（約45 MB）または市販のSDカード（□162）のどちらかに記録します。
カメラにSDカードを入れるとSDカードに記録し、SDカードのデータを再生、削除、または転送します。内蔵メモリーを使うときは、SDカードを取り出してください。

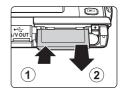
1 電源ランプと液晶モニターの消灯を確認してから、バッテリー/SDカードカバーを開ける

- バッテリー/SDカードカバーを開けるときは、必ず電源をOFFにしてください。

2 SDカードを入れる

- 右図のように正しい向きで、カチッと音がするまで差し込んでください。
- 挿入後、バッテリー/SDカードカバーを閉めてください。

逆挿入に注意

SDカードの向きを間違えると、カメラやSDカードを破損するおそれがあります。正しい向きになっているか、必ずご確認ください。

SDカードを取り出すときは

電源をOFFにし、電源ランプと液晶モニターの消灯を確認してから、バッテリー/SDカードカバーを開けてください。

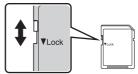
カードを指で軽く奥に押し込むと（①）、カードが押し出されます。まっすぐ引き抜いてください（②）。

SDカードの初期化

電源をONにしたときに右の画面が表示された場合は、SDカードを初期化する必要があります。**ただし、SDカードを初期化（🕮150）すると、カード内のデータはすべて消えてしまいます。**カード内に必要なデータが残っているときは、初期化する前に、パソコンなどに保存してください。
初期化するときは、［**はい**］をタッチします。確認画面が表示されたら、［**はい**］をタッチし、［**実行**］をタッチすると初期化が始まります。

- 初期化中は、電源をOFFにしたり、バッテリー/SDカードカバーを開けたりしないでください。
- 他の機器で使ったSDカードをこのカメラで初めて使うときは、必ずこのカメラで初期化（🕮150）してからお使いください。

SDカードの書き込み禁止スイッチについてのご注意

SDカードには、書き込み禁止スイッチが付いています。このスイッチを「Lock」の位置にすると、データの書き込みや削除を禁止して、カード内の画像を保護できます。撮影時や画像を削除するとき、カードを初期化するときは「Lock」を解除してください。

書き込み禁止スイッチ

SDカードの取り扱い上のご注意

- SDカード以外のメモリーカードは使えません。
- 初期化中、画像の記録や削除中、パソコンとの通信時などには、以下の操作をしないでください。記録しているデータの破損やカードの故障の原因となります。
  - カードを着脱しないでください
  - バッテリーを取り出さないでください
  - カメラの電源をOFFにしないでください
  - ACアダプターを外さないでください
- SDカードをパソコンで初期化（フォーマット）しないでください。
- 分解や改造をしないでください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたり、水に濡らしたりしないでください。
- 端子部を手や金属で触らないでください。
- ラベルやシールを貼らないでください。
- 高温になる車の中や直射日光の当たるところなどには置かないでください。
- 湿度の高いところやほこりが多いところ、腐食性のガスなどが発生するところには置かないでください。

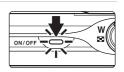
ステップ1　電源をONにして（オート撮影）を選ぶ

（オート撮影）モードでは、細かい設定を気にせず気軽に撮影できます。はじめてデジタルカメラを使う方でも簡単に撮影できます。

1 電源スイッチを押して電源をONにする

- 電源ランプ（緑色）が一瞬点灯し、液晶モニターが点灯します。このとき、レンズも繰り出します。
- 画面にが表示されているときは、手順4に進んでください。

2 ボタンを押して、撮影モードメニューを表示する

3 液晶モニターのをタッチする

- （オート撮影）モードになります。

4 液晶モニターでバッテリー残量と記録可能コマ数を確認する

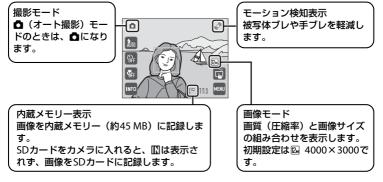
バッテリー残量

モニター表示	内容
表示なし	バッテリー残量は充分にあります。
	バッテリー残量が少なくなりました。 バッテリーの充電や交換の準備をしてください。
電池残量がありません	撮影できません。バッテリーを充電または交換してください。

記録可能コマ数

撮影できる残りのコマ数が表示されます。

記録可能コマ数は内蔵メモリーまたはセットしているSDカードのメモリー残量と画像モードによって異なります（49）。

（オート撮影）モードでの液晶モニター表示

- をタッチすると、画面に表示される情報が切り換わります（10）。
- 節電による待機状態で液晶モニターが消灯しているときは、以下のボタンを押すと液晶モニターが点灯します（149）。
  - 電源スイッチ、シャッターボタン、またはボタン

タッチシャッターについてのご注意

初期設定では、画面上の被写体にタッチするだけでシャッターをきることができます（34）。誤ってシャッターをきらないようにご注意ください。

（オート撮影）モードで使える機能

- タッチシャッター（34）、タッチAF/AE（37）、またはターゲット追尾（40）を使えます。
- フラッシュモード（42）の変更、セルフタイマー（44）、およびマクロモード（45）の設定ができます。
- をタッチすると、撮影メニュー（47）の各項目を、撮影状況に合わせて設定できます。

モーション検知について

詳しくは、セットアップメニュー（138）の［**モーション検知**］（146）をご覧ください。

電子式手ブレ補正について

セットアップメニューの［**電子式手ブレ補正**］（145）を［**AUTO**］にすると、フラッシュモード（42）を（発光禁止）または（スローシンクロ）にしたときなどに液晶モニターにが表示されることがあります。が表示されたときは、手ブレしやすい撮影状況になると手ブレの影響を軽減して画像を記録します。

ステップ2　カメラを構え、構図を決める

1 カメラをしっかりと構える

- カメラを両手でしっかりと持ってください。レンズやフラッシュ、AF補助光、マイク、スピーカーなどに指や髪、ストラップなどがかからないようにご注意ください。
- 縦位置で撮影するときは、フラッシュ発光部をレンズより上にしてください。

2 構図を決める

- カメラが人物の顔を認識したときは、顔に黄色い二重枠のAF（オートフォーカス）エリアが表示されます（初期設定）。
- 最大12人の顔を認識します。複数の顔を認識したときは、カメラに最も近い顔に二重枠のAFエリアが表示され、AFエリア以外の顔に一重枠が表示されます。
- 人物以外の撮影や顔を認識できない構図では、AF エリアは表示されません。写したいもの（被写体）を画面の中央付近に合わせます。

ズームを使う

ズームレバーを回すと、光学ズームが作動します。被写体を大きく写したいときは、**T** 方向に回してください。広い範囲を写したいときは、**W** 方向に回してください。

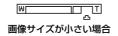
ズームレバーを回すと、液晶モニターの画面上部にズームの量が表示されます。

電子ズームについて

光学ズームを最も望遠側（光学ズームの最大倍率）にして、さらにズームレバーを **T** 方向に回し続けると、電子ズームが作動します。光学ズームの最大倍率の約4倍まで拡大できます。電子ズーム使用時は、AF エリアは表示されず、画面中央でピントが合います。

電子ズームと画質の劣化について

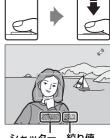
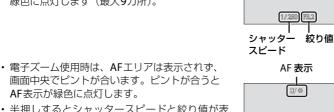
電子ズームは光学ズームとは異なり、画像をデジタル処理で拡大するため、使用する画像モード（□48）や電子ズーム倍率によって、画質が劣化します。
ズーム表示の凸マークは、静止画の撮影で画質の劣化が始まるズーム位置を示しています。このマークを越えてズーム倍率を上げると劣化が始まり、ズーム表示も黄色に変わります。凸マークの位置は画像サイズが小さいほど右に移動しますので、設定した画像モードで画質を劣化させずに静止画を撮影できるズーム位置を事前に確認できます。

画像サイズが小さい場合

- セットアップメニュー（□138）の［**電子ズーム**］（□148）で、電子ズームが作動しない設定にできます。

ステップ3　ピントを合わせてシャッターボタンを押す

1　シャッターボタンを半押しする

- 半押しすると（7）、カメラがピントを合わせます。

- 顔認識した場合：
  二重枠のAFエリアで囲まれた顔にピントが合います。ピントが合うと二重枠が緑色になります。

- 顔認識していない場合：
  9つあるAFエリアのうち、最も手前の被写体をとらえているAFエリアでピントが合います。ピントが合うと、ピントが合った場所のAFエリア表示が緑色に点灯します（最大9カ所）。

- 電子ズーム使用時は、AFエリアは表示されず、画面中央でピントが合います。ピントが合うとAF表示が緑色に点灯します。
- 半押しするとシャッタースピードと絞り値が表示されます。
- 半押しを続けている間、ピントと露出を固定します。
- 半押しして、AFエリアまたはAF表示が赤色に点滅したときはピントが合っていません。構図を変えて、もう一度シャッターボタンを半押ししてください。

2　シャッターボタンを半押ししたまま、さらに深く押し込む（全押しする）

- シャッターがきれ、画像が記録されます。

画像の記録についてのご注意

液晶モニターで「記録可能コマ数」が点滅しているときは、画像の記録中です。**バッテリー /SDカードカバーを開けないでください。**画像の記録中にSDカードやバッテリーを取り出すと、画像が記録されないことや、撮影した画像やカメラ、SDカードが壊れることがあります。

オートフォーカスが苦手な被写体

以下のような被写体では、オートフォーカスによるピント合わせができないことがあります。また、AFエリアやAF表示が緑色に点灯しても、まれにピントが合っていないことがあります。

- 被写体が非常に暗い
- 画面内の輝度差が非常に大きい（太陽が背景に入った日陰の人物など）
- 被写体にコントラストがない（白壁や背景と同色の服を着ている人物など）
- 遠いものと近いものが混在する被写体（オリの中の動物など）
- 動きの速い被写体

このような被写体を撮影するときは、シャッターボタンを何回か半押ししてみるか、同距離にある別の被写体でピントを合わせる方法（□39）をお試しください。

顔認識機能についてのご注意

詳しくは、［**AFエリア選択**］（□55）と「顔認識撮影について」（□56）をご覧ください。

タッチシャッターについて

初期設定では、シャッターボタンを使わずに、画面上の被写体にタッチするだけでシャッターをきることができます（□34）。シャッターをきらずにタッチした被写体でピントと露出を合わせる［**タッチAF/AE**］に変更できます（□37）。

［目つぶり確認］画面について

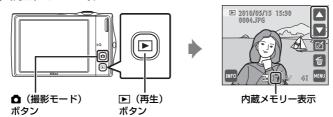
［**目つぶり検出設定**］を［**ON**］にすると、顔認識して撮影した直後に、被写体の人物が目を閉じて写っている可能性があるとカメラが検出したときは、液晶モニターに［**目つぶり確認**］画面を表示します（□153）。

AF補助光とフラッシュについて

暗い場所などでは、シャッターボタンを半押ししたときにAF補助光（□147）が点灯することや、全押ししたときにフラッシュ（□42）が発光することがあります。

ステップ4　撮影した画像を再生する/削除する

画像を再生する（再生モード）

▶（再生）ボタンを押す

- 最後に撮影した画像が1コマ表示されます。
- 画像をドラッグすると、前後の画像を表示できます。▲ または ▼ をタッチしても、前後の画像を表示できます。
  画面の半分以上を、すばやくドラッグすると5コマずつ送れます。コマ送り中に画面をタッチすると、途中のコマで止まります。

- 前の画像や次の画像に切り換えた直後は、表示が粗いことがあります。
- 撮影に戻るには、📷ボタンまたはシャッターボタンを押します。
- 内蔵メモリーの画像を再生しているときは、🄽が表示されます。SDカードをカメラに入れたときは、🄽は表示されず、SDカードの画像が再生されます。
- INFOをタッチすると、操作アイコンと画像情報の表示/非表示が切り換わります（📖12）。

画像を削除する

1　削除したい画像を表示して🗑をタッチする

2　［はい］をタッチする

- 削除した画像は、もとに戻せません。
- 削除をやめるときは、［**いいえ**］をタッチします。

再生モードで使える機能

詳しくは、「いろいろな再生」（📖75）または「画像の編集」（📖105）をご覧ください。

▶ボタンによる電源ON

電源がOFFの状態で▶ボタンを押し続けると、再生モードで電源をONにできます。このとき、レンズは繰り出しません。

画像の再生について

- 顔認識して撮影した画像（📖56）は、1 コマ表示で再生すると、顔の上下方向に合わせて自動的に回転して表示されます（［**連写**］、［**BSS**］、［**マルチ連写**］（📖53）で撮影した画像を除く）。
- 節電による待機状態で液晶モニターが消灯しているときは、以下のボタンを押すと、液晶モニターが点灯します（📖149）。
  - 電源スイッチ、シャッターボタン、または▶ボタン

複数の画像をまとめて削除する

再生メニュー（📖93）やお気に入り再生メニュー（📖85）、オート分類再生メニュー（📖90）、撮影日一覧メニュー（📖92）の［**削除**］（📖98）を選ぶと、複数の画像をまとめて削除できます。

画面にタッチしてシャッターをきる（タッチシャッター）

画面にタッチするだけで、シャッターがきれます。

- タッチ撮影アイコンが のとき（初期設定）は、手順3に進んでください。

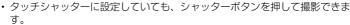
1 タッチ撮影アイコンをタッチする

- 液晶モニターにタッチ撮影の設定メニューが表示されます。

2 （タッチシャッター）をタッチする

- 撮影画面の右にが表示されます。

3 ピントを合わせたい被写体をタッチして撮影する

- モニターにタッチするときに力を入れすぎると、カメラが動いて画像がぶれる（手ブレする）ことがありますのでご注意ください。
- 電子ズーム使用時は、画面中央の被写体にピントが合います。

- タッチシャッターに設定していても、シャッターボタンを押して撮影できます。
- モニターにタッチして［ ］が表示されたときは、シャッターがきれません。［ ］の内側または顔認識して表示される枠をタッチしてください。

タッチシャッターについてのご注意

- ［**連写**］（□53）の［**連写**］または［**BSS**］を使って撮影するときや、シーンモード（□59）の［**スポーツ**］または［**ミュージアム**］で撮影するときは、シャッターボタンを押して撮影してください。タッチシャッターを使うと1コマずつの撮影になります。
- 誤って画面に触れてシャッターをきらないようにご注意ください。□（オート撮影）モード、一部のシーンモードでは、タッチ撮影の設定を［**タッチAF/AE**］に切り換えると、画面にタッチしてもシャッターがきれないようにできます（□37）。
- オートフォーカスが苦手な被写体を撮影すると、ピントが合わないことがあります（□31）。
- セルフタイマー（□44）を設定してから、画面の被写体をタッチすると、ピントが固定され、10秒または2秒後にシャッターがきれます。

タッチシャッターが使える撮影モードについて

□（オート撮影）モード以外でも、タッチシャッターを使えます。撮影モードによって、タッチシャッターの動作は以下のように異なります。

撮影モード	タッチシャッターの動作
□（オート撮影）モード（□26）、シーンモード（□59）の［スポーツ］／［パーティー］／［海・雪］／［クローズアップ］／［料理］／［ミュージアム］／［モノクロコピー］／［逆光］	ピントを合わせたい被写体にタッチしてください。タッチしたエリアでカメラがピントと露出を合わせます。複数の顔を認識したときは、一重枠で囲まれた顔をタッチすると、その顔にカメラがピントと露出を合わせます。
シーンモード（□59）の［おまかせシーン］、ベストフェイスモード（［笑顔自動シャッター］が［OFF］のとき）（□72）	• 顔認識しているときは、二重枠の AF エリアでカメラがピントと露出を合わせます。複数の顔を認識したときは、一重枠で囲まれた顔をタッチすると、その顔にカメラがピントと露出を合わせます。 • 顔認識していないときは、タッチしたエリアでカメラがピントを合わせます。
シーンモード（□59）の［ポートレート］／［夜景ポートレート］	顔認識して表示される枠以外は選べません。複数の顔を認識したときは、一重枠で囲まれた顔をタッチすると、その顔にカメラがピントと露出を合わせます。
シーンモード（□59）の［風景］／［夕焼け］／［トワイライト］／［夜景］／［打ち上げ花火］／［パノラマアシスト］	シャッターボタンを押して撮影するときと同じAFエリアで、ピントと露出を合わせます。詳しくは、「シーンを選んで撮影する（シーンモードの種類と特徴）」（□62）をご覧ください。
ベストフェイスモード（［笑顔自動シャッター］が［ON］のとき）（□72）	タッチシャッターは使えません。複数の顔を認識したときは、一重枠で囲まれた顔をタッチすると、その顔にAFエリアを移動できます。

動画撮影時のタッチシャッターについて

動画撮影でもタッチシャッターを使えます。画面をタッチして撮影の開始/終了ができます（119）。

タッチ撮影の設定について

（オート撮影）モードの場合、タッチ撮影の設定は電源をOFFにしても記憶されます。

画面にタッチしてピントを合わせる（タッチAF/AE）

タッチ撮影の設定を［**タッチシャッター**］（初期設定）から［**タッチAF/AE**］に切り換えられます。オートフォーカスでピント合わせをするAFエリアを、画面にタッチして選べます。シャッターボタンを押すと、選んだエリアでピントと露出が合いシャッターがきれます。

1 タッチ撮影アイコンをタッチする

- 液晶モニターにタッチ撮影の設定メニューが表示されます。

2 （タッチAF/AE）をタッチする

- 撮影画面の右にが表示されます。

3 ピントを合わせたい被写体をタッチする

- タッチした場所には、〚 〛または二重枠のAFエリアが表示されます。
- 電子ズーム使用時は、AFエリアは選べません。
- AF エリアの選択を解除するときは、画面右側のをタッチします。
- AFエリアに選べない場所をタッチしたときは、モニターに〔 〕が表示されます。〔 〕で囲まれた範囲内で、タッチしてください。

4 シャッターボタンを押して撮影する

- シャッターボタンを半押しするとピントと露出が固定され、全押しするとシャッターがきれます。

タッチAF/AEについてのご注意

オートフォーカスが苦手な被写体の撮影では、ピント合わせができないことがあります（□31）。

タッチAF/AEが使える撮影モードについて

（オート撮影）モード以外でも、タッチAF/AEを使えます。撮影モードによって、タッチAF/AEの動作は以下のように異なります。

撮影モード	タッチAF/AEの動作
（オート撮影）モード（□26）、シーンモード（□59）の［スポーツ］/［パーティー］/［海・雪］/［クローズアップ］/［料理］/［ミュージアム］/［モノクロコピー］/［逆光］	タッチしたエリアでカメラがピントと露出を合わせます。
シーンモード（□59）の［おまかせシーン］、ベストフェイスモード（［笑顔自動シャッター］が［OFF］のとき）（□72）	• 顔認識しているときは、枠で囲まれた顔以外は選べません。複数の顔を認識したときは、一重枠で囲まれた顔をタッチすると、その顔に AF エリアを移動できます。 • 顔認識していないときは、タッチしたエリアでカメラがピントを合わせます。
シーンモード（□59）の［ポートレート］/［夜景ポートレート］、ベストフェイスモード（［笑顔自動シャッター］が［ON］のとき）（□72）	顔認識して表示される枠以外は選べません。複数の顔を認識したときは、一重枠で囲まれた顔をタッチすると、その顔にAFエリアを移動できます。
シーンモード（□59）の［風景］/［夕焼け］/［トワイライト］/［夜景］/［打ち上げ花火］/［パノラマアシスト］	AFエリアの変更はできません。

タッチ撮影の設定について

（オート撮影）モードの場合、タッチ撮影の設定は電源をOFFにしても記憶されます。

オートフォーカスが苦手な被写体を撮影するときは

オートフォーカスが苦手な被写体（31）を撮影するときは、シャッターボタンを何回か半押ししてみるか、以下の方法をお試しください。

1 （オート撮影）モードに切り換えて、タッチ撮影の設定を［**タッチAF/AE**］にする
  - 撮影画面の右にが表示されます。

2 ピントを合わせたい被写体と同距離にある別の被写体にタッチする

3 シャッターボタンを半押しする
  - ピントが合い、AFエリアが緑色に点灯します。
  - 露出は、半押ししてピント合わせした被写体に合います。

4 半押ししたまま構図を変える
  - 半押ししている間は被写体とカメラの距離を変えないでください。

5 シャッターボタンを全押しして撮影する

動く被写体にピントを合わせて撮影する（ターゲット追尾）

（オート撮影）モード（□26）では、タッチ撮影の設定を［**タッチシャッター**］（初期設定）から［**ターゲット追尾**］に切り換えできます。動きのある被写体を撮影するときに使います。ピントを合わせたい被写体を登録するとターゲット追尾が始まり、AFエリアが被写体を追いかけて移動します。

1 タッチ撮影アイコンをタッチする

- 液晶モニターにタッチ撮影の設定メニューが表示されます。

2 （ターゲット追尾）をタッチする

- 撮影画面の右にが表示されます。
- 撮影モードが、（オート撮影）モード以外のときは、（ターゲット追尾）を使えません。

3 被写体を登録する

- ピントを合わせたい被写体に画面上でタッチします。
  - 被写体が登録されます。
  - 枠が赤色で表示されたときは、被写体にピントを合わせられません。構図を変えて、もう一度被写体を登録してください。
- 被写体が登録できない場所をタッチしたときは、モニターに［ ］が表示されます。［ ］で囲まれた範囲内で、タッチしてください。
- 被写体が登録されると、黄色いAFエリア表示で囲まれ、ターゲット追尾が始まります。
- ターゲットを変えたいときは、もう一度ピントを合わせたい被写体をタッチしてください。
- 被写体の登録を解除するときは、画面右側のをタッチします。
- カメラがターゲットを見失ってAF エリア表示が消えたときは、もう一度被写体を登録してください。

簡単な撮影と再生－（オート撮影）モードを使う

4 シャッターボタンを押して撮影する

- シャッターボタンを半押ししてAF エリアでピントが合うと、AFエリア表示が緑色になり、ピントが固定されます。
- AFエリア表示が点滅したときは、被写体にピントが合っていません。もう一度シャッターボタンを半押しして、ピントを合わせてください。
- AFエリアが表示されていない状態でシャッターボタンを半押しすると、画面中央にピントが合います。
- シャッターボタンを全押しするとシャッターがきれます。

ターゲット追尾についてのご注意

- 電子ズームは使えません。
- ズーム位置、フラッシュモードまたはメニューは、被写体を登録する前に設定してください。被写体を登録した後に設定を変更すると、被写体の登録が解除されます。
- 被写体の動きが速いときや手ブレが大きいとき、類似した被写体がある場合など、撮影条件によっては、被写体をターゲットに登録できないことや追尾できないこと、または別の被写体を追尾することがあります。被写体の大きさや明るさなどによっても、適切にターゲット追尾できないことがあります。
- 「オートフォーカスが苦手な被写体」（□31）の撮影では、AFエリア表示が緑色になっていても、まれにピントが合わないことがあります。このようなときは、同距離にある別の被写体でピントを合わせる方法（□39）をお試しください。
- この機能は、他の機能と同時に設定できない場合があります。→「同時に設定できない機能」（□58）

ターゲット追尾時に使える機能

- フラッシュモード（□42）の変更ができます。
- セルフタイマー（□44）、マクロモード（□45）は使えません。

タッチ撮影の設定について

- （オート撮影）モードの場合、タッチ撮影の設定は電源をOFFにしても記憶されます。
- ターゲット追尾での被写体の登録は、電源をOFFにすると解除されます。

フラッシュを使う

フラッシュの発光モードを撮影状況に合わせて設定できます。フラッシュの光が充分に届く距離は、広角側で約0.5～4.5 m、望遠側で約0.5～2.4 mです（ISO感度設定がオート時）。

$AUTO	**自動発光**
	暗い場所などで、自動的にフラッシュを発光します。
赤目軽減アイコン	**赤目軽減自動発光**
	人物撮影に適しており、人物の目が赤く写る「赤目現象」を軽減できます（□43）。
発光禁止アイコン	**発光禁止**
	フラッシュは発光しません。
強制発光アイコン	**強制発光**
	被写体の明るさに関係なく、フラッシュを発光します。逆光で撮影するときなどに使います。
スローシンクロアイコン	**スローシンクロ**
	自動発光モードにスロー（低速）シャッターを組み合わせて撮影します。夕景や夜景を背景にした人物撮影に適しています。フラッシュでメインの被写体を明るく照らすと同時に、遅いシャッタースピードで背景を写します。

フラッシュモードの設定方法

1 フラッシュモードアイコンをタッチする

- 液晶モニターにフラッシュモードの設定メニューが表示されます。

2 設定したいフラッシュモードのアイコンをタッチする

- 設定したフラッシュモードが表示されます。
- ☒をタッチすると、設定を変更せずに撮影画面に戻ります。

⚠ ⊛（発光禁止）にして撮影するときや、暗い場所で撮影するときのご注意

- 手ブレしやすくなるため、三脚などの使用をおすすめします。
- 液晶モニターに ISO と表示されることがあります。ISO と表示されたときは、ISO 感度が上がっているため、通常よりもざらついた画像になることがあります。
- 暗い場所で撮影するときなど、撮影状況によってはノイズを低減する機能が作動することがあります。ノイズ低減の機能が作動すると、画像の記録が終了するまでに時間がかかることがあります。

⚠ フラッシュ使用時のご注意

フラッシュの光が空気中のほこりなどに反射して、画像の中に白い点のように写り込むことがあります。このようなときは、フラッシュを⊛（発光禁止）にして撮影することをおすすめします。

フラッシュランプについて

シャッターボタンの半押し時に、フラッシュの状態を確認できます。

- 点灯：撮影時にフラッシュが発光します。
- 点滅：フラッシュが充電中のため、撮影できません。
- 消灯：撮影時にフラッシュは発光しません。

バッテリー残量が少なくなると、フラッシュの充電中は液晶モニターが消灯します。

フラッシュモードの設定について

フラッシュモードの初期設定は、撮影モードによって異なります。

- 📷（オート撮影）：⚡AUTO 自動発光。
- シーン：シーンによって異なります（📖62）。
- ☺（ベストフェイス）：⚡AUTO 自動発光（目つぶり軽減 OFF時）、⊛ 発光禁止に固定（目つぶり軽減 ON時）（📖74）。

フラッシュは、他の機能と同時に設定できない場合があります。→「同時に設定できない機能」（📖58）

📷（オート撮影）モードの場合、変更したフラッシュモード設定は、電源をOFFにしても記憶されます。

赤目軽減自動発光について

このカメラは、「アドバンスト赤目軽減方式」を採用しています。
画像の記録時に赤目現象を検出すると、赤目部分を画像補正して記録します。
撮影する際は、以下にご注意ください。

- 画像の記録にかかる時間は、通常よりも少し長くなります。
- 撮影状況によっては、望ましい結果を得られないことがあります。
- ごくまれに赤目以外の部分を補正することがあります。この場合は、他のフラッシュモードにして撮影し直してください。

セルフタイマーを使う

記念撮影など自分も一緒に写りたいときや、シャッターボタンを押す操作による手ブレを軽減したいときは、セルフタイマーが便利です。タイマー時間は10秒と2秒から選べます。セルフタイマー撮影時は、三脚の使用をおすすめします。

1 セルフタイマーアイコンをタッチする

- 液晶モニターにセルフタイマーの設定メニューが表示されます。

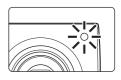
2 ［10s］または［2s］をタッチする

- ［**10s**］（10秒）：記念撮影などに適しています。
- ［**2s**］（2秒）：手ブレの軽減に適しています。
- 設定したセルフタイマーモードが表示されます。
- ✖をタッチすると、設定を変更せずに撮影画面に戻ります。

3 構図を決め、シャッターボタンを半押しする

- ピントと露出が合います。

4 シャッターボタンを全押しする

- セルフタイマーが作動し、シャッターがきれるまでの秒数が液晶モニターに表示されます。作動中はセルフタイマーランプが点滅し、シャッターがきれる約1秒前になると、点灯に変わります。
- シャッターがきれると、セルフタイマーは［**OFF**］になります。
- セルフタイマーを途中で止めるときは、もう一度シャッターボタンを押します。

マクロ（接写）モードを使う

最短約8 cmまで被写体に近づいて撮影できます。ただし、フラッシュ撮影時は、撮影距離が50 cm未満の場合、フラッシュの光が充分に行き渡らないことがありますのでご注意ください。

1 マクロモードアイコンをタッチする

- 液晶モニターにマクロモードの設定メニューが表示されます。

2 ONをタッチする

- マークが表示されます。
- ☒をタッチすると、設定を変更せずに撮影画面に戻ります。

3 ズームレバーを操作して構図を決める

- 最短撮影距離はズーム位置によって異なります。より短い距離で撮影できるのは、マークやズーム表示が緑色で表示される△マークより広角側のズーム位置です。
- 最も広角側から1段ズームアップした位置では、レンズ前約8 cmまでの被写体にピントを合わせられます。最も広角側と△マークの位置では、約20 cmまでの被写体にピントを合わせられます。

オートフォーカスについて

（オート撮影）モードでは、［**AFモード**］（□57）の設定を［**常時AF**］にすると、シャッターボタンの半押しでピントを固定するまで、オートフォーカスによるピント合わせを自動的に繰り返します。常にピントを合わせる動作音がします。
それ以外の静止画の撮影モードでは、マクロモードがONになると、自動的に［**常時AF**］になります。

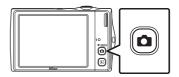
マクロモードの設定について

（オート撮影）モードの場合、マクロモードの設定は、電源をOFFにしても記憶されます。

撮影モードを選ぶ

撮影モードは、オート撮影、シーン、ベストフェイスおよび動画から選べます。

1 撮影時にボタンを押す

- 撮影モードメニューが表示されます。

2 設定したい撮影モードのアイコンをタッチする

- 選んだ撮影モードの撮影画面になります。
- シーンモード（上から2番目のアイコン）をタッチしたときは、設定したいシーンのアイコンをタッチします（□59）。
- 撮影モードを切り換えずに撮影画面に戻るには、ボタンを押すか、シャッターボタンを押します。

1	**オート撮影**	□26
	はじめてデジタルカメラを使う方でも、気軽に撮影できます。ターゲット追尾を設定できます。また、撮影メニュー（□47）で連写なども設定できます。	
2	**シーン**	□59
	撮影シーンを選ぶだけで、そのシーンに合った設定で撮影ができます。 おまかせシーンモードにすると、カメラが撮影シーンを自動的に選ぶので、より簡単にシーンに合った撮影ができます。	
3	**ベストフェイス**	□72
	顔認識した人物の笑顔を検出して、自動でシャッターをきることができます。美肌機能で人物の顔の肌をなめらかにできます。	
4	**動画**	□119
	動画（音声付き）を撮影できます。	

撮影メニューを使う（（オート撮影）モード）

（オート撮影）モード（□26）で撮影するときは、以下の撮影メニューを設定できます。

画像モード □48

記録時の画像モード（画像の大きさと圧縮率の組み合わせ）を選びます。他の撮影モードのメニューでも設定できます（動画撮影を除く）。

ホワイトバランス □50

画像を見た目に近い色で記録するように、光源に合わせてホワイトバランスを設定します。

露出補正 □52

画像全体を明るくしたり、暗くしたりします。

連写 □53

連写（連続撮影）やBSS（ベストショットセレクター）を設定できます。

ISO感度設定 □54

被写体の明るさなどに応じて、ISO感度を設定します。

AFエリア選択 □55

カメラがAFエリアを決めるときの選択方法を設定します。

AFモード □57

ピントの合わせ方を設定します。

撮影メニューの表示方法

カメラを（オート撮影）モードにします（□26）。
MENUをタッチして、撮影メニューを表示します。

- 項目をタッチして設定します。
- 撮影メニューを終了するには、✕をタッチします。

同時に設定できない機能について

複数の機能を同時に設定できないことがあります（□58）。

画像モード（画質/画像サイズ）

（オート撮影）に設定 ➔ MENU（撮影メニュー）➔ 画像モード

記録する画像の大きさと、画質（圧縮率）の組み合わせを選びます。画像の用途や内蔵メモリー/SDカードの残量に合わせて設定してください。画像サイズの大きい画像モードほど、大きくプリントするのに適していますが、記録できるコマ数は少なくなります。

画像モード	画像サイズ（ピクセル）	内　容
4000×3000★	4000×3000	12Mよりも精細な画像になります。圧縮率は約1/4です。
4000×3000（初期設定）	4000×3000	ファイルサイズと画質のバランスが良く、一般的な撮影に適した画像モードです。圧縮率は約1/8です。
3264×2448	3264×2448	
2592×1944	2592×1944	
2048×1536	2048×1536	12M、8M、5Mよりも画像サイズが小さいため、より多く撮影できます。圧縮率は約1/8です。
1024×768	1024×768	パソコンのモニターに表示するときに適しています。圧縮率は約1/8です。
640×480	640×480	電子メールへの添付や画面の縦横比が4：3のテレビへの表示に適しています。圧縮率は約1/8です。
3968×2232	3968×2232	縦横比が16：9の画像を撮影できます。圧縮率は約1/8です。

画像モードの設定は、撮影時や再生時の画面で確認できます（11、13）。

画像モードの設定について

- 画像モードの設定を変更すると、他の撮影モードでも同じ画像モードの設定になります（動画撮影を除く）。
- この機能は、他の機能と同時に設定できない場合があります。→「同時に設定できない機能」（58）

記録可能コマ数

内蔵メモリーや4 GBのSDカードに記録できるおおよそのコマ数は以下のとおりです。ただし、JPEG圧縮の性質上、画像の絵柄によって記録可能コマ数は大きく異なります。同じ容量のSDカードでも、カードの種類によって、記録可能コマ数が異なることがあります。

画像モード	内蔵メモリー（約45 MB）	SDカード※1（4 GB）	プリント時の大きさ※2
4000×3000★	5コマ	約505コマ	約34×25 cm
4000×3000	11コマ	約1010コマ	約34×25 cm
3264×2448	17コマ	約1575コマ	約28×21 cm
2592×1944	28コマ	約2565コマ	約22×16 cm
2048×1536	46コマ	約4235コマ	約17×13 cm
1024×768	134コマ	約13500コマ	約9×7 cm
640×480	260コマ	約23000コマ	約5×4 cm
3968×2232	14コマ	約1370コマ	約34×19 cm

※1 記録可能コマ数が10,000コマ以上の場合、画面には「9999」と表示されます。

※2 出力解像度を300 dpiに設定した場合のサイズです。
ピクセル数÷プリンター解像度（dpi）× 2.54 cm で計算しています。同じ画像サイズでも、高い解像度で印刷すると印刷サイズは小さくなり、低い解像度で印刷すると、印刷サイズは大きくなります。

ホワイトバランス（色合いの調整）

📷（オート撮影）に設定 ➔ MENU（撮影メニュー）➔ ホワイトバランス

人間の目には、晴天、曇り空、白熱電球や蛍光灯の室内など、光源の色に関係なく白い被写体は白く見えます。人間の目に白く見える色を、デジタルカメラで白く撮影するには、光源の色に合わせて調整が必要です。この調整を「ホワイトバランスを合わせる」といいます。
初期設定の［**オート**］でほとんどの光源に対応できますが、撮影した画像が思い通りの色にならないときは、天候や光源に合わせて設定を変更してください。

AUTO オート（初期設定）

カメラが自動的にホワイトバランスを調整します。ほとんどの場合、この設定のままで撮影できます。

PRE プリセットマニュアル

特殊な照明の下などでの撮影に適しています。詳しくは「プリセットマニュアルの使い方」（□51）をご覧ください。

晴天

晴天の屋外での撮影に適しています。

電球

白熱電球の下での撮影に適しています。

蛍光灯

白色蛍光灯の下での撮影に適しています。

曇天

曇り空の屋外での撮影に適しています。

フラッシュ

フラッシュを使う撮影に適しています。

ホワイトバランスの設定は、撮影時の画面で確認できます（□11）。［**オート**］のときは、何も表示されません。

ホワイトバランスについてのご注意

- この機能は、他の機能と同時に設定できない場合があります。→「同時に設定できない機能」（□58）
- ［**オート**］、［**フラッシュ**］以外のホワイトバランスを選んだときは、フラッシュを㊋（発光禁止）に設定してください（□42）。

プリセットマニュアルの使い方

特殊な照明の下で撮影するときなど、［**オート**］や［**電球**］などのホワイトバランス設定では望ましい結果が得られない場合に使います（赤みがかった照明下で撮影した画像を、普通の照明下で撮影したように見せたいときなど）。

1 撮影する照明下で、白またはグレーの被写体を用意する

2 撮影メニューを表示し（□47）、［**ホワイトバランス**］の［**PRE プリセットマニュアル**］をタッチして選び、OKをタッチする

- レンズが望遠側のズーム位置になります。

3 測定窓に、用意した白またはグレーの被写体を収める

- 前回プリセットしたホワイトバランスを使いたいときは、［**前回の設定**］をタッチします。ホワイトバランスが前回のプリセット値に設定されます。

4 ［**新規設定**］をタッチして、ホワイトバランス値を測定する

- シャッターがきれて、ホワイトバランスのプリセット値が新たに設定されます（画像は記録されません）。

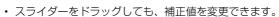
プリセットマニュアルについてのご注意

フラッシュ発光時のホワイトバランス値は測定できません。フラッシュ撮影時は、［**ホワイトバランス**］を［**オート**］または［**フラッシュ**］に設定してください。

露出補正（明るさの調整）

（オート撮影）に設定 ➔ MENU（撮影メニュー）➔ 露出補正

画像全体を明るくしたいときや暗くしたいときなどに使います。

- 被写体を明るくしたいとき：▶をタッチして、補正値を「＋」側に設定し、OKをタッチします。
- 被写体を暗くしたいとき：◀をタッチして、補正値を「－」側に設定し、OKをタッチします。

- スライダーをドラッグしても、補正値を変更できます。
- －2.0 EVから＋2.0 EVの範囲で補正できます。
- ［**0.0**］以外に設定すると、液晶モニターにマークと補正値が表示されます。
- 露出補正を解除するときは、補正値を［**0.0**］にしてOKをタッチしてください。

露出補正の設定について

- 撮影モードがシーンモードやベストフェイスモードのときも、設定できます。ただし、シーンモードの［**打ち上げ花火**］と［**手書きメモ**］では、設定できません。
- （オート撮影）モードの場合、露出補正の設定は、電源をOFFにしても記憶されます。シーンモードやベストフェイスモードの場合、露出補正の設定は、他の撮影モードに切り換えたり、電源をOFFにすると、［**0.0**］に戻ります。

露出補正について

- 構図の大部分が非常に明るいとき（太陽が反射する水や砂、雪を撮影するときなど）、背景が被写体より明るすぎるときは、カメラが自動的に被写体を暗めに撮影する傾向があります。被写体が暗すぎるときは、露出補正値を「＋」側に設定してください。
- 構図の大部分が非常に暗いとき（暗い緑の森を撮影するときなど）、背景が被写体よりも暗すぎるときは、カメラが自動的に被写体を明るめに撮影する傾向があります。被写体が明るすぎるときは、露出補正値を「－」側に設定してください。

連写

（オート撮影）に設定 ➔ MENU（撮影メニュー）➔ 連写

連写（連続撮影）やBSS（ベストショットセレクター）を設定できます。
［**連写**］、［**BSS**］または［**マルチ連写**］に設定するとフラッシュは発光禁止になり、ピントと露出、ホワイトバランスは、最初の1コマと同じ条件に固定されます。

単写（初期設定）

1コマずつ撮影します。

連写

シャッターボタンを全押ししている間､約0.9コマ/秒で最大3コマまで連写できます（画像モードが［**4000×3000**］のとき）。

BSS（ベストショットセレクター）

暗い場所でフラッシュを使わずに撮影するときや、望遠側で撮影するときなど、手ブレしやすい状況で撮影する場合に設定します。
シャッターボタンを全押ししている間、連写を続け（最大10コマ）、撮影した画像の中から最も鮮明に撮れている1コマをカメラが自動的に選んで記録します。

マルチ連写

シャッターボタンを1回全押しすると約30コマ/秒で16コマの連続写真を撮影し、1コマの画像として記録します。

- 記録される画像モードは （画像サイズ：2560 × 1920 ピクセル）に固定されます。
- 電子ズームは使えません。

連写の設定は、撮影時の画面で確認できます（11）。［**単写**］のときは、何も表示されません。

連写についてのご注意

- 画像モード、SD カードの種類または撮影状況によって、連写速度が遅くなることがあります。
- この機能は、他の機能と同時に設定できない場合があります。→「同時に設定できない機能」（58）

BSSについてのご注意

［**BSS**］は静止している被写体の撮影に効果的です。動いている被写体の撮影や、構図を変えながらの撮影では、望ましい結果が得られない場合があります。

マルチ連写についてのご注意

マルチ連写の撮影では、液晶モニターにスミア（159）が発生すると、記録される画像にもスミアの影響が残ります。スミアの影響を避けるため、太陽や太陽の照り返し、電灯などを画面内に入れずに撮影するようおすすめします。

ISO感度設定

📷（オート撮影）に設定 ➔ MENU（撮影メニュー）➔ ISO感度設定

フィルムカメラで使うフィルムのISO感度に相当する数値を設定します。ISO感度を高くすると、暗い場所や動いている被写体の撮影に効果的ですが、撮影した画像が多少ざらつくことがあります。

オート（初期設定）

明るい場所ではISO 80になり、暗い場所では自動的にISO 1600までISO感度が高くなります。

感度制限オート

カメラが自動的にISO感度を変更するときの範囲を［**ISO 80-400**］、［**ISO 80-800**］から選べます。選んだ範囲の上限値以上にISO感度は上がりません。ISO感度の上限値を設定することで、画像のざらつきを抑える効果があります。

80、100、200、400、800、1600、3200

ISO感度を選んだ値に固定します。

ISO感度の設定は、撮影時の画面で確認できます（📖11）。［**オート**］に設定した場合、ISO 80で撮影できるときは何も表示されず、ISO感度が自動的に上がったときにISOマークが表示されます（📖43）。［**感度制限オート**］に設定したときはA ISO＋ISO感度の上限値が表示されます。

ISO感度設定についてのご注意

- この機能は、他の機能と同時に設定できない場合があります。→「同時に設定できない機能」（📖58）
- ISO感度設定を［**オート**］以外にすると、［**モーション検知**］（📖146）は作動しません。

AFエリア選択

■（オート撮影）に設定 ➔ MENU（撮影メニュー）➔ AFエリア選択

カメラがAFエリアを決めるときの選択方法を設定します。

- 電子ズーム使用時は、［**AFエリア選択**］の設定にかかわらず、画面中央でピント合わせを行います。

顔認識オート（初期設定）

カメラが人物の顔を認識すると、顔にピントが合います（顔認識撮影について→□56）。
複数の顔を認識したときは、最もカメラに近い顔にピントが合います。
人物以外の撮影や顔を認識できない構図では、AFエリア選択が［**オート**］になり、シャッターボタンを半押しすると、9つあるAFエリアのうち、最も手前の被写体をとらえているAFエリアでピントが合います。

オート

シャッターボタンを半押しすると、9つあるAFエリアのうち、最も手前の被写体をとらえているAFエリアでピントが合います。
半押しするまで、AFエリアは表示されません。
半押しすると、ピントが合ったAFエリアが画面に表示されます（最大9カ所）。

中央

AFエリアが画面中央に表示されます。
シャッターボタンを半押しすると、画面中央の被写体にピントが合います。

AFエリア選択についてのご注意

- 「オートフォーカスが苦手な被写体」では、ピントが合わないことがあります（□31）。
- タッチシャッター（□34）またはタッチAF/AE（□37）を使うと、画面にタッチすることでAFエリアを選べます。
- ターゲット追尾（□40）を使うと、AFエリアが被写体を追いかけて移動します。
- この機能は、他の機能と同時に設定できない場合があります。→「同時に設定できない機能」（□58）

顔認識撮影について

人物の顔にカメラを向けると自動的に顔を認識して、顔にピントを合わせます。以下の場合は、顔認識機能が働きます。

- AFエリア選択が［**顔認識オート**］のとき（□55）
- シーンモードが［**おまかせシーン**］（□60）、［**ポートレート**］（□62）または［**夜景ポートレート**］（□63）のとき
- ベストフェイスモードのとき（□72）

1 構図を決める

- カメラが人物の顔を認識すると、顔が黄色い二重枠のAFエリア表示で囲まれます。

- 複数の顔を認識したときは、撮影モードによって以下のように動作が変わります。

撮影モード	二重枠で囲まれる顔	認識する顔の数
📷（オート撮影）モード（［**顔認識オート**］）	カメラに最も近い顔 ※他の顔は一重枠	最大12人
シーンモードの［**おまかせシーン**］、［**ポートレート**］、［**夜景ポートレート**］		
ベストフェイスモード	画面中央に最も近い顔 ※他の顔は一重枠	最大3人

- 二重枠のAFエリア表示で囲まれた顔にピントが合うため、他の顔にピントを合わせたい時は、一重枠で囲まれた顔をタッチしてください。タッチした顔へAFエリアを変更できます。

2 シャッターボタンを半押しする

- 二重枠で囲まれた顔にピントが合います。二重枠が緑色になりピントが固定されます。
- 二重枠が点滅しているときは、顔にピントが合っていません。もう一度シャッターボタンを半押しして、ピントを合わせてください。
- シャッターボタンを全押しすると、シャッターがきれます。
- ベストフェイスモードでは、シャッターボタンを押さなくても、カメラが二重枠で囲まれた人物の笑顔を検出すると、自動的にシャッターがきれます（［**笑顔自動シャッター**］）（□74）。

✔ 顔認識についてのご注意

- ［**顔認識オート**］では、顔を認識していない状態でシャッターボタンを半押しすると、AFエリア選択は、［**オート**］になります。
- シーンモードの［**ポートレート**］または［**夜景ポートレート**］と、ベストフェイスモードでは、顔を認識していない状態でシャッターボタンを半押しすると、画面中央にピントが合います。
- 顔の向きなど撮影条件によっては、顔を認識できないことがあります。
  また、以下のような場合は、顔を認識できません。
  - 顔の一部がサングラスなどでさえぎられている
  - 構図内で顔を大きく、または小さくとらえすぎている
- 複数の人物がいた場合、どの人物の顔を認識してピントを合わせるかは、顔の向きなどによっても異なります。
- 「オートフォーカスが苦手な被写体」（📖31）の撮影では、二重枠が緑色になっていても、まれにピントが合わないことがあります。このような被写体を撮影するときは、シャッターボタンを何回か半押ししてみるか、同距離にある別の被写体でピントを合わせる方法（📖39）をお試しください。
- 顔認識して撮影した画像は、1コマおよびサムネイル表示で再生すると、顔の上下方向に合わせて自動的に回転して表示されます（［**連写**］、［**BSS**］、［**マルチ連写**］（📖53）で撮影した画像を除く）。

AFモード（オートフォーカスモード）

📷（オート撮影）に設定 ➔ MENU（撮影メニュー）➔ AFモード

ピントの合わせ方を設定します。

AF-S シングルAF（初期設定）

シャッターボタンを半押ししたとき、または画面上で被写体をタッチしたとき（タッチシャッター、タッチAF/AE時）だけピントを合わせます。

AF-F 常時AF

シャッターボタンを半押しするまで、常にピント合わせを繰り返します。動きのある被写体の撮影に適しています。常にピントを合わせる動作音がします。

同時に設定できない機能

撮影メニューには、他の機能と組み合わせて使えない設定があります。

制限される機能	設定	内容
フラッシュモード	連写（53）	［**連写**］、［**BSS**］、［**マルチ連写**］にして撮影するときは、フラッシュは使えません。
画像モード	連写（53）	［**マルチ連写**］で撮影するときは、［**画像モード**］は（画像サイズ：2560×1920ピクセル）に固定されます。
連写	セルフタイマー（44）	セルフタイマーで撮影するときは、［**単写**］に固定されます。
ISO 感度設定	連写（53）	［**マルチ連写**］で撮影するときは、［**ISO感度設定**］は明るさに応じて自動的に設定されます。
AFエリア選択	電子ズーム（29）	電子ズーム使用時は、画面中央でピント合わせを行います。
	タッチシャッター（34）、タッチAF/AE（37）	画面にタッチしたエリアでピントを合わせます。
	ターゲット追尾（40）	追尾する被写体を登録していないときや、見失ったときは、画面中央でピントを合わせます。
電子式手ブレ補正	連写（53）	［**連写**］、［**BSS**］、［**マルチ連写**］にして撮影するときは、電子式手ブレ補正は作動しません。
	ISO感度設定（54）	［**ISO感度設定**］を［**オート**］以外にして撮影するときは、電子式手ブレ補正は作動しません。
モーション検知	ターゲット追尾（40）	ターゲット追尾で撮影するときは、［**モーション検知**］は作動しません。
	連写（53）	［**マルチ連写**］で撮影するときは、［**モーション検知**］は作動しません。
	ISO 感度設定（54）	ISO 感度を［**オート**］以外にすると、［**モーション検知**］は作動しません。
目つぶり検出設定	連写（53）	［**連写**］、［**BSS**］、［**マルチ連写**］にして撮影するときは、目つぶり検出しません。
電子ズーム	連写（53）	［**マルチ連写**］にして撮影するときは、電子ズームは使えません。

関連ページ

電子ズームについてのご注意→148

シーンに合わせて撮影する（シーンモード）

以下の撮影シーンを選ぶだけの簡単な操作で、そのシーンに合った設定で撮影ができます。

おまかせシーン	ポートレート	風景	スポーツ	夜景ポートレート
パーティー	海・雪	夕焼け	トワイライト	夜景
クローズアップ	料理	ミュージアム	打ち上げ花火	モノクロコピー
手書きメモ	逆光	パノラマアシスト		

シーンモードの設定方法

1 撮影時に ボタンを押して撮影モードメニューを表示し、シーンモードアイコンをタッチする

- シーンモードアイコンは前回設定したアイコンが表示されます。初期設定は、（おまかせシーン）です（60）。

2 設定したいシーンアイコンをタッチする

- 選んだシーンの撮影画面になります。
- シーンモードの種類と特徴→62
- をタッチしてからシーンアイコンをタッチすると、各シーンのヘルプを表示します。

3 構図を決めて撮影する

シーンモードで使える機能

- タッチシャッター（34）を使えます。
- 一部のシーンモードでは、タッチAF/AE（37）を使えます。
- をタッチして（シーン）メニューを表示すると、［**画像モード**］（48）と［**露出補正**］（52）を設定できます。画像モードの設定を変更すると、他の撮影モードでも同じ画像モードの設定になります（動画撮影を除く）。

カメラまかせでシーンに合わせて撮影する（おまかせシーン）

構図を決めるだけでカメラが撮影シーンを自動的に判別するので、より簡単にシーンに合った撮影ができます。「おまかせシーン」にして、カメラを被写体に向けると、以下のシーンに合わせた設定に自動的に切り換わります。

- オート撮影（一般的な撮影）
- ポートレート（□62）
- 風景（□62）
- 夜景ポートレート（□63）
- 夜景（□65）
- クローズアップ（□65）
- 逆光（□67）

1 撮影時に ボタンを押して撮影モードメニューを表示し、［おまかせシーン］を選ぶ（□59）

- おまかせシーンになります。

2 構図を決めて撮影する

- カメラがシーンを自動判別すると、撮影モードアイコンが切り換わります。
  - ：オート撮影
  - ：ポートレート
  - ：風景
  - ：夜景ポートレート
  - ：夜景
  - ：クローズアップ
  - ：逆光

- シャッターボタンを半押しするとピントと露出が合います。ピントが合うと、ピントが合った場所のAFエリア表示が緑色に点灯します。
- シャッターボタンを全押しするとシャッターがきれます。

おまかせシーンモードのご注意

- 電子ズームは使えません。
- 撮影状況によっては、意図したシーンに切り換わらないことがあります。その場合は、◘（オート撮影）モード（□26）に切り換えるか、目的にあったシーンモード（□59）を選んで撮影してください。

おまかせシーンモードでのピント合わせについて

- おまかせシーンモードでは、カメラが人物の顔を認識すると、顔にピントが合います（顔認識撮影について→□56）。
- 撮影モードアイコンが や （クローズアップ）のときは、［**AFエリア選択**］（□55）の［**オート**］と同様に9つあるAFエリアのうち、最も手前の被写体をとらえているAFエリアにピントが合います。

おまかせシーンで使える機能

- タッチシャッター（□34）またはタッチAF/AE（□37）を使えます。
- フラッシュモード（□42）は、AUTO（自動発光）（初期設定）または（発光禁止）を選べます。AUTO（自動発光）にすると、自動判別したシーンに合わせて、カメラが自動的にフラッシュモードを設定します。（発光禁止）にすると、撮影状況にかかわらず、フラッシュは発光しません。
- セルフタイマー（□44）の設定ができます。
- マクロモードは変更できません。クローズアップに判別されると、マクロモードになります。
- MENUをタッチしてSCENE（シーン）メニューを表示すると、［**画像モード**］（□48）と［**露出補正**］（□52）を設定できます。画像モードの設定を変更すると、他の撮影モードでも同じ画像モードの設定になります（動画撮影を除く）。

シーンを選んで撮影する（シーンモードの種類と特徴）

- おまかせシーンについては、「カメラまかせでシーンに合わせて撮影する（おまかせシーン）」（□60）をご覧ください。
- 各シーンの説明で記載しているフラッシュマークはフラッシュモード（□42）、セルフタイマーマークはセルフタイマー（□44）、マクロマークはマクロモード（□45）の設定です。

ポートレート

人物のポートレート撮影に使います。

- カメラが人物の顔を認識すると、顔が黄色い二重枠の AF エリア表示で囲まれます（顔認識撮影について→□56）。
- 複数の顔を認識したときは、最もカメラに近い顔に二重枠の AF エリアが表示され、AF エリア以外の顔に一重枠が表示されます。一重枠で囲まれた顔をタッチすると、その顔に AF エリアを変更できます（□34、37）。
- 美肌機能で人物の顔（最大 3 人）の肌をなめらかにしてから画像を記録します（□73）。
- 顔を認識しないときは、シャッターボタンを半押しすると、画面中央でピントが合います。
- 電子ズームは使えません。

フラッシュモード	赤目軽減※	セルフタイマー	OFF※	マクロモード	OFF

※ 変更できます。

風景

自然の風景や街並みなどを、色鮮やかに撮影したいときに使います。

- 遠景にピントが合います。シャッターボタンを半押しすると、常に AF エリアまたは AF 表示（□30）が緑色に点灯します。ただし、ピントは遠景に合うため、近くの被写体にはピントが合わないことがあります。
- AF 補助光（□147）は点灯しません。

フラッシュモード	発光禁止	セルフタイマー	OFF※	マクロモード	OFF

※ 変更できます。

三脚マーク： 三脚マークがついたシーンモードでは、三脚などのご使用をおすすめします。

スポーツ

運動会などスポーツ写真を撮影するときに使います。動きのある被写体の一瞬の動きを連写（連続撮影）によって鮮明にとらえます。

- 画面中央でピントを合わせます。シャッターボタンの半押しでピントを固定するまで、オートフォーカスによるピント合わせを自動的に繰り返します。タッチシャッター（34）またはタッチ AF/AE（37）で、ピントが合うエリアを変えられます。
- シャッターボタンを全押ししている間、約 0.9 コマ / 秒で最大 3 コマまで連写できます（画像モードが［**4000 × 3000**］のとき）。
- ピントと露出、ホワイトバランスは 1 コマ目を撮影した条件に固定されます。
- AF 補助光（147）は点灯しません。
- 画像モード、SD カードの種類または撮影状況によって、連写速度が遅くなることがあります。

フラッシュ	発光禁止	セルフタイマー	OFF	マクロ	OFF

夜景ポートレート

夕景や夜景をバックに人物を撮影するときに使います。背景の雰囲気を活かしながら人物をフラッシュ撮影します。

- カメラが人物の顔を認識すると、顔が黄色い二重枠の AF エリア表示で囲まれます（顔認識撮影について→56）。
- 複数の顔を認識したときは、最もカメラに近い顔に二重枠の AF エリアが表示され、AF エリア以外の顔に一重枠が表示されます。一重枠で囲まれた顔をタッチすると、その顔に AF エリアを変更できます（34、37）。
- 美肌機能で人物の顔（最大 3 人）の肌をなめらかにしてから画像を記録します（73）。
- 顔を認識しないときは、シャッターボタンを半押しすると、画面中央でピントが合います。
- 電子ズームは使えません。

フラッシュ	赤目軽減スロー※1	セルフタイマー	OFF※2	マクロ	OFF

※1 赤目軽減スローシンクロ強制発光に固定されます。

※2 変更できます。

パーティー

パーティー会場などでの撮影に使います。キャンドルライトなどの背景を活かして、雰囲気のある画像に仕上げます。
- 画面中央でピントを合わせます。タッチシャッター（34）またはタッチ AF/AE（37）で、ピントが合うエリアを変えられます。
- 手ブレしやすいため、カメラをしっかり持ってください。暗い場所では、三脚などの使用をおすすめします。

🗲	🗲◎※1	⏲	OFF※2	🌷	OFF

※1 赤目軽減スローシンクロに切り換わることがあります。変更できます。
※2 変更できます。

海・雪

晴天の海や砂浜、雪景色などを明るく鮮やかに撮影したいときに使います。
- 画面中央でピントを合わせます。タッチシャッター（34）またはタッチ AF/AE（37）で、ピントが合うエリアを変えられます。

🗲	🗲AUTO※	⏲	OFF※	🌷	OFF

※　変更できます。

夕焼け

赤い夕焼けや朝焼けの撮影に使います。
- 画面中央でピントを合わせます。

🗲	⊛※	⏲	OFF※	🌷	OFF

※　変更できます。

：がついたシーンモードでは、三脚などのご使用をおすすめします。

トワイライト

夜明け前や日没後のわずかな自然光の中での風景撮影に使います。
- 遠景にピントが合います。シャッターボタンを半押しすると、常に AF エリアまたは AF 表示（□30）が緑色に点灯します。ただし、ピントは遠景に合うため、近くの被写体にはピントが合わないことがあります。
- AF 補助光（□147）は点灯しません。

			OFF※		OFF

※ 変更できます。

夜景

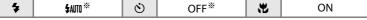
夜景の撮影に使います。スローシャッターで夜景の雰囲気を表現します。
- 遠景にピントが合います。シャッターボタンを半押しすると、常に AF エリアまたは AF 表示（□30）が緑色に点灯します。ただし、ピントは遠景に合うため、近くの被写体にはピントが合わないことがあります。
- AF 補助光（□147）は点灯しません。

			OFF※		OFF

※ 変更できます。

クローズアップ

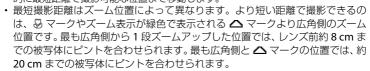
草花や昆虫、小さな被写体などの接写（近接撮影）に使います。
- 画面中央でピントを合わせます。タッチシャッター（□34）またはタッチ AF/AE（□37）で、ピントが合うエリアを変えられます。
- マクロモード（□45）が ON になり、ズームが自動的に最短距離で撮影可能な位置まで移動します。
- 最短撮影距離はズーム位置によって異なります。より短い距離で撮影できるのは、マークやズーム表示が緑色で表示される △ マークより広角側のズーム位置です。最も広角側から 1 段ズームアップした位置では、レンズ前約 8 cm までの被写体にピントを合わせられます。最も広角側と △ マークの位置では、約 20 cm までの被写体にピントを合わせられます。
- シャッターボタンの半押しでピントを固定するまで、オートフォーカスによるピント合わせを自動的に繰り返します。
- 手ブレしやすいため、カメラをしっかり持ってください。

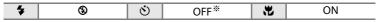
	AUTO※		OFF※		ON

※ 変更できます。フラッシュ撮影時は、撮影距離が50 cm未満の場合、フラッシュの光が充分に行き渡らないことがありますのでご注意ください。

いろいろな撮影

料理

料理の撮影に便利です。

- 画面中央でピントを合わせます。タッチシャッター（34）またはタッチ AF/AE（37）で、ピントが合うエリアを変えられます。
- マクロモード（45）が ON になり、ズームが自動的に最短距離で撮影可能な位置まで移動します。

- 最短撮影距離はズーム位置によって異なります。より短い距離で撮影できるのは、マークやズーム表示が緑色で表示される マークより広角側のズーム位置です。最も広角側から 1 段ズームアップした位置では、レンズ前約 8 cm までの被写体にピントを合わせられます。最も広角側と マークの位置では、約 20 cm までの被写体にピントを合わせられます。
- 色合いを画面下のスライダーで調整できます。スライダーを右にドラッグすると赤味、左にドラッグすると青味が増します。調整した色合いは、電源を OFF にしても記憶されます。
- シャッターボタンの半押しでピントを固定するまで、オートフォーカスによるピント合わせを自動的に繰り返します。
- 手ブレしやすいため、カメラをしっかり持ってください。

			OFF※		ON

※ 変更できます。

ミュージアム

フラッシュ撮影が禁止されている美術館など、フラッシュを発光させたくない場所で撮影するときに使います。

- 画面中央でピントを合わせます。タッチシャッター（34）またはタッチ AF/AE（37）で、ピントが合うエリアを変えられます。
- BSS（ベストショットセレクター）（53）を使って撮影できます。
- 手ブレしやすいため、カメラをしっかり持ってください。
- AF 補助光（147）は点灯しません。

			OFF※		OFF※

※ 変更できます。

：がついたシーンモードでは、三脚などのご使用をおすすめします。

打ち上げ花火

スローシャッターで、打ち上げ花火を撮影します。
- 遠景にピントが固定されます。シャッターボタンを半押しすると、常に AF 表示（□30）が緑色に点灯します。ただし、ピントは遠景に合うため、近くの被写体にはピントが合わないことがあります。
- AF 補助光（□147）は点灯しません。

フラッシュ	発光禁止	セルフタイマー	OFF	マクロ	OFF

三脚マーク：三脚マークがついたシーンモードでは、三脚などのご使用をおすすめします。

モノクロコピー

ホワイトボードや印刷物などの文字を、シャープに撮影したいときに使います。
- 画面中央でピントを合わせます。タッチシャッター（□34）またはタッチ AF/AE（□37）で、ピントが合うエリアを変えられます。
- 近くのものを撮影するときは、マクロモード（□45）を併用してください。
- 赤色、青色などの被写体を撮影すると、文字などが薄くなることがあります。

フラッシュ	発光禁止※	セルフタイマー	OFF※	マクロ	OFF※

※ 変更できます。

手書きメモ

タッチパネルで文字や絵を描いて、画像として保存します。
詳しくは「手書きメモ機能を使う」（□69）をご覧ください。

フラッシュ	–	セルフタイマー	–	マクロ	–

逆光

逆光状態での撮影に使います。内蔵フラッシュが常に発光し、人物が影にならずに撮影できます。
- 画面中央でピントを合わせます。タッチシャッター（□34）またはタッチ AF/AE（□37）で、ピントが合うエリアを変えられます。

フラッシュ	強制発光	セルフタイマー	OFF※	マクロ	OFF

※ 変更できます。

⌘ パノラマアシスト

撮影した複数の画像をつなげて、パノラマ写真に合成したいときに使います。撮影した画像は、付属のソフトウェア「Panorama Maker」を使ってパソコンでパノラ マ写真に合成します。詳しくは「パノラマアシストを使った撮影方法」(□70）をご覧ください。

⚡	⊛※	⏲	OFF※	🌷	OFF※

※ 変更できます。

手書きメモ機能を使う

タッチパネルで文字や絵を描いて、画像として保存します。保存される画像サイズは［VGA 640×480］になります。

1 撮影時に ボタンを押して撮影モードメニューを表示し、［手書きメモ］を選ぶ（59）

2 文字や絵を描く

- をタッチすると、画像を3倍に拡大表示して描けます。表示範囲を移動するときは、をタッチします。をタッチすると拡大表示を終了します。
- （ペン）をタッチして、文字や絵を描きます（108）。
- （消しゴム）をタッチすると、線を消せます（108）。

3 OKをタッチする

- OKをタッチする前に、をタッチすると、ペン、消しゴムで描いた動作を取り消して、ひとつ前の状態に戻ります（最大5回前まで）。

4 ［はい］をタッチする

- メモが保存されます。
- 保存しないときは［**いいえ**］をタッチします。

パノラマアシストを使った撮影方法

画面中央でピントを合わせます。三脚を使うと、構図を合わせやすくなります。

1 撮影時に ボタンを押して撮影モードメニューを表示し、[パノラマアシスト] を選ぶ（59）

- パノラマ方向（画像をつなげる方向）を示す マークが表示されます。

2 パノラマ方向をタッチする

- 右方向につなげるときは 、左方向は 、上方向は 、下方向は をタッチします。
- もう一度、パノラマ方向のアイコンをタッチすると、方向を選び直せます。
- フラッシュモード（42）、セルフタイマー（44）、マクロモード（45）を設定したいときは、ここで設定してください。

3 一番端の被写体に構図を合わせ、1コマ目を撮影する

- 撮影した画像が、画面の約 1/3 の部分に半透明で表示されます。

4 2コマ目以降を撮影する

- 次の被写体の 1/3 が前の絵柄に重なるように構図を合わせて、シャッターボタンを押してください。
- この手順を繰り返して、必要な画像を撮影してください。

5 必要な画像を撮影し終わったら、☒ をタッチする

- 手順2の状態に戻ります。

パノラマアシストについてのご注意

- フラッシュモード、セルフタイマー、マクロモードは、1コマ目のシャッターをきる前に設定してください。1コマ目を撮影した後は変更できません。1コマ目を撮影した後は、［**画像モード**］（□48）、［**露出補正**］（□52）の変更やズーム操作、画像の削除もできません。
- 撮影中にオートパワーオフ（□149）による待機状態になると撮影が終了します。オートパワーオフの時間を長めに設定しておくことをおすすめします。

AE/AF-L表示について

パノラマアシストモードでは、パノラマ写真を構成するすべての画像を、1コマ目と同じ露出、ホワイトバランスおよびピントで撮影します。
1コマ目を撮影すると、露出、ホワイトバランスとピントをロック（固定）したことを示すAE/AF-Lが画面に表示されます。

Panorama Maker について

Panorama Maker は、付属のSoftware Suite CD-ROMを使ってパソコンにインストールできます。
撮影した画像をパソコンに転送して（□126）、Panorama Maker でパノラマ写真に合成してください（□130）。

関連ページ

記録データのファイル名とフォルダー名➞□163

笑顔を撮影する（ベストフェイスモード）

初期設定では、顔認識した人物の笑顔を検出して自動でシャッターをきることができます（笑顔自動シャッター）。美肌機能で人物の顔の肌をなめらかにできます。

1 撮影時に 📷 ボタンを押して撮影モードメニューを表示し、😊 をタッチする

- ベストフェイスモードになります。

2 構図を決める

- カメラを被写体に向けます。
- カメラが人物の顔を認識すると、顔が黄色い二重枠のAFエリア表示で囲まれ、ピントが合うと二重枠が一瞬緑色になりピントが固定されます。
- 最大3人の顔を認識します。複数の顔を認識したときは、最も画面の中央に近い顔が二重枠のAFエリア表示で囲まれ、他の顔が一重枠で囲まれます。一重枠で囲まれた顔をタッチすると、タッチした顔にAFエリアを変更できます。

3 自動的にシャッターがきれる

- ［**笑顔自動シャッター**］（📖74）により、カメラが二重枠で囲まれた人物の笑顔を検出すると、自動的にシャッターがきれます。
  セルフタイマーランプ（📖4）は、カメラが顔を認識すると点滅し、シャッターがきれた直後は速く点滅します。シャッターがきれるたびに、顔認識と笑顔検出による自動撮影を繰り返します。
- シャッターボタンを押してもシャッターがきれます。顔認識していないときは、画面中央の被写体にピントが合います。
- シャッターがきれると、人物の顔の肌をなめらかにしてから画像を記録します（［**美肌効果**］（📖74））。

4 撮影を終了する

- 笑顔検出による自動撮影を終了するときは、電源をOFFにするか、［**笑顔自動シャッター**］を［**OFF**］にするか、📷ボタンを押して他の撮影モードに切り換えてください。

ベストフェイスモードについてのご注意

- 電子ズームは使えません。
- 撮影条件などによっては、適切に顔の認識や笑顔の検出ができないことがあります。
- 「顔認識についてのご注意」➜🕮57

美肌についてのご注意

- 美肌機能を使って撮影する場合は、画像の記録時間が通常より長くなることがあります。
- 撮影条件によっては、撮影時の画面でカメラが顔を認識していても、美肌の効果が表れないことや、顔以外の部分が画像処理されることがあります。望ましい効果が得られない場合は、［**美肌効果**］を［**OFF**］にして撮影し直してください。
- シーンモードのポートレート、夜景ポートレートでは、美肌効果の度合いは設定できません。
- 撮影後にも、記録した画像に美肌の編集ができます（🕮112）。

笑顔自動シャッター使用時の節電機能について

［**笑顔自動シャッター**］が［**ON**］のときは、カメラを操作しないまま以下の状態が続くと、オートパワーオフ（🕮149）が作動して、電源がOFFになります。

- カメラが顔を認識しない。
- カメラが顔を認識していても、笑顔を検出できない。

ベストフェイスモードで使える機能

- ［**笑顔自動シャッター**］を［**OFF**］にすると、タッチシャッター（🕮34）を使えます。
- タッチAF/AE（🕮37）を使えます。
- フラッシュは、［**目つぶり軽減**］が［**ON**］のときは使えません。［**目つぶり軽減**］が［**OFF**］のときは、フラッシュモード（🕮42）が⚡AUTO（自動発光）になります（変更できます）。
- ［**笑顔自動シャッター**］を［**OFF**］にすると、セルフタイマー（🕮44）の設定ができます。
- マクロモードは使えません。
- MENUをタッチして☺（ベストフェイス）メニューを表示すると、［**画像モード**］、［**美肌効果**］、［**笑顔自動シャッター**］、［**露出補正**］または［**目つぶり軽減**］の設定ができます（🕮74）。

関連ページ

オートフォーカスが苦手な被写体➜🕮31

ベストフェイスメニューを使う

ベストフェイスメニューで以下の項目を設定できます。
ベストフェイスモード（□72）で、MENUをタッチして（□14）ベストフェイスメニューを表示し、項目をタッチして設定してください。

画像モード

［**画像モード**］（□48）を設定できます。
画像モードの設定を変更すると、他の撮影モードでも同じ画像モードの設定になります（動画撮影を除く）。

美肌効果

美肌の効果を設定します。シャッターがきれると、人物の顔をカメラが検出し（最大3人）、画像処理で顔の肌をなめらかにしてから画像を記録します。効果の度合いを［**強め**］、［**標準**］（初期設定）、［**弱め**］から選べます。［**OFF**］を選ぶと、美肌機能はOFFになります。

- 美肌効果の設定は、撮影画面のアイコン表示で確認できます（□11）。［**OFF**］のときは、何も表示されません。また、撮影画面の被写体では、効果の度合いは確認できません。撮影後に画像を再生して確認してください。

笑顔自動シャッター

- ［**ON**］（初期設定）：顔認識した人物の笑顔を検出するたびに、カメラが自動でシャッターをきります。
- ［**OFF**］：笑顔検出による自動シャッターを OFF にして、シャッターボタンまたはタッチシャッターのみでシャッターをきります。
- 笑顔自動シャッターの設定は、撮影時の画面で確認できます（□11）。［**OFF**］のときは、何も表示されません。

露出補正

ベストフェイスモードで撮影するときの［**露出補正**］（□52）を設定できます。

目つぶり軽減

［**ON**］にすると、撮影のたびに2回シャッターをきり、人物が目をつぶっていない画像を優先して1コマだけ記録します。

- 目をつぶっている可能性のある画像を記録したときは、右のメッセージが数秒間表示されます。
- ［**ON**］にすると、フラッシュは使えません。
- 初期設定は［**OFF**］です。
- 目つぶり軽減の設定は、撮影時の画面で確認できます（□11）。［**OFF**］のときは、何も表示されません。

1コマ表示中の操作

撮影モードのときに▶（再生）ボタンを押すと再生モードになり、撮影した画像を再生します（📖32）。

1コマ表示では、以下の操作ができます。

機能	アイコン/ボタン	内容	📖
サムネイル表示にする	W（▦）	ズームレバーをW（▦）方向に回すと、4コマ、9コマ、または16コマのサムネイル画像を表示します。	77
画像を拡大する	T（🔍）	ズームレバーをT（🔍）方向に回すと、最大約10倍までの倍率に拡大します。☒をタッチすると、1コマ表示に戻ります。	79
操作アイコンと画像情報の表示/非表示を切り換える	INFO	表示/非表示が切り換わります。	12
画像を選ぶ	▲▼	▲▼をタッチするか、画像をドラッグすると、前後の画像を表示します。画面の半分以上を、すばやくドラッグすると5コマずつ送れます。	32
画像を編集する	☑	画像編集メニューを表示します。お気に入りフォルダーへの登録またはお気に入りの解除もできます。	81、84、102、103、105
動画を再生する	▶	表示中の動画を再生します。	123
画像を削除する	🗑	表示中の画像を削除します。	33
メニューを表示する	MENU	選んでいるモードに応じたメニューを表示します。	93
再生モードを切り換える	▶	再生モードメニューを表示して、お気に入り再生モード、オート分類再生モード、撮影日一覧モードへの切り換えができます。	80
撮影モードに切り換える	📷 / シャッターボタン	📷ボタンまたはシャッターボタンを押します。	32

画像の再生について

顔認識して撮影した画像（56）は、1 コマ表示で再生すると、顔の上下方向に合わせて自動的に回転して表示されます（[**連写**]、[**BSS**]、[**マルチ連写**]（53）で撮影した画像を除く）。

複数の画像を一覧表示する（サムネイル表示）

再生モードの1コマ表示（□75）でズームレバーを**W**（▦）方向に回すと、画像を一覧できる「サムネイル表示」になります。

サムネイル表示では、以下の操作ができます。

機能	アイコン/ボタン	内容	□
表示コマ数を増やす	**W**（▦）	ズームレバーを**W**（▦）方向に回すと、4コマ→9コマ→16コマに切り換わります。	–
表示コマ数を減らす	**T**（Q）	ズームレバーを**T**（Q）方向に回すと、16コマ→9コマ→4コマに切り換わります。 4コマ表示でズームレバーを**T**（Q）方向に回すと1コマ表示に戻ります。	
画面をスクロールする	◀▶	◀または▶をタッチするか、画面下のスライダーをタッチします。	–
1コマ表示に切り換える	–	画像をタッチします。	–
画像を削除する	🗑	🗑をタッチしたあとに、削除する画像をタッチしてOKをタッチします。	–
撮影モードに切り換える	📷 / シャッターボタン	📷ボタンまたはシャッターボタンを押します。	32

サムネイルに表示されるマーク

［**プリント指定**］（□94）や［**プロテクト設定**］（□100）をした画像には右のマークが表示されます。動画は、映画フィルムの1コマのように表示されます。

お気に入り再生およびオート分類再生中のサムネイル表示

- お気に入り再生（□81）でサムネイル表示をすると、再生しているお気に入りフォルダーのアイコンが画面右上に表示されます。

- オート分類再生（□88）でサムネイル表示をすると、再生している分類のアイコンが画面右上に表示されます。

画像を拡大表示する

再生モードの1コマ表示（📖75）でズームレバーを**T**（🔍）方向に回すと、表示中の画像の中央部が拡大表示されます。

- 画面右下のガイドは、画像のどの部分を表示しているかを示しています。

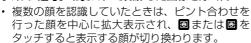
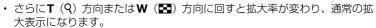
拡大表示では、以下の操作ができます。

機能	アイコン/ボタン	内容	📖
拡大倍率を上げる	**T** （🔍）	ズームレバーを**T**（🔍）方向に回します。約10倍まで拡大できます。	–
拡大倍率を下げる	**W** （▦）	ズームレバーを**W**（▦）方向に回します。倍率が1倍になると、1コマ表示に戻ります。	–
表示範囲を移動する	–	画像をドラッグすると、表示範囲を移動できます。	–
画像を削除する	🗑	🗑をタッチします。	32
1コマ表示に戻る	✕	✕をタッチします。	33
画像の一部を切り抜く（トリミング）	✂	拡大表示した部分だけを別画像として保存します。	118
撮影モードに切り換える	📷 シャッターボタン	📷ボタンまたはシャッターボタンを押します。	32

顔認識して撮影した画像の場合

顔認識（📖56）して撮影した画像は、1コマ表示でズームレバーを**T**（🔍）方向に回すと、撮影時に認識した顔を中心に拡大表示されます（[**連写**]、[**BSS**]、[**マルチ連写**]（📖53）で撮影した画像を除く）。

- 複数の顔を認識していたときは、ピント合わせを行った顔を中心に拡大表示され、◀または▶をタッチすると表示する顔が切り換わります。

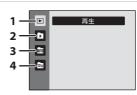
- さらに**T**（🔍）方向または**W**（▦）方向に回すと拡大率が変わり、通常の拡大表示になります。

再生モードを選ぶ

再生モードは、▶再生、★お気に入り再生、AUTOオート分類再生、12撮影日一覧から選べます。

1 再生時に▶ボタンを押す

- 再生モードメニューが表示されます。

2 設定したい再生モードのアイコンをタッチする

- 選んだモードに切り換わります。
- 再生モードを切り換えずに再生モードに戻るには、▶ボタンを押します。

1	▶ **再生**	⧉32
	撮影したすべての画像を再生します。	
2	★ **お気に入り再生**	⧉81
	お気に入りフォルダーに登録した画像を再生します。	
3	AUTO **オート分類再生**	⧉88
	撮影時に自動分類された項目を選んで、画像や動画を再生します。	
4	12 **撮影日一覧**	⧉91
	撮影日を選んで、画像を再生します。	

お気に入りの画像を分類する（お気に入り再生）

撮影した画像は、お気に入りフォルダーへ登録して分類できます。
登録後は、「お気に入り再生モード」にすると、登録した画像だけを再生できます。

- お気に入りフォルダーに登録しておくと、画像を探すときに見つけやすくなります。
- 画像を旅行や結婚式などのイベントごとに分類して再生できます。
- 同じ画像を複数のフォルダーに登録できます。

画像をお気に入りフォルダーに登録する

撮影した画像をお気に入りフォルダーに登録して分類します。

1 再生モード（□32）、オート分類再生モード（□88）または撮影日一覧モード（□91）で画像を再生する

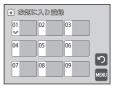
2 お気に入りの画像を選び、☑をタッチする

- 1コマ表示にして☑をタッチしてください。画像編集メニューが表示されます。

3 ★をタッチする

- お気に入り登録画面が表示されます。

4 画像を登録したいお気に入りフォルダーをタッチする

- 登録が完了し、1コマ表示に戻ります。
- 同じ画像を複数のフォルダーに登録するときは、手順1または2から操作を繰り返します。

お気に入り登録についてのご注意

- 1つのお気に入りフォルダーに登録できる画像は、最大200コマです。
- 動画はお気に入りフォルダーに登録できません。
- 選んだ画像がすでにお気に入りフォルダーに登録されているときは、登録されているお気に入りフォルダーのチェックボックスがオン（✔）になります。
- 画像をお気に入りフォルダーに登録しても、画像ファイルは記録したフォルダー（📖163）からお気に入りフォルダーへコピーも移動もされません（📖87）。

関連ページ

お気に入り登録を解除する→📖84

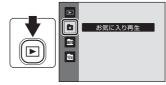
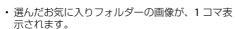
お気に入りフォルダーの画像を再生する

「お気に入り再生モード」にすると、画像を登録したお気に入りフォルダーを選んで画像を表示できます。

- 1コマ表示にすると、通常の再生モードと同様に、サムネイル表示、拡大表示または画像の編集ができます。
- 1 コマ表示またはサムネイル表示で MENU をタッチして「お気に入り再生メニュー」（□85）を表示すると、同じお気に入りフォルダーの画像をまとめて削除することや、同じお気に入りフォルダーの画像だけでスライドショー、プリント指定、プロテクト設定などができます。

1 再生時に ▶ ボタンを押して再生モードメニューを表示し、をタッチする

- お気に入りフォルダーの一覧表示になります。

2 表示したいお気に入りフォルダーをタッチする

- 選んだお気に入りフォルダーの画像が、1 コマ表示されます。
- 再生中のお気に入りフォルダーアイコンが画面に表示されます。
- 1 コマ表示時に をタッチすると、お気に入りフォルダーの一覧画面に戻ります。

お気に入り登録を解除する

画像を削除しないで、お気に入りフォルダーから画像の登録を解除したいときは、以下のように操作してください。

- お気に入り再生モードの1コマ表示（□83 の手順2）で解除したい画像を選んで☑をタッチし、画像編集画面の★をタッチすると、登録解除の確認画面が表示されます。

- ［**はい**］をタッチし、登録を解除します。解除をやめるときは、［**いいえ**］をタッチします。

削除についてのご注意

お気に入り再生モードで画像を削除すると、お気に入りフォルダーから画像が消えるだけでなく、内蔵メモリーまたはSDカードに記録されている元の画像も削除されますのでご注意ください（□87）。

お気に入り再生モードの操作

お気に入りフォルダーの一覧画面では、以下の操作ができます。

機能	アイコン/ボタン	内容	📖
お気に入りフォルダーのアイコンを変更する		お気に入りフォルダーのアイコンを変更します。	86
フォルダーごとに画像を削除する		をタッチすると、フォルダーの選択画面が表示されます。フォルダーを選んでOKをタッチすると、そのフォルダーの画像をすべて削除できます。	–
お気に入り再生メニューを表示する	MENU	お気に入り再生メニューを表示します。	85
再生モードを切り換える		再生モードメニューを表示します。	80
撮影モードに切り換える		ボタンまたはシャッターボタンを押します。	32

お気に入り再生メニュー

お気に入り再生モードでMENUをタッチすると、選んだフォルダーの画像だけを対象に、以下のメニュー操作ができます。

プリント指定　→📖94
スライドショー※　→📖97
削除　→📖98
プロテクト設定※　→📖100
※ 1コマ表示時のみ

お気に入りフォルダーの一覧画面（📖83）でMENUをタッチすると、同じフォルダーの画像にプリント指定をまとめて行ったり、同じフォルダーの画像をまとめて削除できます。
画像ごとに設定を変更したり、削除する画像を選ぶときは、1コマ表示にしてからMENUをタッチしてください。

いろいろな再生

お気に入りフォルダーのアイコンを変更する

お気に入りフォルダーのアイコンのデザインは変更できます。変更すると、どのフォルダーにどのような分類で画像を登録したか分かりやすくなります。

1 再生時に ▶ ボタンを押して再生モードメニューを表示し、★をタッチする

- お気に入りフォルダーの一覧表示になります。

2 ✎をタッチする

3 変更したいフォルダーをタッチする

- アイコンとアイコンの色の選択画面になります。

4 フォルダーに表示したいアイコンとアイコンの色をタッチし、OKをタッチする

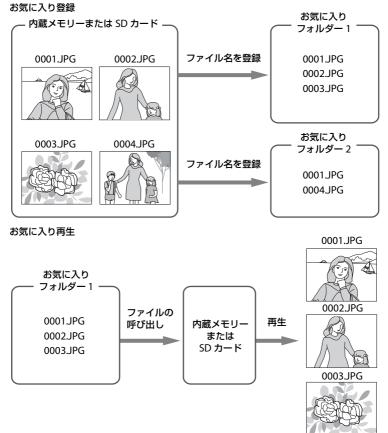
- アイコンが変更され、お気に入りフォルダーの一覧画面に戻ります。

✔ お気に入りフォルダーのアイコン設定についてのご注意

お気に入りフォルダーのアイコンは、内蔵メモリーまたはSDカードごとに設定してください。

- 内蔵メモリーのお気に入りフォルダーアイコンを変更するときは、SD カードをカメラから取り出してください。
- アイコンの初期設定は数字アイコン（黒色）です。

お気に入りの登録/再生について

画像をお気に入りフォルダーに登録しても、画像ファイルは記録したフォルダー（□163）からお気に入りフォルダーへコピーも移動もされません。お気に入りフォルダーには、画像のファイル名が登録されます。お気に入り再生モードでは、お気に入りフォルダーに登録されているファイル名から画像を呼び出して再生します。
お気に入り再生モードで画像を削除（□33、85、98）すると、お気に入りフォルダーから画像が消えるだけでなく、内蔵メモリーまたはSDカードに記録されている元の画像が削除されますのでご注意ください。

オート分類再生で画像を探す

画像や動画は、撮影時に以下のいずれかの項目に自動的に分類されます。「オート分類再生モード」にすると、撮影時に分類された項目を選んで画像や動画を表示できます。

笑顔	人物	料理
風景	夜景	接写
動画	編集済み画像	その他の画像

- 1コマ表示にすると、通常の再生モードと同様に、サムネイル表示、拡大表示、画像の編集または動画再生ができます。お気に入りフォルダーへの分類もできます。
- MENU をタッチして「オート分類再生メニュー」（90）を表示すると、同じ分類の画像をまとめて削除することや、同じ分類の画像だけでスライドショー、プリント指定、プロテクト設定などができます。

いろいろな再生

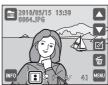
オート分類再生モードで画像を表示する

1 再生時にボタンを押して再生モードメニューを表示し、をタッチする

- 分類項目の一覧画面になります。

2 表示したい分類項目をタッチする

- 分類項目についての詳細は、「分類の種類と内容」（89）をご覧ください。

- 選んだ項目の画像が1コマ表示されます。
- 再生中の項目のアイコンが画面に表示されます。
- 1コマ表示時にをタッチすると、分類項目の一覧画面に戻ります。

分類の種類と内容

項目	内容
笑顔	ベストフェイスモード（72）で笑顔自動シャッターを［**ON**］にして撮影した画像。
人物	（オート撮影）モード（26）で顔認識撮影した画像。 シーンモード（59）の［**ポートレート**］※、［**夜景ポートレート**］※、［**パーティー**］、［**逆光**］※で撮影した画像。 ベストフェイスモード（72）で笑顔自動シャッターを［**OFF**］にして撮影した画像。
料理	シーンモード（59）の［**料理**］で撮影した画像。
風景	シーンモード（59）の［**風景**］※で撮影した画像。
夜景	シーンモード（59）の［**夜景**］※、［**夕焼け**］、［**トワイライト**］、［**打ち上げ花火**］で撮影した画像。
接写	（オート撮影）モードでマクロ（45）に設定して撮影した画像。 シーンモード（59）の［**クローズアップ**］※で撮影した画像。
動画	動画（119）。
編集済み画像	画像編集（105）で作成した画像。
その他の画像	他の分類項目に該当しない画像。

※ おまかせシーン（60）で切り換わった場合も含みます。

オート分類再生モードについてのご注意

- 1つの分類項目で表示できるのは、最大999コマです。撮影時にすでに999コマある分類項目に該当した画像/動画は、オート分類再生モードに登録できず、オート分類再生モードで表示できません。通常の再生モード（32）または撮影日一覧モード（91）で表示してください。
- 内蔵メモリーまたはSD カードからコピーした画像や動画（100）は、オート分類再生モードでは表示できません。
- COOLPIX S4000以外で記録した画像や動画は、オート分類再生モードで表示できません。

オート分類再生モードの操作

オート分類再生の一覧画面では、以下の操作ができます。

機能	アイコン/ボタン	内容	📖
分類ごとに画像を削除する	🗑	🗑をタッチすると、分類項目の選択画面が表示されます。項目を選んでOKをタッチすると、その項目の画像をすべて削除できます。	–
オート分類再生メニューを表示する	MENU	オート分類再生メニューを表示します。	90
再生モードを切り換える	▶	再生モードメニューを表示します。	80
撮影モードに切り換える	📷 / シャッターボタン	📷ボタンまたはシャッターボタンを押します。	32

オート分類再生メニュー

オート分類再生モードでMENUをタッチすると、選んだ分類の画像だけを対象に、以下のメニュー操作ができます。

プリント指定 →📖94
スライドショー※ →📖97
削除 →📖98
プロテクト設定※ →📖100
※ 1コマ表示時のみ

分類項目の一覧画面（📖88）でMENUをタッチすると、同じ分類の画像にプリント指定をまとめて行ったり、同じ分類の画像をまとめて削除できます。
画像ごとに設定を変更したり、削除する画像を選ぶときは、1コマ表示にしてからMENUをタッチしてください。

特定の日付の画像を選ぶ（撮影日一覧モード）

「撮影日一覧モード」にすると、同じ撮影日の画像だけを再生できます。

- 1コマ表示にすると、通常の再生モードと同様に、サムネイル表示、拡大表示、画像の編集または動画再生ができます。お気に入りフォルダーへの分類もできます。
- MENU をタッチして「撮影日一覧メニュー」（92）を表示すると、同じ日付の画像をまとめて削除することや、同じ日付の画像だけでスライドショー、プリント指定、プロテクト設定などができます。

撮影日一覧モードで日付を選ぶ

1 再生時に ▶ ボタンを押して再生モードメニューを表示し、をタッチする

- 撮影日の一覧画面になります。

2 表示したい日付をタッチする

- 表示される撮影日は最大29日分までです。撮影日が30日以上あると、［**過去画像**］として30日以降の画像がすべてまとめられます。

- 選んだ日に最初に撮影した画像が、1コマ表示されます。
- 1コマ表示時に をタッチすると、撮影日の一覧画面に戻ります。

✓ 撮影日一覧モードについてのご注意

- 撮影日一覧モードで表示できる画像は、最新の画像から9,000 コマまでです。9,001コマ目を含む日付の画像枚数表示には、「＊」マークが表示されます。
- 日時を設定せずに撮影した画像は、「2010年1月1日」の画像として扱われます。

撮影日一覧モードの操作

撮影日の一覧画面では、以下の操作ができます。

機能	アイコン/ボタン	内容	📖
画面をスクロールする	◀▶	◀または▶をタッチするか、画面下のスライダーをドラッグします。	–
撮影日ごとに画像を削除する	🗑	🗑をタッチすると、日付の選択画面が表示されます。日付を選んでOKをタッチすると、その日付の画像をすべて削除できます。	–
撮影日一覧メニューを表示する	MENU	撮影日一覧メニューを表示します。	92
再生モードを切り換える	▶	再生モードメニューを表示します。	80
撮影モードに切り換える	📷 / ↓	📷ボタンまたはシャッターボタンを押します。	32

撮影日一覧メニュー

撮影日一覧モードでMENUをタッチすると、選んだ日付の画像だけを対象に、以下のメニュー操作ができます。

プリント指定 →📖94
スライドショー※ →📖97
削除 →📖98
プロテクト設定※ →📖100
※ 1コマ表示時のみ

撮影日の一覧画面（📖91）でMENUをタッチすると、同じ日付の画像にプリント指定をまとめて行ったり、同じ日付の画像をまとめて削除できます。
画像ごとに設定を変更したり、削除する画像を選ぶときは、1コマ表示にしてからMENUをタッチしてください。

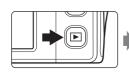
再生メニューを使う

再生メニューでは、以下の機能が使えます。

プリント指定	🕮94
プリンターでプリントする画像や、その枚数などを設定します。	
スライドショー	🕮97
内蔵メモリー /SDカード内の画像を、1コマずつ順番に自動再生します。	
削除	🕮98
画像を削除します。複数の画像をまとめて削除できます。	
プロテクト設定	🕮100
大切な画像を誤って削除しないように、プロテクト（保護）します。	
画像コピー	🕮100
内蔵メモリーとSDカードの間で画像をコピーします。	

再生メニューの表示方法

▶ボタンを押して再生モードにします（🕮32）。

MENUをタッチして、再生メニューを表示します。

- 項目をタッチして設定します。
- 再生メニューを終了するには、✕をタッチします。

いろいろな再生

プリント指定（プリントする画像や枚数の設定）

▶ボタンを押す（再生モード）➔ MENU（再生メニュー）➔ 凸 プリント指定

SDカードに記録した画像を以下の方法でプリントする場合、どの画像を何枚プリントするかを、あらかじめSDカードに設定できます。

- カードスロットが付いたDPOF対応（□177）のプリンターでプリントする。
- DPOF対応のプリントサービス店にプリントを依頼する。
- カメラを PictBridge 対応（□177）のプリンターに接続してプリントする（□132）（カメラからSDカードを取り外すと、内蔵メモリーに記録した画像にもプリント指定できます）。

1 再生モードでMENUをタッチする

- 再生メニューが表示されます。

2 ［プリント指定］をタッチする

- お気に入り再生、オート分類再生または撮影日一覧モードの場合➞手順4へ

3 ［複数画像選択］をタッチする

4 プリントする画像（最大99コマまで）と、それぞれのプリント枚数（各9枚まで）を設定する

- プリントしたい画像をタッチして選び、＋または－をタッチしてプリント枚数を設定します。
- プリントされる画像には、チェックマークとプリント枚数が表示されます。枚数を0にすると、その画像の選択を解除できます。
- 🔍をタッチするか、ズームレバーを**T**（🔍）方向に回すと1コマ表示に切り換わります。▦をタッチするか、ズームレバーを**W**（▦）方向に回すと6コマ表示に切り換わります。
- 設定が終了したらOKをタッチします。

5 日付と撮影情報を画像に入れてプリントするかどうかを設定する

- ［**日付**］をタッチすると、すべての画像に撮影日を印字します。
- ［**撮影情報**］をタッチすると、すべての画像に撮影情報（シャッタースピードと絞り値）を印字します。
- OKをタッチして、設定を有効にします。

プリント指定を行った画像は、再生時の画面で確認できます。

✔ 日付と撮影情報を入れてプリントするときのご注意

プリント指定で設定した［**日付**］と［**撮影情報**］は、「日付」や「撮影情報」が印字可能なDPOF対応プリンター（📖177）で印字できます。

- 付属のUSBケーブルでカメラをプリンターに接続して「DPOFプリント」（📖137）するときは、「撮影情報」は印字できません。
- プリント指定を行った後、再び［**プリント指定**］メニューを表示すると、［**日付**］と［**撮影情報**］の設定はリセットされますのでご注意ください。
- プリントされる日付は、撮影時点でカメラに設定されている日時です。撮影後にセットアップメニューの［**日時設定**］を変更してもプリントされる日付には反映されません。

[プリント指定] についてのご注意

お気に入り再生、オート分類再生または撮影日一覧モードでプリント指定するときに、選んだフォルダー、分類または撮影日以外の画像がすでにプリント指定されていると、以下の画面が表示されます。

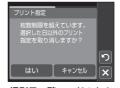
- [**はい**] を選ぶと、他の画像のプリント指定に今回の設定内容を追加します。
- [**いいえ**] を選ぶと、他の画像のプリント指定をすべて解除して、今回の設定だけを残します。

お気に入り再生 / オート分類再生モードのとき

撮影日一覧モードのとき

また、今回の設定内容を追加することで設定コマ数が99コマを超える場合は、以下の画面が表示されます。

- [**はい**] を選ぶと、他の画像のプリント指定をすべて解除して、今回の設定だけを残します。
- [**キャンセル**] を選ぶと、他の画像のプリント指定を残して、今回の設定を取り消します。

お気に入り再生 / オート分類再生モードのとき

撮影日一覧モードのとき

プリント指定をすべて取り消すには

「プリント指定（プリントする画像や枚数の設定）」の手順3（□94）で [**プリント指定取消**] をタッチすると、すべての画像に対するプリント指定を取り消しできます。

[デート写し込み] について

セットアップメニューの [**デート写し込み**]（□144）を使うと、撮影時に日時を画像に写し込んで記録できます。日付の印字に対応していないプリンターでも日付入りの画像をプリントできます。
デート写し込みした画像は、[**プリント指定**] で日付の印字を設定しても、デート写し込みした日付のみがプリントに表示されます。

スライドショー

▶ボタンを押す（再生モード）➔ MENU（再生メニュー）➔ スライドショー

内蔵メモリー /SDカード内の画像を、1コマずつ順番に自動再生します。

1 ［開始］をタッチする

- 画像の表示時間を変更するには、［**開始**］を選ぶ前に［**インターバル設定**］をタッチし、画像の表示時間を選びます。
- 繰り返し再生するには、［**開始**］を選ぶ前に［**エンドレス**］をタッチし、チェックボックスをオン［✔］にします。

2 スライドショーが始まる

- モニターをタッチすると、操作アイコンが表示されます。INFOをタッチすると、操作アイコンが非表示になります。

操作アイコンをタッチすると、以下の操作ができます。

機能	アイコン	内容	
巻き戻し	◀◀	タッチしている間、巻き戻します。	
早送り	▶▶	タッチしている間、早送りします。	
一時停止	⏸	タッチすると、一時停止します。 一時停止中に画面右側の操作アイコンで、以下の操作ができます。	
		◀II	タッチすると、1コマ戻ります。触れ続けると、連続してコマ戻しします。
		II▶	タッチすると、1コマ進みます。触れ続けると、連続してコマ送りします。
		▶	タッチすると、再生を再開します。
再生終了	■	タッチすると、再生メニューに戻ります。	

✔ スライドショーについてのご注意

- 動画は1フレーム目だけを表示します。
- スライドショーを連続再生できる時間は、［**エンドレス**］に設定している場合も含め、最大30分です（□149）。

削除（複数画像の削除）

▶ボタンを押す（再生モード）➔ MENU（再生メニュー）➔ 🗑削除

画像を削除します。

削除画像選択

画像選択の画面で、画像を選んで削除します。→「画像選択画面の操作方法」（📖99）

全画像削除

すべての画像を削除します。お気に入り再生、オート分類再生または撮影日一覧モードのときは、再生中のフォルダー、分類または撮影日の画像だけをすべて削除します。

☑ 画像削除についてのご注意

- 削除した画像はもとに戻せないため、ご注意ください。残しておきたい画像はパソコンに転送して保存することをおすすめします。
- 🔑 マークが表示されている画像は、プロテクト（保護）されているので削除されません（📖100）。

画像選択画面の操作方法

以下のメニューでは、画像選択時に右のような画面が表示されます。

- **再生メニュー**：プリント指定の［**複数画像選択**］（□94）、
  削除の［**削除画像選択**］（□98）、
  プロテクト設定（□100）、
  画像コピーの［**選択画像コピー**］（□100）
- **セットアップメニュー**：オープニング画面の［**撮影した画像**］（□140）

以下の手順で画像を選びます。

1 設定したい画像をタッチしてON/OFFを設定する

- ［**オープニング画面**］の画像選択では、1画像しか選べません。
- 🔍をタッチするか、ズームレバーを**T**（🔍）方向に回すと1コマ表示に切り換わります。▦をタッチするか、ズームレバーを**W**（▦）方向に回すと6コマ表示に切り換わります。
- ONにすると、選択画像にチェックマークが表示されます。
- ［**プリント指定**］では、＋または－をタッチして、プリント枚数を選びます。

2 OKをタッチして画像選択を決定する

- ［**削除画像選択**］などでは、確認画面になります。画面の表示に従って操作してください。

プロテクト設定

▶ボタンを押す（再生モード）➔ MENU（再生メニュー）➔ O┳プロテクト設定

大切な画像を誤って削除しないように、画像にプロテクト（保護）を設定できます。

画像選択の画面で、画像をタッチしてプロテクトの設定または解除をします。

→「画像選択画面の操作方法」（□99）

ただし、内蔵メモリー/SDカードを初期化（フォーマット、□150）すると、プロテクト設定した画像も削除されますので、ご注意ください。

プロテクト設定した画像は、カメラでの再生時にOmマーク（□13、77）が表示されます。

画像コピー（内蔵メモリーとSDカード間のコピー）

▶ボタンを押す（再生モード）➔ MENU（再生メニュー）➔ 画像コピー

内蔵メモリーの画像をSDカードへ、またはSDカードの画像を内蔵メモリーへコピーできます。

1 コピーする方向をタッチする

- IN➔□：内蔵メモリーからSDカードへコピーします。
- □➔IN：SD カードから内蔵メモリーへコピーします。

2 コピーの方法をタッチする

- ［**選択画像コピー**］：画像選択画面（□99）で、画像を選んでコピーします。
- ［**全画像コピー**］：すべての画像をコピーします。

画像コピーについてのご注意

- コピーできるファイルの形式は、JPEG、AVI、WAV です。これ以外の形式のファイルはコピーできません。
- 画像コピーでは、画像に付けた「音声メモ」（□103）も画像と同時にコピーします。
- 他社製のカメラで撮影した画像やパソコンで加工した画像のコピーは動作を保証していません。
- ［**プリント指定**］（□94）した画像をコピーしても、プリント指定の設定内容はコピーされません。［**プロテクト設定**］（□100）した画像をコピーすると、コピー先の画像もプロテクトされます。
- 内蔵メモリーまたは SD カードからコピーした画像や動画は、オート分類再生モード（□88）では表示できません。
- お気に入り登録（□81）した画像をコピーしても、お気に入り登録の登録内容はコピーされません。

［撮影画像がありません］のメッセージについて

SDカードに画像が記録されていないときに再生モードに切り換えると、［**撮影画像がありません**］と表示されますが、MENUをタッチすると画像コピー画面が表示され、内蔵メモリーの画像をSDカードにコピーできます。

関連ページ

記録データのファイル名とフォルダー名➞□163

画像を回転する

撮影後に、カメラなどで表示するときの画像の向き（縦横位置）を設定します。静止画を時計方向に90度、または反時計方向に90度回転できます。撮影時に縦位置で記録された画像は、時計回り/反時計回りのどちらか一方向に180度まで回転できます。

1 1コマ表示（□75）で画像を選び、☑ をタッチする

- 画像編集メニューが表示されます。

2 をタッチする

- 画像回転画面になります。

3 またはをタッチする

反時計方向に
90度回転

時計方向に
90度回転

- 画像が90度回転します。
- OK をタッチすると、表示している方向で決定し、画像に縦横位置情報が記録されます。
- ☒をタッチすると、1コマ表示に戻ります。

いろいろな再生

画像に音声メモを付ける

撮影した画像に、カメラのマイクを使って音声によるメモが付けられます。

音声メモを録音する

1 1コマ表示（□75）で画像を選び、をタッチする

- 画像編集メニューが表示されます。

2 をタッチする

- 音声メモの録音画面になります。

3 をタッチして音声メモを録音する

- 約20 秒まで音声メモを録音できます。
- 録音中はカメラのマイクに触れないようご注意ください。
- 録音中は REC が点滅します。
- 録音中にをタッチすると、録音が停止します。
- 録音が終了すると、音声メモ再生画面になります。「音声メモを再生する」（□104）の手順3にしたがって再生できます。
- をタッチすると、1コマ表示に戻ります。

関連ページ

記録データのファイル名とフォルダー名→□163

音声メモを再生する

音声メモを録音した画像には、1コマ表示で[♪]が表示されます。

1 1コマ表示（75）で画像を選び、[編集]をタッチする

- 画像編集メニューが表示されます。

2 [マイク]をタッチする

- 音声メモの再生画面になります。

3 [▶]をタッチして音声メモを再生する

- 再生を途中で止めるには、[■]をタッチします。
- 再生中は、[音量]をタッチして音量を調節できます。
- 再生中は[♪]が点滅します。
- [×]をタッチすると、1コマ表示に戻ります。

音声メモを削除する

「音声メモを再生する」の手順3で[削除]をタッチします。［**はい**］をタッチすると、音声メモだけを削除します。

音声メモについてのご注意

- 音声メモが付いた画像を削除すると、その画像に付けた音声メモも削除されます。
- すでに音声メモが録音されている画像には、音声メモを録音できません。録音内容を変更するときは、いったん音声メモだけを削除してから、もう一度音声メモを録音してください。
- COOLPIX S4000以外で撮影した画像には、COOLPIX S4000で音声メモを付けられません。

いろいろな再生

画像編集の種類

このカメラでは以下の機能を使って画像を簡単に編集できます。以下の機能で編集した画像は元画像とは別に、異なるファイル名で保存されます（□163）。

編集の種類	用途
ペイント（□107）	画像に絵を描いたり、スタンプを押したりします。
簡単レタッチ（□110）	コントラストと色の鮮やかさを高めた画像を簡単に作成します。
D-ライティング（□111）	逆光やフラッシュの光量不足で暗くなった部分を明るく補正します。
美肌（□112）	人物の顔の肌をなめらかにします。
スリム効果（□114）	画像を横方向に伸縮します。人物を細く見せたり、太く見せたりするときなどに使います。
アオリ効果（□115）	横位置で撮影した画像の遠近感を強めたり、弱めたりします。シフトレンズのようなアオリ効果があります。建物を撮影したときなどに使います。
スモールピクチャー（□116）	サイズの小さい画像を作成します。電子メールに添付して送信するときなどに使います。
ピクチャーカラー（□117）	画像の色調を変えます。色を鮮やかにしたり、白黒にしたりできます。
トリミング（□118）	画像の一部を切り抜きます。被写体をクローズアップしたいときや構図に手を加えたいときなどに使います。

画像回転については102ページ、音声メモについては103ページをご覧ください。

画像編集についてのご注意

- ［**画像モード**］（□48）を［**3968×2232**］にして撮影した画像は、編集できません。
- COOLPIX S4000以外で撮影した画像は、COOLPIX S4000で編集できません。
- 画像から人物の顔を検出できないときは、美肌の編集はできません（□112）。
- COOLPIX S4000以外のデジタルカメラでは、COOLPIX S4000で編集した画像の正常な表示やパソコンへの転送ができないことがあります。
- 内蔵メモリー /SDカードに充分な空き容量がないときは、編集できません。

画像編集の制限

編集で作成した画像に別の編集を追加するときには、以下の制限があります。

編集に使った機能	追加できる編集機能
ペイント	ペイント、スモールピクチャーまたはトリミングができます。
簡単レタッチ D-ライティング ピクチャーカラー スリム効果 アオリ効果	ペイント、スモールピクチャー、美肌またはトリミングができます。
美肌	美肌以外の編集ができます。
スモールピクチャー	追加編集できません。
トリミング	追加編集できません。ただし、640×480以上の画像サイズで保存された画像にはペイントができます。

- ペイントを除き、編集で作成した画像に同じ種類の編集を繰り返すことはできません。
- スモールピクチャーまたはトリミングと別の編集機能を組み合わせるときは、スモールピクチャーまたはトリミングは最後に編集してください。
- 撮影時に美肌機能を使って撮影した画像（□74）にも、美肌の編集ができます。
- 手書きメモ（□69）で作成した画像は、ペイント、スモールピクチャー、またはトリミングだけが使えます。

元画像と編集画像の関係について

- 編集で作成した画像は、元画像を削除しても削除されません。また編集で作成した画像を削除しても、元画像は削除されません。
- 編集で作成した画像の撮影日時は、元の画像と同じです。
- プリント指定（□94）やプロテクト設定（□100）した画像を編集しても、これらの設定内容は編集で作成した画像に反映されません。

画像を編集する

画像にペイントする

画像に絵を描いたり、スタンプを押したりできます。撮影日のスタンプを押すこともできます。ペイントした画像は、元画像とは別に保存されます。

1 1コマ表示（□75）で画像を選び、をタッチする

- 画像編集メニューが表示されます。

2 をタッチする

3 、、、を使ってペイントする

- ペイントツールの使い方→□108
- をタッチすると、画像を3倍に拡大表示してペイントできます。表示範囲を移動するときは、をタッチします。をタッチすると、拡大表示を終了します。
- をタッチすると、ペン、消しゴム、スタンプで描いた動作を取り消して、ひとつ前の状態に戻ります（最大5回前まで）。

4 をタッチする

5 ［はい］をタッチする

- ペイント画像が作成されます。
- 中止するときは、［**いいえ**］をタッチします。

6 保存サイズを選ぶ

- 保存する画像のサイズを［**3 M**］（2048 × 1536）または［**TV**］（640×480）から選びます。
- ［**画像モード**］（□48）を［**PC 1024×768**］や［**VGA 640×480**］にして撮影した画像、またはトリミングで3M未満のピクセル数で保存された画像は、保存サイズが自動的に［**TV**］になります。
- ペイントした画像は、再生画面で✎が表示されます。

ペイントツールの使い方

文字や絵を描く

✎をタッチすると、文字や絵を描けます。

- 「ペンの太さ」アイコンをタッチすると、ペンの太さを選べます。
- 「ペンの色」アイコンをタッチすると、ペンの色を選べます。

文字や絵を消す

◆をタッチすると、画像に描いた線やスタンプを消せます。

- 「消しゴムの大きさ」アイコンをタッチすると、消しゴムの大きさを選べます。

画像の編集

スタンプを押す

をタッチすると、スタンプを押せます。

- 「スタンプの種類」アイコンをタッチすると、14種類のスタンプから選べます。
- 「スタンプの大きさ」アイコンをタッチすると、スタンプのサイズを選べます。「スタンプの種類」でを選んだときは、（年・月・日）と（年・月・日・時刻）を選べます。

フレームを付ける

をタッチすると、画像にフレームを付けられます。

- またはをタッチすると、7種類のフレームが順番に表示されます。をタッチすると、フレームを決定します。

撮影日スタンプについてのご注意

- ［**画像モード**］（48）が［ **640×480**］の画像に撮影日のスタンプを押すと、日付が読みづらいことがあります。撮影するときに、［**画像モード**］を［ **1024×768**］以上にしてください。スタンプを押した後、保存するときは［**3 M**］を選んでください。
- 年月日の並びは、セットアップメニューの［**日時設定**］（141）での設定と同じになります。
- スタンプできる日時は、撮影時点でカメラに設定されていた日時です。スタンプする日時は変更できません。

関連ページ

記録データのファイル名とフォルダー名→163

簡単レタッチ（コントラストと鮮やかさを高める）

コントラストと色の鮮やかさを高めた画像を、簡単に作成できます。作成した画像は、元画像とは別に保存されます。

1 1コマ表示（75）で画像を選び、をタッチする

- 画像編集メニューが表示されます。

2 をタッチする

- 効果の度合いを設定する画面が表示されます。

3 効果の度合いを選び、OKをタッチする

4 ［はい］をタッチする

- レタッチした画像が作成されます。
- 中止するときは、［**いいえ**］をタッチします。
- 簡単レタッチで作成した画像は、再生画面でが表示されます。

関連ページ

記録データのファイル名とフォルダー名→163

D-ライティング（画像の暗い部分を明るく補正する）

逆光やフラッシュの光量不足などで暗くなった被写体を、明るく補正できます。補正した画像は、元画像とは別に保存されます。

1 1コマ表示（75）で画像を選び、をタッチする

- 画像編集メニューが表示されます。

2 をタッチする

- 補正前（左側）と補正後（右側）の見本が表示されます。

3 をタッチする

4 ［はい］をタッチする

- 編集した画像が作成されます。
- 中止するときは、［**いいえ**］をタッチします。
- D-ライティングで作成した画像は、再生画面でが表示されます。

関連ページ

記録データのファイル名とフォルダー名→163

美肌（肌をなめらかにする）

撮影した画像から人物の顔を検出して、顔の肌をなめらかにします。美肌編集して作成した画像は、元画像とは別に保存されます。

1 1コマ表示（75）で画像を選び、をタッチする

- 画像編集メニューが表示されます。

2 をタッチする

- 効果の度合いを設定する画面が表示されます。
- 画像から人物の顔を検出できないときは、警告メッセージが表示され、1コマ表示に戻ります。

3 効果の度合いを選び、OKをタッチする

- 確認画面になり、美肌編集した顔が拡大表示されます。
- 中止するときは、をタッチします。

4 効果を確認する

- 最も画面の中央に近い順に、最大12人の肌を編集します。
- 美肌編集した顔が複数あるときは、 または をタッチすると、顔の切り換えができます。
- 効果の度合いを変えたいときは、をタッチしてボタンを手順3に戻ります。
- OKをタッチすると、保存確認画面を表示します。

5 ［はい］をタッチする

- 美肌編集した画像が作成されます。
- 中止するときは、［**いいえ**］をタッチします。
- 美肌編集で作成した画像は、再生画面で[アイコン]が表示されます。

美肌についてのご注意

顔の向きや明るさなど、画像によっては、適切に顔を検出できないことや望ましい効果が得られないことがあります。

関連ページ

記録データのファイル名とフォルダー名 ➞ 163

スリム効果（画像を伸縮させる）

画像を横方向に伸縮します。スリム効果で作成した画像は、元画像とは別に保存されます。

1 1コマ表示（75）で画像を選び、をタッチする

- 画像編集メニューが表示されます。

2 をタッチする

3 またはをタッチするか、画面下のスライダーをタッチして、スリム効果を調節する

4 をタッチする

5 ［はい］をタッチする

- 編集した画像が作成されます。
- 中止するときは、［**いいえ**］をタッチします。
- スリム効果で作成した画像は、再生画面でが表示されます。

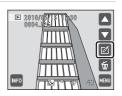
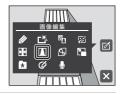
関連ページ

記録データのファイル名とフォルダー名→163

アオリ効果（遠近効果をつける）

横位置で撮影した画像の遠近感を強めたり、弱めたりします。アオリ効果で作成した画像は、元画像とは別に保存されます。

1 1コマ表示（75）で画像を選び、をタッチする

- 画像編集メニューが表示されます。

2 をタッチする

3 または をタッチするか、画面下のスライダーをタッチして、アオリの効果を調節する

4 をタッチする

5 ［はい］をタッチする

- 編集した画像が作成されます。
- 中止するときは、［**いいえ**］をタッチします。
- アオリ効果で作成した画像は、再生画面でが表示されます。

関連ページ

記録データのファイル名とフォルダー名→163

スモールピクチャー（小さいサイズの画像を作成する）

撮影した画像から、サイズの小さい画像を作成します。ホームページで使ったり、電子メールへ添付したりするのに便利です。サイズは［**640×480**］、［**320×240**］、または［**160×120**］から選べます。スモールピクチャーは、元の画像とは別の画像（圧縮率約1/16）として保存されます。

1 1コマ表示（□75）で画像を選び、をタッチする

- 画像編集メニューが表示されます。

2 をタッチする

3 作成したいスモールピクチャーのサイズのアイコンをタッチしてOKをタッチする

4 ［はい］をタッチする

- スモールピクチャーが作成されます。
- 中止するときは、［**いいえ**］をタッチします。
- スモールピクチャーで作成した画像は、グレーの枠で囲まれて表示されます。

関連ページ

記録データのファイル名とフォルダー名➡□163

画像の編集

ピクチャーカラー（画像の色調を変える）

撮影した画像の色調を変えます。ピクチャーカラーで作成した画像は、元画像とは別に保存されます。

種類	内容
ビビッドカラー	はっきりした色調になります。
白黒	白黒写真になります。
セピア	セピア色になります。
クール	ブルー系のモノトーンになります。

1 1コマ表示（75）で画像を選び、をタッチする

- 画像編集メニューが表示されます。

2 をタッチする

3 作成したいピクチャーカラーのアイコンをタッチしてをタッチする

4 ［はい］をタッチする

- ピクチャーカラーで色調を変えた画像が作成されます。
- 中止するときは、［**いいえ**］をタッチします。
- ピクチャーカラーで作成した画像は、再生画面でが表示されます。

関連ページ

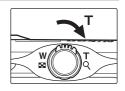
記録データのファイル名とフォルダー名→163

画像の編集

✂ トリミング（画像の一部を切り抜く）

拡大表示（□79）中に✂が表示されている画像は、液晶モニターに表示している部分だけにトリミング（切り抜き）できます。トリミングした画像は、元画像とは別に保存されます。

1 1コマ表示（□75）でズームレバーを**T**（Q）方向に回して、画像を拡大表示する

- 縦位置画像は、左右の黒い帯が見えなくなるまで画像を拡大するとトリミングできますが、トリミング画像は横位置になります。縦位置のトリミング画像を作るには、画像を回転して（□102）横位置にしてからトリミングし、再度トリミング画像を縦位置に戻します。

2 切り抜きたい部分だけが表示されるように調節する

- ズームレバーを**T**（Q）または**W**（⊞）方向に回して拡大率を調節します。
- 画像をドラッグして表示範囲を移動します。

3 ✂をタッチする

4 ［はい］をタッチする

- トリミングした画像が作成されます。
- 中止するときは、［**いいえ**］をタッチします。

画像サイズについて

切り抜く範囲が狭くなるほど、トリミングで作成した画像の画像サイズ（ピクセル数）は小さくなります。
トリミングして画像サイズが320×240または160×120になった画像は、再生時にグレーの枠で囲まれ、画面左側にスモールピクチャーの▣または▣のアイコンが表示されます。

関連ページ

記録データのファイル名とフォルダー名→□163

動画を撮影する

動画（音声付き）を撮影できます。

1 撮影時に ◘ボタンを押して撮影モードメニューを表示し、▶■をタッチする

- 記録可能な時間が液晶モニターに表示されます（□121）。1回の撮影で記録可能な時間は、SDカードの残量が多いときでもファイルサイズが2 GBまで、または最大29分までです。
- ［**動画設定**］（□121）が［**HD 720p**］（初期設定）のときに、内蔵メモリーへ記録する場合は、1回の撮影で記録可能な時間は3秒です。

2 シャッターボタンを全押しして、撮影を開始する

- ピントは画面中央にある被写体に合います。
- ［**動画設定**］（□121）が［**HD 720p**］（初期設定）のときは、右の画面の範囲（縦横比16：9）で記録します。
- 記録可能な残り時間の目安を液晶モニターで確認できます。
- 撮影を終了するには、もう一度シャッターボタンを全押しします。
- 画面をタッチしても動画の撮影開始/終了ができます。
- 記録可能な残り時間がなくなると、撮影が自動的に終了します。

動画撮影についてのご注意

- 動画をSDカードに記録するときは、SDスピードクラスがClass 6以上のSDカードをおすすめします（□162）。転送速度が遅いカードでは、動画の撮影が途中で終了することがあります。
- 動画の撮影を開始すると、光学ズームの倍率は変更できません。電子ズームは動画撮影の開始前は使えませんが、動画撮影中は2倍まで作動します。
- 電子ズームを使うと画質が劣化します。
- 動画の撮影時は、画角（写る範囲）が静止画に比べて狭くなります。
- ズームレバーなどの操作音やオートフォーカスの動作音が録音されることがあります。
- 動画の撮影では、液晶モニターにスミア（□159）が発生すると、記録される動画にもスミアの影響が残ります。スミアの影響を避けるため、太陽や太陽の照り返し、電灯などを画面内に入れずに撮影するようおすすめします。

動画の保存についてのご注意

撮影終了後、撮影画面に切り換わるまでは、動画の保存は終了していません。**バッテリー/SDカードカバーを開けないでください。**保存が終了する前にSDカードやバッテリーを取り出すと、動画が記録されないことや、撮影した動画やカメラ、SDカードが壊れることがあります。

オートフォーカスについてのご注意

動画メニューの［**AFモード**］が［**シングルAF**］（初期設定）の場合、シャッターボタンを押したときのピントに固定されます（□122）。

動画の撮影で使える機能

- 画面をタッチして撮影の開始/終了ができます（タッチシャッター）。□をタッチすると、タッチシャッターのON（初期設定）、OFFを切り換えられます。
- マクロモード（□45）を使えます。撮影を開始する前に設定してください。フラッシュ（□42）やセルフタイマー（□44）は使えません。
- MENUをタッチして□（動画）メニューを表示すると、［**動画設定**］、［**AFモード**］および［**電子式手ブレ補正**］を設定できます（□121）。

動画メニューを使う

動画メニューで［**動画設定**］（□121）、［**AF モード**］（□122）および［**電子式手ブレ補正**］（□122）を変更できます。
撮影モードを📹（動画）にしてから、MENUをタッチして（□14）動画メニューを表示し、項目をタッチして設定してください。

動画設定

📹（動画）に設定 ➔ MENU（動画メニュー）➔ 動画設定

撮影する動画の種類を選びます。

設定	解像度とフレーム数
720p HD 720p（**初期設定**）	縦横比16：9の動画を記録します。ワイドテレビで再生するのに適しています。 解像度：1280×720ピクセル 撮影フレーム数：30フレーム/秒
TV TV再生 640	解像度：640×480ピクセル 撮影フレーム数：30フレーム/秒
320 **カメラ再生** 320	解像度：320×240ピクセル 撮影フレーム数：30フレーム/秒

動画の記録可能時間

設定	内蔵メモリー（約45 MB）	SDカード（4 GB）※2
720p HD 720p（**初期設定**）	12秒※1	約23分10秒
TV TV再生 640	30秒	約46分
320 **カメラ再生** 320	1分49秒	約2時間45分

数値はおおよその目安です。同じ容量でもSDカードの種類によって記録可能時間は異なります。
※1 1回の撮影で記録可能な時間は3秒です。
※2 1回の撮影で記録可能な時間は、SDカードの残量が多いときでもファイルサイズが2 GBまで、または最大29分までです。撮影時の画面には、1回の撮影で記録可能な時間が表示されます。

関連ページ

記録データのファイル名とフォルダー名→□163

AFモード

🎥（動画）に設定 ➔ MENU（動画メニュー）➔ AFモード

動画撮影時のオートフォーカスの方法を選びます。

設定	内容
AF-S シングルAF（初期設定）	シャッターボタンを押したときのピントに固定します。
AF-F 常時AF	動画撮影中、ピント合わせを繰り返します。 撮影中にピントを合わせる動作音が録音されることがあります。動作音が気になるときは、［**シングルAF**］に設定して撮影することをおすすめします。

電子式手ブレ補正

🎥（動画）に設定 ➔ MENU（動画メニュー）➔ 電子式手ブレ補正

動画撮影時の電子式手ブレ補正を設定します。

［**動画設定**］（📖121）が、［**TV TV再生 640**］または［**320 カメラ再生 320**］のときに設定できます。

［**720p HD 720p**］（初期設定）のときは、手ブレ補正機能を使えません。［**電子式手ブレ補正**］は［**OFF**］に固定されます。

設定	内容
ON	動画撮影時に手ブレの影響を軽減します。
OFF（初期設定）	電子式手ブレ補正をしません。

電子式手ブレ補正の設定は、撮影時の画面で確認できます（📖11）。［**OFF**］のときは、何も表示されません。

動画を再生する

1コマ表示（□75）で動画設定（□121）のアイコンが表示されている画像が動画です。▶をタッチすると、再生できます。

再生中に音量アイコンをタッチすると、音量の設定アイコンが表示され、音量を調節できます。
画面右側には操作パネルが表示されます。操作パネルのアイコンをタッチすると、以下の操作ができます。
INFOをタッチすると、画面に表示される情報が切り換わります（□12）。

音量アイコン

動画再生中

<table>
<tr><th>機能</th><th>アイコン</th><th colspan="2">内容</th></tr>
<tr><td>巻き戻し</td><td></td><td colspan="2">タッチしている間、巻き戻します。</td></tr>
<tr><td>早送り</td><td></td><td colspan="2">タッチしている間、早送りします。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">一時停止</td><td rowspan="4"></td><td colspan="2">タッチすると、一時停止します。
一時停止中に画面右側の操作アイコンで、以下の操作ができます。</td></tr>
<tr><td></td><td>タッチすると、1コマ戻ります。触れ続けると、連続してコマ戻しします。</td></tr>
<tr><td></td><td>タッチすると、1コマ進みます。触れ続けると、連続してコマ送りします。</td></tr>
<tr><td></td><td>タッチすると、再生を再開します。</td></tr>
<tr><td>再生終了</td><td></td><td colspan="2">タッチすると、1コマ表示に戻ります。</td></tr>
</table>

動画を削除する

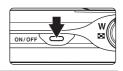
1コマ表示（□75）で動画を選んで🗑をタッチすると、削除確認画面が表示されます。
［**はい**］をタッチし、動画ファイルを削除します。削除をやめるときは、［**いいえ**］をタッチします。

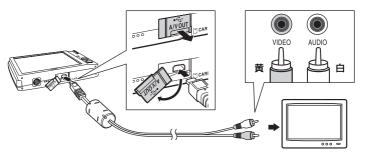
動画再生について

COOLPIX S4000以外で撮影した動画は再生できません。

テレビに接続する

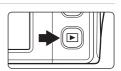
カメラを付属のオーディオビデオケーブル（AVケーブル）でテレビに接続すると、テレビ画面で、撮影した画像の1コマ表示、スライドショー、動画の再生ができます。

1 カメラの電源をOFFにする

2 カメラとテレビを接続する

- AVケーブルの黄色のプラグをテレビの映像入力端子に、白のプラグを音声入力端子に接続してください。

3 テレビの入力をビデオ入力（外部入力）に切り換える

- 詳しくはお使いのテレビの使用説明書をご覧ください。

4 カメラの▶ボタンを押し続けて電源をONにする

- カメラは再生モードになり、撮影した画像がテレビに表示されます。
- テレビに画像が表示されているときは、カメラの液晶モニターが消灯します。
- テレビ接続中の操作➞📖125

テレビ接続中の操作

テレビに1コマ表示されているときに、カメラの液晶モニターをドラッグすると、前後の画像を表示できます。
動画の最初のフレームが表示されたときは、カメラの液晶モニターにタッチすると動画を再生できます。

- カメラの液晶モニターにタッチすると、テレビの表示が消え、カメラの液晶モニター表示に切り換わります。カメラ表示中はアイコンをタッチしてカメラを操作できます。
- テレビに接続しているときは、サムネイル表示、拡大表示およびトリミングはできません。
- 以下の場合は、自動的にテレビ表示に切り換わります。
  - カメラを操作しない状態が数秒続いたとき
  - スライドショーを再生したとき
  - 動画を再生したとき

ケーブル接続時のご注意

ケーブルは、端子の挿入方向を確認して、無理な力を加えずにまっすぐに差し込んでください。端子を引き抜くときも、まっすぐに引き抜いてください。

画像がテレビに映らないときは

［**セットアップ**］メニュー（138）→［**ビデオ出力**］（151）がお使いのテレビに合っているか確認してください。

パソコンに接続する

付属のUSBケーブルでカメラをパソコンに接続すると、ソフトウェア「Nikon Transfer」を使って、撮影した画像をパソコンに転送して保存できます。

カメラとパソコンを接続する前に

ソフトウェアをインストールする

カメラとパソコンを接続する前に、付属のSoftware Suite CD-ROMを使って、パソコンに「Nikon Transfer」や転送した画像を表示する「ViewNX」、パノラマ写真を作成する「Panorama Maker」などのソフトウェアをインストールします。ソフトウェアのインストール方法は、簡単スタートガイドをご覧ください。

対応OS

Windows

- Windows 7 Home Premium/Professional/Enterprise/Ultimate
- Windows Vista Home Basic/Home Premium/Business/Enterprise/Ultimate（Service Pack 2）
- 32 bit版のWindows XP Home Edition/Professional（Service Pack 3）

Macintosh

Mac OS X（version 10.4.11、10.5.8、10.6）

対応OSに関する最新情報は、当社ホームページのサポート情報でご確認ください。

パソコンに接続するときのご注意

市販のUSB充電器など、他のUSB機器はパソコンから取り外してください。
USB機器によっては、同時に接続すると動作に不具合が発生することや、パソコンからの供給電力が過大になり、同時に接続したカメラ、SDカードなどが壊れるおそれがあります。お使いのUSB機器の説明書もご確認ください。

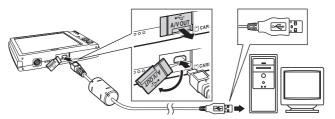
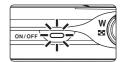
電源についてのご注意

- パソコンと接続して画像を転送するときは、途中で電源が切れないように、充分に残量のあるバッテリーをお使いください。
- カメラのセットアップメニューの［**パソコン接続充電**］が［**AUTO**］（初期設定）のときは、起動済みのパソコンにカメラを付属のUSBケーブルで接続すると、パソコンからの電力供給状態に応じて、カメラ内のバッテリーを自動的に充電できます（□131、152）。充電しながら画像を転送できます。
- 別売のACアダプター EH-62Dを使うと、家庭用コンセント（AC 100 V）から COOLPIX S4000へ電源を供給できます。EH-62D以外のACアダプターは絶対に使用しないでください。カメラの故障、発熱の原因となります。

カメラからパソコンに画像を転送する

1 Nikon Transferがインストール済みのパソコンを起動する

2 カメラの電源をOFFにする

3 付属のUSBケーブルで、カメラとパソコンを接続する

- カメラの電源が自動的にONになり、電源ランプが点灯します。カメラの液晶モニターは消灯したままになります。

ケーブル接続時のご注意

- ケーブルは、端子の挿入方向を確認して、無理な力を加えずにまっすぐに差し込んでください。端子を引き抜くときも、まっすぐに引き抜いてください。
- USBハブに接続した場合の動作は保証しておりません。

4 パソコンでNikon Transferを起動する

- **Windows 7 の場合：**
  ［**デバイスとプリンター ▶S4000**］画面が表示されたら、［**画像とビデオのインポート**］の下の［**プログラムの変更**］をクリックします。［**プログラムの変更**］ダイアログで［**コンピュータにあるフォルダに画像をコピーする**］を選び、［**OK**］をクリックします。
  ［**デバイスとプリンター ▶S4000**］画面で［**コンピュータにあるフォルダに画像をコピーする**］をダブルクリックします。
- **Windows Vista の場合：**
  ［**自動再生**］ダイアログが表示されたら、［**コンピュータにあるフォルダに画像をコピーする-Nikon Transfer 使用**］をクリックします。
- **Windows XP の場合：**
  起動するプログラム（ソフトウェア）を選ぶ画面が示されたら、［**Nikon Transfer コンピュータにあるフォルダに画像をコピーする**］を選び、［**OK**］をクリックします。
- **Mac OS Xの場合：**
  Nikon Transferのインストールで、［**自動起動の設定**］を［**はい**］にした場合は、カメラを接続するとNikon Transferが自動起動します。

- カメラ内のバッテリー残量が少ないときは、パソコンでカメラを認識できず、画像を転送できないことがあります。パソコンからの電力でカメラ内のバッテリー充電が始まったときは、バッテリー残量が増えるまでお待ちください。
- SDカード内に大量の画像があると、Nikon Transferの起動に時間がかかる場合があります。

5 オプションエリアの［転送元］パネル内に、接続したカメラ名のデバイスボタンが表示されていることを確認し、［転送開始］ボタンをクリックする

- 記録されているすべての画像がパソコンに転送されます（Nikon Transferの初期設定）。

• 転送が終わると、ViewNXが自動的に起動します（Nikon Transferの初期設定）。転送した画像を確認できます。

• Nikon TransferまたはViewNXの操作方法については、Nikon TransferまたはViewNXのヘルプをご覧ください（🕮130）。

カメラとパソコンの接続を外すときは

- 転送中は、電源をOFFにしたり、カメラとパソコンの接続を外したりしないでください。
- 接続を外すときは、カメラの電源をOFFにしてから、USBケーブルを外してください。
- USBケーブルを接続したまま、パソコンとの通信が無い状態が30分続くと、カメラの電源は自動的にOFFになります。

バッテリーの充電について

カメラの充電ランプが、緑色でゆっくり点滅しているときは、カメラ内のバッテリーを充電中です（🕮131）。

カードリーダーを使う

Nikon Transferは、パソコンのカードリーダーなどの機器に入れたSDカード内の画像も転送できます。

- 2 GB 以上のSDカードやSDHC規格のSDカードをお使いの場合は、カードリーダーなどの機器がそれらのSDカードに対応している必要があります。
- カードリーダーなどに SD カードを挿入し、手順 4（🕮128）以降を参照して、画像を転送してください。
- 内蔵メモリーのデータは、カメラでSDカードにコピーしてから（🕮100）転送してください。

Nikon TransferまたはViewNXを手動で起動するには

- Windows ：［**スタート**］から［**すべてのプログラム**］→［**Nikon Transfer**］→［**Nikon Transfer**］（または［**すべてのプログラム**］→［**ViewNX**］→［**ViewNX**］）の順にクリックします。デスクトップの［**Nikon Transfer**］または［**ViewNX**］のショートカットアイコンをダブルクリックしても起動できます。
- Mac OS X ：［**アプリケーション**］フォルダーを開き、［**Nikon Software**］→［**Nikon Transfer**］→［**Nikon Transfer**］（または［**Nikon Software**］→［**ViewNX**］→［**ViewNX**］）をダブルクリックします。Dock の［**Nikon Transfer**］または［**ViewNX**］アイコンをクリックしても起動できます。

Nikon TransferまたはViewNXの詳しい使い方（ヘルプ）を見るには

Nikon TransferまたはViewNXを起動して、メニューバーの［**ヘルプ**］→［**Nikon Transferヘルプ**］または［**ViewNXヘルプ**］を選ぶと、ヘルプ画面を表示して詳しい使い方を見ることができます。

パノラマ写真に合成するには（Panorama Maker）

- シーンモードの［**パノラマアシスト**］機能（📖70）を使って撮影した画像を、Panorama Makerを使ってパノラマ写真に合成できます。
- Panorama Makerは、付属のSoftware Suite CD-ROMでインストールできます。
- Panorama Makerをインストールしたら、次のように起動します。
  Windows：［**スタート**］から［**すべてのプログラム**］→［**ArcSoft Panorama Maker 5**］→［**Panorama Maker 5**］の順にクリックしてください。
  Macintosh：［**アプリケーション**］フォルダーを開き、［**Panorama Maker 5**］をダブルクリックしてください。
- Panorama Makerの使い方は、Panorama Makerの操作画面やヘルプをご覧ください。

関連ページ

記録データのファイル名とフォルダー名→📖163

パソコン接続時の充電について

カメラのセットアップメニューの［**パソコン接続充電**］（□152）が［**AUTO**］（初期設定）のときは、カメラを起動済みのパソコンに付属のUSBケーブルで接続すると、パソコンからの電力供給状態に応じて、カメラ内のバッテリーを自動的に充電できます。
カメラをパソコンに接続する方法は、「カメラとパソコンを接続する前に」（□126）、「カメラからパソコンに画像を転送する」（□127）をご覧ください。

充電ランプについて

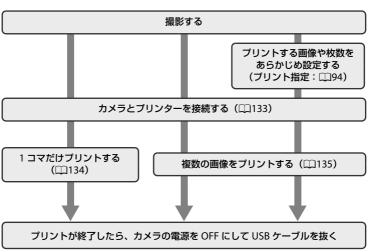
パソコンに接続しているときのカメラの充電ランプの状態と意味は以下のとおりです。

充電ランプ	意味
ゆっくり点滅（緑色）	充電中です。
消灯	充電していません。 電源ランプが点灯したまま、ゆっくりした点滅（緑色）から消灯に変わると、充電の完了です。
速い点滅（緑色）	• 使用可能な温度ではありません。周囲の温度が 5 ～ 35 ℃の室内で充電してください。 • USB ケーブルが正しく接続されていないか、バッテリーの異常です。正しく接続し直すか、バッテリーを交換してください。 • パソコンが休止状態（スリープ状態）で電力を供給していません。パソコンを復帰してください。 • パソコンの仕様または設定がカメラへの電力供給に対応していないため充電できません。

パソコンに接続して充電するときのご注意

- パソコンに接続しても、ご購入後にカメラの表示言語と日時（□22）を設定していないときは、充電やデータの転送はできません。また、時計用電池（□142）が切れて日時がリセットされたまま再設定していないときも、充電やデータの転送はできません。本体充電ACアダプター EH-68Pでバッテリーを充電し（□18）、カメラの日時を設定してください。
- カメラの電源をOFFにすると、バッテリーの充電も中止されます。
- 充電中にパソコンが休止状態（スリープ状態）になると、充電が中止され、カメラの電源がOFFになることがあります。
- カメラとパソコンの接続を外すときは、カメラの電源をOFFにしてから、USBケーブルを外してください。
- 本体充電ACアダプター EH-68P使用時に比べて、充電に時間がかかることがあります。また、画像を転送しながら充電すると、充電に時間がかかります。
- 充電だけをしたいときに、カメラをパソコンに接続して、パソコンでNikon Transferなどが起動した場合は、これらの画面を閉じてください。
- 充電が完了し、パソコンとの通信が無い状態が 30 分続くと、カメラの電源は自動的にOFFになります。
- パソコンの仕様、設定または状態によっては、カメラ内のバッテリーを充電できないことがあります。

プリンターに接続する

PictBridge（□177）対応プリンターをお使いの場合は、パソコンを使わずに、カメラとプリンターを直接つないでプリントできます（ダイレクトプリント）。ダイレクトプリントの手順は、次のとおりです。

電源についてのご注意

- プリンターと接続するときは、途中で電源が切れないように、充分に残量のあるバッテリーをお使いください。
- 別売のACアダプター EH-62Dを使うと、家庭用コンセント（AC 100 V）からCOOLPIX S4000へ電源を供給できます。EH-62D以外のACアダプターは絶対に使用しないでください。カメラの故障、発熱の原因となります。

ダイレクトプリント時のご注意

シーンモードの［**手書きメモ**］（□69）で作成した画像は、あらかじめ［**プリント指定**］（□94）を設定して、［**DPOFプリント**］（□137）でプリントしてください。

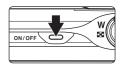
画像のプリント方法について

SDカードに記録した画像は、パソコンに転送したり、カメラをプリンターに接続してプリントする他に以下の方法でプリントできます。

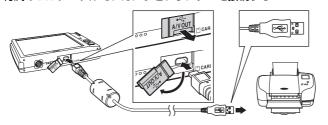
- カードスロットが付いたDPOF対応プリンターでプリントする。
- プリントサービス店にプリントを依頼する。

これらの方法でプリントするときは、プリントする画像やプリント枚数などを、再生メニューの［**プリント指定**］を使って、あらかじめSDカードに設定できます（□94）。

カメラとプリンターを接続する

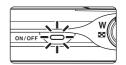
1 カメラの電源をOFFにする

2 プリンターの電源をONにする

- プリンターの設定を確認してください。

3 付属のUSBケーブルで、カメラとプリンターを接続する

4 カメラの電源が自動的にONになる

- 正しく接続されると、カメラの液晶モニターに［**PictBridge**］画面（①）が表示された後、［**プリント画像選択**］画面（②）が表示されます。

①

②

ケーブル接続時のご注意

ケーブルは、端子の挿入方向を確認して、無理な力を加えずにまっすぐに差し込んでください。端子を引き抜くときも、まっすぐに引き抜いてください。

PictBridge画面が表示されないときは

カメラの電源をいったんOFFにしてUSBケーブルを外してください。カメラのセットアップメニューの［**パソコン接続充電**］（□152）を［**OFF**］に設定してから、接続をやり直してください。

1コマだけプリントする

カメラとプリンターを正しく接続してから（133）、以下の手順でプリントしてください。

1 ◀または▶をタッチしてプリントする画像を選び、OKをタッチする

- スクロールバーをタッチしても、前後の画像を表示できます。
- ▦をタッチするか、ズームレバーを**W**（▦）方向に回すと6コマ表示に切り換わります。🔍をタッチするか、ズームレバーを**T**（🔍）方向に回すと1コマ表示に切り換わります。

2 ［**プリント枚数設定**］をタッチする

3 プリントしたい枚数（9枚まで）をタッチする

4 ［**用紙設定**］をタッチする

5 印刷したい用紙サイズをタッチする

- プリンターの設定を優先したいときは、[**プリンターの設定**]を選びます。

6 [**プリント実行**]をタッチする

7 プリントが始まる

- プリントが終わると、手順1の画面に戻ります。
- プリントを途中で中止したいときは、[**キャンセル**]をタッチします。

プリント中の枚数/総枚数

複数の画像をプリントする

カメラとプリンターを正しく接続してから（📖133）、以下の手順でプリントしてください。

1 [**プリント画像選択**]画面が表示されたら、MENUをタッチする

- [**プリントメニュー**]画面が表示されます。

2 [**用紙設定**]をタッチする

- プリントメニューを終了したいときは、☒をタッチします。

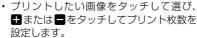
3 印刷したい用紙サイズをタッチする

- プリンターの設定を優先したいときは、［**プリンターの設定**］を選びます。

4 ［プリント選択］、［全画像プリント］または［DPOFプリント］をタッチする

プリント選択

プリントする画像（最大99コマまで）と、それぞれのプリント枚数（各9枚まで）を設定できます。

- プリントしたい画像をタッチして選び、＋または－をタッチしてプリント枚数を設定します。

- プリントされる画像には、チェックマークとプリント枚数が表示されます。枚数を 0 にすると、その画像の選択を解除できます。
- Q をタッチするか、ズームレバーを **T**（Q）方向に回すと 1 コマ表示に切り換わります。▦ をタッチするか、ズームレバーを **W**（▦）方向に回すと 6 コマ表示に切り換わります。
- 設定が終了したら OK をタッチします。
- 右の画面が表示されたら、［**プリント実行**］をタッチすると画像のプリントが始まります。↺ をタッチすると、プリントメニューに戻ります。

全画像プリント

SDカードまたは内蔵メモリー内のすべての画像を1枚ずつプリントできます。

- 右の画面が表示されたら、［**プリント実行**］をタッチすると画像のプリントが始まります。↺ をタッチすると、プリントメニューに戻ります。

DPOFプリント

［**プリント指定**］（□94）であらかじめ指定しておいた画像をプリントできます。

- 右の画面が表示されたら、［**プリント実行**］をタッチすると画像のプリントが始まります。↺ をタッチすると、プリントメニューに戻ります。

- ［**画像の確認**］をタッチすると、どの画像をプリント指定したか確認できます。OK をタッチすると、画像のプリントが始まります。

5 プリントが始まる

- プリントが終わると、手順2の画面に戻ります。
- プリントを途中で中止したいときは、［**キャンセル**］をタッチします。

プリント中の枚数/総枚数

用紙設定について

用紙設定画面では、［**プリンターの設定**］以外に、［**L サイズ**］、［**2L サイズ**］、［**はがき**］、［**100×150mm**］、［**4×6 in.**］、［**8×10 in.**］、［**Letter**］、［**A3 サイズ**］、［**A4 サイズ**］のうち、プリンターが対応している用紙サイズを表示します。

セットアップメニュー

セットアップメニューで以下の設定ができます。

オープニング画面 📖140

カメラの電源をONにしたときに、液晶モニターにオープニング画面を表示するかどうかを設定します。

日時設定 📖141

内蔵時計を合わせます。

モニター設定 📖144

撮影後の画像表示や画面の明るさを設定します。

デート写し込み 📖144

撮影日時を画像に写し込む設定ができます。

電子式手ブレ補正 📖145

静止画を撮影するときの電子式手ブレ補正を設定します。

モーション検知 📖146

静止画の撮影時に被写体ブレや手ブレを軽減する「モーション検知」機能を設定します。

AF補助光 📖147

AF補助光の点灯/非点灯を設定します。

電子ズーム 📖148

電子ズームの動作を設定します。

操作音 📖148

操作音について設定します。

オートパワーオフ 📖149

節電のために待機状態に入るまでの時間を設定します。

メモリーの初期化/カードの初期化（フォーマット） 📖150

内蔵メモリー/SDカードを初期化します。

言語/Language 📖151

画面に表示する言語を設定します。

ビデオ出力 📖151

テレビとの接続に必要な設定を行います。

パソコン接続充電 📖152

USBケーブルでパソコンに接続したときに、バッテリーを充電するかどうかを設定します。

目つぶり検出設定 📖152

顔認識撮影したときに、目つぶりを検出するかどうかを設定します。

設定クリアー	154

各種設定を初期設定に戻します。

バージョン情報	156

ファームウェアの情報を表示します。

セットアップメニューの表示方法

1 MENUをタッチしてメニュー画面を表示する

2 タブをタッチする

- セットアップメニューの項目が選べるようになります。
- セットアップメニューを終了するには、✕をタッチするか、他のタブをタッチします。

オープニング画面

MENUをタッチする ➔ Y（セットアップメニュー）（□139）➔ オープニング画面

カメラの電源をONにしたときに、液晶モニターにオープニング画面を表示するかどうかを設定します。

なし（初期設定）

オープニング画面を表示しないで、撮影または再生画面を表示します。

COOLPIX

オープニング画面を表示してから、撮影または再生画面を表示します。

撮影した画像

撮影した画像をオープニング画面として表示します。画像選択の画面が表示されたら画像を選び（□99）、OKをタッチして登録します。

- 登録した画像はカメラに記憶されるため、元画像を削除しても、オープニング画面に残ります。
- ［**画像モード**］（□48）を［**16:9 3968 × 2232**］にして撮影した画像、およびスモールピクチャー（□116）やトリミング（□118）で作成した画像サイズ 320 × 240 以下の画像は登録できません。

日時設定

MENU をタッチする ➔ Y（セットアップメニュー）（□139）➔ 日時設定

カメラに内蔵された時計を設定します。

日時

内蔵時計の日付と時刻を設定します。
表示される設定画面で、項目（年月日の並び順、時、分、年、月、日）をタッチして設定します。

- 項目の内容を合わせる：▲▼ をタッチする。
- 設定を完了する：OK をタッチする（□23）。

タイムゾーン

自宅（⌂）のタイムゾーン（地域）や夏時間（サマータイム）を設定します。また、訪問先（✈）のタイムゾーンを登録すると、自宅（⌂）との時差（□143）を自動的に計算し、撮影日時を現地時間で記録できます。海外旅行などに便利です。

時差のある地域で使うには

1 ［タイムゾーン］をタッチする

- ［**タイムゾーン**］画面が表示されます。

2 ［✈ 訪問先］をタッチする

- 訪問先の時計に切り換わります。

3 🌐をタッチする

- 地域の設定画面が表示されます。

4 ◀または▶をタッチして訪問先の地域（タイムゾーン）を選び、OKをタッチする

- 夏時間（サマータイム）が現在実施されている地域で使うときは、夏時間アイコンをタッチして夏時間の設定をオンにします。設定をオンにすると、画面上部に夏時間マークが表示され、時計が1時間進みます。オフにするときは、もう一度夏時間アイコンをタッチしてください。
- 訪問先の時計に設定しているときは、撮影時の画面に✈マークが表示されます。

時計用電池について

カメラの内蔵時計は、カメラに入れるバッテリーとは別の時計用電池で動いています。カメラにバッテリーを入れるかACアダプターを接続すると、時計用電池が約10時間で充電され、数日間、設定した日時を記憶できます。

🏠（自宅）の設定について

- 自宅のタイムゾーンに戻すには、手順2で［🏠 **自宅**］をタッチしてください。
- 自宅のタイムゾーンを変更するには、手順2で［🏠 **自宅**］をタッチして、［✈ **訪問先**］と同様の手順でタイムゾーンを変更してください。

夏時間の設定について

夏時間（サマータイム）が始まったときや終わったときは、手順4の地域設定画面で、夏時間のオンとオフを切り換えてください。

日付を画像に写し込むには

日時を設定した後に、セットアップメニューの［**デート写し込み**］（📖144）で設定します。［**デート写し込み**］を設定して撮影すると、撮影日時を画像に写し込んで記録できます。

タイムゾーンについて

時差とタイムゾーンの関係は以下の表をご覧ください。
この表にない時差は、正しい時刻を［**日時設定**］で合わせてください。

時差 +/–	タイムゾーン	時差 +/–	タイムゾーン
–20	Midway, Samoa（ミッドウェー、サモア）	–8	Madrid, Paris, Berlin（マドリード、パリ、ベルリン）
–19	Hawaii, Tahiti（ハワイ、タヒチ）	–7	Athens, Helsinki, Ankara（アテネ、ヘルシンキ、アンカラ）
–18	Alaska, Anchorage（アラスカ、アンカレッジ）	–6	Moscow, Nairobi, Riyadh, Kuwait, Manama（モスクワ、ナイロビ、リヤド、クウェート、マナマ）
–17	PST (PDT): Los Angeles, Seattle, Vancouver（ロサンゼルス、シアトル、バンクーバー）	–5	Abu Dhabi, Dubai（アブダビ、ドバイ）
–16	MST (MDT): Denver, Phoenix（デンバー、フェニックス）	–4	Islamabad, Karachi（イスラマバード、カラチ）
–15	CST (CDT): Chicago, Houston, Mexico City（シカゴ、ヒューストン、メキシコシティー）	–3.5	New Delhi（ニューデリー）
–14	EST (EDT): New York, Toronto, Lima（ニューヨーク、トロント、リマ）	–3	Colombo, Dhaka（コロンボ、ダッカ）
–13.5	Caracas（カラカス）	–2	Bangkok, Jakarta（バンコク、ジャカルタ）
–13	Manaus（マナウス）	–1	Beijing, Hong Kong, Singapore（北京、香港、シンガポール）
–12	Buenos Aires, Sao Paulo（ブエノスアイレス、サンパウロ）	±0	Tokyo, Seoul（東京、ソウル）
–11	Fernando de Noronha（フェルナンド・デ・ノローニャ）	+1	Sydney, Guam（シドニー、グアム）
–10	Azores（アゾレス）	+2	New Caledonia（ニューカレドニア）
–9	London, Casablanca（ロンドン、カサブランカ）	+3	Auckland, Fiji（オークランド、フィジー）

モニター設定

MENUをタッチする ➔ 🔧（セットアップメニュー）（□139）➔ モニター設定

以下の項目を設定します。

撮影後の画像表示

- ［**ON**］（初期設定）：撮影直後に、撮影した画像を表示してから撮影画面に戻ります。
- ［**OFF**］：撮影直後に、撮影した画像を表示しません。

画面の明るさ

画面の明るさを5段階で調節できます。初期設定は［**3**］です。

デート写し込み（日付の写し込み）

MENUをタッチする ➔ 🔧（セットアップメニュー）（□139）➔ デート写し込み

撮影時に日時を画像に写し込んで記録できます。日付の印字（□95）に対応していないプリンターでも日付入りの画像をプリントできます。

OFF（初期設定）

日付、時刻のどちらも写し込みません。

DATE　年・月・日

画像に日付を写し込みます。

DATE　年・月・日・時刻

画像に日付と時刻を写し込みます。

デート写し込みの設定は、撮影時の画面で確認できます（□11）。［**OFF**］のときは何も表示されません。

デート写し込みについてのご注意

- 一度写し込まれた日時を画像から消したり、撮影した後で日時を写し込むことはできません。
- 以下の場合は日付を写し込めません。
  - シーンモードの［**パノラマアシスト**］にしたとき
  - 動画のとき
- ［**画像モード**］（□48）が［**640×480**］の画像にデート写し込みを行うと、写し込んだ日付が読みづらいことがあります。画像モードは［**1024×768**］以上に設定してください。
- 年月日の並びは、［**日時設定**］（□22、141）での設定と同じになります。

「デート写し込み」と「プリント指定」について

日付や撮影情報の印刷が可能なDPOF対応のプリンターでプリントするときは、［**デート写し込み**］で日時を写し込んでいない画像でも、［**プリント指定**］（□94）で撮影日時や撮影情報をプリントするように設定できます。

電子式手ブレ補正

MENUをタッチする ➔ （セットアップメニュー）（□139）➔ 電子式手ブレ補正

静止画を撮影するときの電子式手ブレ補正を設定します。

AUTO

以下の条件がそろうと、静止画の撮影時に電子式手ブレ補正を行い、手ブレの影響を軽減します。

- フラッシュモードが［**発光禁止**］または［**スローシンクロ**］のとき
- シャッタースピードが低速のとき
- ［**連写**］の設定が［**単写**］のとき
- 被写体が暗いとき

OFF（初期設定）

電子式手ブレ補正を行いません。

［**AUTO**］に設定すると、撮影画面にが表示されたときに、撮影状況に応じてカメラが補正を行います（□11）。

電子式手ブレ補正のご注意

- スローシンクロを除き、フラッシュ使用時は電子式手ブレ補正は作動しません。赤目軽減スローシンクロ（□63、64）のときも作動しません。
- 露光時間が一定値よりも長時間の場合、電子式手ブレ補正は作動しません。
- ［**ISO感度設定**］（□54）を［**オート**］以外にすると作動しません。
- 以下のシーンモードのときは、電子式手ブレ補正は作動しません。
  - スポーツ（□63）
  - 夜景ポートレート（□63）
  - トワイライト（□65）
  - 夜景（□65）
  - ミュージアム（□66）
  - 打ち上げ花火（□67）
  - 逆光（□67）
- ベストフェイスモードの［**目つぶり軽減**］（□74）が［**ON**］のときは、電子式手ブレ補正は作動しません。
- 手ブレが大きい場合、電子式手ブレ補正の効果が低くなります。
- 撮影した画像が多少ざらつくことがあります。

動画の電子式手ブレ補正について

動画撮影時の手ブレ補正は、動画メニュー（□121）の［**電子式手ブレ補正**］（□122）で設定します。

モーション検知

MENUをタッチする → Y（セットアップメニュー）（□139）→ モーション検知

静止画の撮影時に被写体ブレや手ブレを軽減する「モーション検知」機能を設定します。

AUTO（初期設定）

カメラが被写体の動きや手ブレを検知すると、ブレを軽減するためにISO感度を上げてシャッタースピードを速くします。
ただし、以下の場合は、モーション検知は作動しません。

- タッチ撮影が［**ターゲット追尾**］のとき
- フラッシュが発光するとき
- （オート撮影）モードで、［**ISO 感度設定**］（□54）を［**感度制限オート**］に設定したとき、または ISO 感度を固定したとき
- ［**マルチ連写**］（□53）のとき
- 以下のシーンモードのとき：［**スポーツ**］（□63）、［**夜景ポートレート**］（□63）、［**トワイライト**］（□65）、［**打ち上げ花火**］（□67）、［**逆光**］（□67）
- 動画撮影のとき

OFF

モーション検知をしません。

モーション検知の設定は、撮影時の画面で確認できます（□11、27）。カメラがブレを検知してシャッタースピードを速くしたときは、モーション検知表示は緑色に変わります。［**OFF**］のときは、何も表示されません。

モーション検知のご注意

- モーション検知を設定しても、撮影状況によっては手ブレや被写体ブレを完全に軽減できないことがあります。
- 極端にブレているときや暗すぎるときは、モーション検知が作動しないことがあります。
- 撮影した画像が多少ざらつくことがあります。

AF補助光

MENUをタッチする ➔ Y（セットアップメニュー）（□139）➔ AF補助光

暗い場所などでオートフォーカスによるピント合わせを補助するAF補助光の点灯/非点灯を設定します。

AUTO（初期設定）

暗い場所などで自動的にAF補助光が点灯します。AF補助光が届く距離は、広角側で約1.9 m、望遠側で約1.1 mです。
ただし、［**AUTO**］に設定していても、AFエリアの位置やシーンモードによっては点灯しない場合があります。

OFF

AF補助光は点灯しません。暗い場所などでピントが合いにくくなることがあります。

電子ズーム

MENUをタッチする ➔ Y（セットアップメニュー）（□139）➔ 電子ズーム

電子ズームの動作を設定します。

ON（初期設定）

光学ズームが最も望遠側にある状態でズームレバーを**T**（Q）方向に回すと、電子ズーム（□29）が作動します。

OFF

電子ズームは作動しません（動画撮影時を除く）。

電子ズームについてのご注意

- 電子ズーム作動中はAFエリア（□55）が［**中央**］に固定されます。
- 以下の場合、電子ズームは使えません。
  - タッチ撮影が［**ターゲット追尾**］のとき
  - シーンモードが［**おまかせシーン**］、［**ポートレート**］または［**夜景ポートレート**］のとき
  - ベストフェイスモードのとき
  - ［**マルチ連写**］（□53）のとき
  - 動画撮影開始前（動画撮影中は2倍まで作動）

操作音

MENUをタッチする ➔ Y（セットアップメニュー）（□139）➔ 操作音

操作音について設定します。

設定音

設定音（電子音1回：設定完了時など）、合焦音（電子音2回：ピントが合ったとき）、警告音（電子音3回：禁止動作を行ったときなど）およびオープニング音の［**ON**］（初期設定）/［**OFF**］を設定します。

シャッター音

シャッターをきったときのシャッター音の［**ON**］（初期設定）/［**OFF**］を設定します。
ただし、連写、BSSなどで撮影するときや、動画撮影時は、［**ON**］に設定しても、シャッター音は鳴りません。

オートパワーオフ

MENUをタッチする ➔ 🔧（セットアップメニュー）（📖139）➔ オートパワーオフ

電源をONにしたまま何も操作しないで一定時間が過ぎると、カメラはバッテリーの消耗を抑えるために液晶モニターを消灯し、待機状態（📖21）に入ります。
待機状態になると、電源ランプが点滅します。何も操作しないでさらに約3分経過すると、電源がOFFになります。
このメニューでは、カメラの無操作時に待機状態に入るまでの時間を［**30秒**］、［**1分**］（初期設定）、［**5分**］、または［**30分**］から選べます。

待機状態の解除

以下のボタンを押すと、待機状態を解除できます。

・電源スイッチ　・シャッターボタン　・📷ボタン　・▶ボタン

オートパワーオフについてのご注意

以下の場合、待機状態に入るまでの時間は固定です。

- メニュー表示中：3分
- スライドショー再生中：最大30分
- ACアダプター EH-62D接続中：30分

メモリー /カードの初期化（フォーマット）

MENUをタッチする ➔ Y（セットアップメニュー）（□139）
➔ メモリーの初期化/ カードの初期化

内蔵メモリーまたはSDカードを初期化（フォーマット）します。

内蔵メモリーの初期化

内蔵メモリーを初期化するときは、SDカードを取り出してください。セットアップメニューの項目に［**メモリーの初期化**］が表示されます。

SDカードの初期化

SDカードをカメラに入れると、SDカードを初期化できます。セットアップメニューの項目に［**カードの初期化**］が表示されます。

初期化についてのご注意

- **内蔵メモリー/SDカードを初期化すると、内蔵メモリー/SDカード内のデータはすべて削除されます。**必要なデータは初期化する前にパソコンなどに転送してください。
- 内蔵メモリー /SDカードを初期化すると、お気に入りフォルダーのアイコン設定（□86）は初期設定（数字アイコン）に戻ります。
- 初期化中は、電源をOFFにしたり、バッテリー/SDカードカバーを開けたりしないでください。
- 他の機器で使ったSDカードをこのカメラで初めて使うときは、必ずこのカメラで初期化してからお使いください。

言語/Language

MENUをタッチする ➔ Y（セットアップメニュー）（□139）➔ 言語/Language

画面に表示する言語を、日本語（初期設定）または英語に設定します。

ビデオ出力

MENUをタッチする ➔ Y（セットアップメニュー）（□139）➔ ビデオ出力

テレビとの接続に必要な設定を行います。
ビデオの出力方式を［**NTSC**］と［**PAL**］から選べます。［**NTSC**］と［**PAL**］はいずれも、アナログカラーテレビ放送の規格です。日本ではNTSC方式が、欧州ではPAL方式が主流です。

パソコン接続充電

MENUをタッチする ➔ Y（セットアップメニュー）（□139）➔ パソコン接続充電

カメラをパソコンにUSBケーブルで接続したときに、カメラ内のバッテリーを充電するかどうかを設定します（□131）。

AUTO（初期設定）
カメラを起動済みのパソコンに接続したときに、パソコンからの電力供給状態に応じて、カメラ内のバッテリーを充電します。
OFF
カメラをパソコンに接続しても、カメラ内のバッテリーを充電しません。

カメラとプリンターを接続してプリントするときのご注意

- カメラをPictBridge対応プリンターに接続しても、バッテリーの充電はできません。
- プリンターによっては、［**パソコン接続充電**］を［**AUTO**］にするとプリントできない場合があります。プリンターに接続して電源がONになってもカメラにPictBridge画面が表示されないときは、カメラの電源をいったんOFFにしてUSBケーブルを外し、［**パソコン接続充電**］を［**OFF**］に設定してから、接続をやり直してください。

目つぶり検出設定

MENUをタッチする ➔ Y（セットアップメニュー）（□139）➔ 目つぶり検出設定

以下の撮影モードで顔認識撮影（□56）したときに、目つぶりを検出するかどうかを設定します。

- （オート撮影）モード（AFエリア選択が［**顔認識オート**］（□55）のとき）
- シーンモードの［**おまかせシーン**］（□60）、［**ポートレート**］（□62）または［**夜景ポートレート**］（□63）

ON
顔認識して撮影した直後に、被写体の人物が目を閉じて写っている可能性があるとカメラが検出したときは、液晶モニターに［**目つぶり確認**］画面を表示します。 目を閉じて写っている可能性のある人物の顔が黄色い枠で囲まれます。撮影した画像を見て、撮り直すかどうかを確認できます。 →「目つぶり確認画面の操作方法」（□153）
OFF（初期設定）
目つぶり検出をしません。

目つぶり確認画面の操作方法

［**目つぶり確認**］画面が表示されたときは、以下の操作ができます。
何も操作しないまま数秒経過すると、自動的に撮影画面に戻ります。

機能	アイコン/ボタン	内容
目つぶり検出した顔を拡大表示する	**T**（Q）	ズームレバーを **T**（Q）方向に回します。 複数の人物の目つぶりを検出した場合、拡大表示中に⊡または⊡をタッチすると、拡大表示する顔が切り換わります。
1コマ表示に戻る	**W**（⊞）	ズームレバーを **W**（⊞）方向に回します。
撮影した画像を削除する	🗑	🗑をタッチします。
撮影画面に戻る	OK	液晶モニターにタッチするか、OKまたは✕をタッチします。シャッターボタンを押しても撮影画面に戻ります。
	✕	

✔ 目つぶり検出設定についてのご注意

連写の設定が［**連写**］、［**BSS**］または［**マルチ連写**］のときは、目つぶり検出をしません。

設定クリアー

MENUをタッチする ➔ Y（セットアップメニュー）（□139）➔ 設定クリアー

［**はい**］を選ぶと、カメラの設定が初期設定にリセットされます。

撮影の基本機能

項目	初期設定
タッチ撮影（□34、37、40）	タッチシャッター
フラッシュモード（□42）	AUTO
セルフタイマー（□44）	OFF
マクロモード（□45）	OFF

撮影メニュー

項目	初期設定
画像モード（□48）	12M 4000×3000
ホワイトバランス（□50）	オート
露出補正（□52）	0.0
連写（□53）	単写
ISO感度設定（□54）	オート
AFエリア選択（□55）	顔認識オート
AFモード（□57）	シングルAF

シーンモード

項目	初期設定
撮影モードメニューのシーン設定（□59）	おまかせシーン
料理モードの色合い調整（□66）	中央

ベストフェイスメニュー

項目	初期設定
美肌効果（□74）	標準
笑顔自動シャッター（□74）	ON
目つぶり軽減（□74）	OFF

動画メニュー

項目	初期設定
動画設定（□121）	HD 720p
AFモード（□122）	シングルAF
電子式手ブレ補正（□122）	OFF

セットアップメニュー

項目	初期設定
オープニング画面（□140）	なし
撮影後の画像表示（□144）	ON
画面の明るさ（□144）	3
デート写し込み（□144）	OFF
電子式手ブレ補正（□145）	OFF
モーション検知（□146）	AUTO
AF補助光（□147）	AUTO
電子ズーム（□148）	ON
設定音（□148）	ON
シャッター音（□148）	ON
オートパワーオフ（□149）	1分
パソコン接続充電（□152）	AUTO
目つぶり検出設定（□152）	OFF

その他

項目	初期設定
用紙設定（□134、135）	プリンターの設定
スライドショーのインターバル設定（□97）	3秒

- ［**設定クリアー**］を行うと、ファイル番号の連番（□163）もクリアーされます。クリアー後に撮影した画像には、内蔵メモリー /SDカード内の最大ファイル番号の次の番号から連番が付けられます。ファイル番号の連番を「0001」に戻したいときは、内蔵メモリー /SDカード内の画像をすべて削除（□98）してから、［**設定クリアー**］を行ってください。
- 以下の項目は、［**設定クリアー**］を行っても初期設定には戻りません。
  撮影メニュー：
  ［**ホワイトバランス**］のプリセットマニュアルデータ（□51）
  セットアップメニュー：
  ［**オープニング画面**］として登録した画像（□140）、［**日時設定**］（□141）、［**言語/Language**］（□151）、［**ビデオ出力**］（□151）

バージョン情報

MENUをタッチする ➔ Y（セットアップメニュー）（□139）➔ バージョン情報

カメラのファームウェアのバージョン情報を表示します。

カメラのお手入れ方法

クリーニングについて

レンズ

レンズのガラス部分をクリーニングするときは、手で直接触らないように注意してください。ゴミやホコリはブロアーで吹き払ってください。ブロアーで落ちない指紋や油脂などの汚れは、乾いた柔らかい布などでガラス部分の中央から外側にゆっくりと円を描くように拭き取ってください。汚れが取れないときは、乾いた柔らかい布に市販のレンズクリーナーを少量湿らせて、軽く拭いてください。硬いもので拭くと傷が付くことがありますのでご注意ください。

液晶モニター

ゴミやホコリはブロアーで吹き払ってください。指紋や油脂などの汚れは、乾いた柔らかい布やセーム革などで軽く拭き取ってください。強く拭くと破損や故障の原因となることがありますのでご注意ください。

カメラボディー

ゴミやホコリをブロアーで吹き払い、乾いた柔らかい布などで軽く拭いてください。海辺などでカメラを使った後は、真水で湿らせてよく絞った柔らかい布で砂や塩分を軽く拭き取った後、よく乾かしてください。
ご注意：カメラ内部にゴミ、ホコリや砂などが入りこむと故障の原因となります。この場合、当社の保証の対象外となりますのでご注意ください。

アルコール、シンナーなど揮発性の薬品はお使いにならないでください。

保管について

長期間カメラをお使いにならないときは、バッテリーを取り出してください。バッテリーを取り出す前に、電源がOFFになっていることをご確認ください。以下の場所にカメラを保管しないようにご注意ください。

- 換気の悪い場所や湿度の高い場所
- テレビやラジオなど強い電磁波を出す装置の近辺
- 温度が50℃以上、または－10℃以下の場所
- 湿度が60%を超える場所

取り扱い上のご注意

カメラについて

● 強いショックを与えないでください

カメラを落としたり、ぶつけたりしないように注意してください。故障の原因になります。また、レンズやレンズバリアーに触れたり、無理な力を加えたりしないでください。

● 水に濡らさないでください

カメラは水に濡らさないように注意してください。カメラ内部に水滴が入ったりすると部品がサビついてしまい、修理費用が高額になるだけでなく、修理不能になることがあります。

● 急激な温度変化を与えないでください

極端に温度差のある場所（寒いところから急激に暖かいところや、その逆になるところ）にカメラを持ち込むと、カメラ内外に水滴が生じ、故障の原因となります。カメラをバックやビニール袋などに入れて、周囲の温度になじませてから使用してください。

● 強い電波や磁気を発生する場所で撮影しないでください

強い電波や磁気を発生するテレビ塔などの周囲および強い静電気の周囲では、記録データが消滅したり、カメラが正常に機能しないことがあります。

● 長時間、太陽に向けて撮影または放置しないでください

太陽などの高輝度被写体に向けて長時間直接撮影したり、放置したりしないでください。過度の光照射は撮像素子の褪色・焼き付きを起こすおそれがあります。また、その際撮影された画像には、真っ白くにじみが生ずることがあります。

● 保管する際には

カメラを長期間お使いにならないときは、必ずバッテリーを取り出してください。また、カビや故障を防ぎ、カメラを長期にわたってお使いいただけるように、月に一度を目安にバッテリーを入れ、カメラを操作することをおすすめします。

● バッテリーやACアダプターを取り外すときは必ず電源をOFFにしてください

電源がONの状態で、バッテリーやACアダプターを取り外すと、故障の原因となります。特に撮影動作中、または記録データの削除中に前記の操作は行わないでください。

● 液晶モニターについて

- 液晶モニターの特性上、一部に常時点灯あるいは常時点灯しない画素が存在することがありますが、故障ではありません。あらかじめご了承ください。記録される画像には影響はありません。
- 屋外では日差しの加減で液晶モニターが見えにくいことがあります。
- 液晶モニター表面を強くこすったり、強く押したりしないでください。液晶モニターの故障やトラブルの原因になります。ホコリやゴミなどが付着したときは、ブロアーブラシで吹き払ってください。汚れがひどいときは、柔らかい布やセーム革などで軽く拭き取ってください。万一、液晶モニターが破損した場合は、ガラスの破片などでケガをするおそれがありますので充分ご注意ください。また、中の液晶が皮膚や目に付着したり、口に入ったりしないよう、充分ご注意ください。

● スミアについて

明るい被写体にレンズを向けると、液晶モニターに白色または色のついた光の帯が現れることがあります。この現象は、撮像素子に強い光が入ったときに発生し、「スミア」といいます。撮像素子の特性による現象で故障ではありません。また、スミアの影響で液晶モニターに色ムラが現れることもあります。
マルチ連写と動画以外の撮影では、記録される画像にスミアの影響はありません。
マルチ連写と動画の撮影では、太陽や太陽の照り返し、電灯などを画面内に入れずに撮影するようおすすめします。

バッテリーについて

● 使用上のご注意

- 長時間お使いになったバッテリーは、発熱していることがあるのでご注意ください。
- 周囲の温度が 0 ～ 40 ℃の範囲を超える場所ではお使いにならないでください。バッテリーの性能劣化や故障の原因となります。
- 万一、異常に熱くなる、煙が出る、こげ臭いなどの異常や不具合が起きたときは、すぐに使用を中止して、ご購入店またはニコンサービス機関に修理を依頼してください。
- カメラやバッテリーチャージャーから取り外したときは、必ず付属のバッテリーケースに入れてください。

● 充電について

撮影の前に、充電してください。付属のバッテリーは、ご購入時にはフル充電されておりませんので、ご注意ください。

- 周囲の温度が 5～35 ℃ の室内で充電してください。
- COOLPIX S4000を本体充電ACアダプター EH-68Pまたはパソコンに接続して充電する場合、バッテリーの温度が0 ℃以下、45 ℃以上のときは、充電をしません。
- 充電が完了したバッテリーを、続けて再充電しないでください。バッテリー性能が劣化します。
- 充電直後にバッテリーの温度が上がることがありますが、性能その他に異常はありません。
- カメラの使用直後など、バッテリー内部の温度が高くなっているときは、バッテリーの温度が下がるのを待ってから充電してください。バッテリー内部の温度が高い状態では、充電ができなかったり、不完全な充電になるばかりでなく、バッテリーの性能が劣化する原因となります。

● 予備バッテリーを用意する

撮影の際は、予備バッテリーをご用意ください。特に、日本国外の地域によっては入手が困難な場合がありますので、ご注意ください。

● 低温時のバッテリーについて

バッテリーは一般的な特性として、低温時には性能が低下します。低温時にお使いになるときは、バッテリーおよびカメラを冷やさないようにしてください。

● 低温時には容量の充分なバッテリーを使い、予備のバッテリーを用意する

消耗したバッテリーを低温時に使うと、カメラが作動しないことがあります。低温時の撮影には充分に充電したバッテリーと予備のバッテリーを用意してください。予備のバッテリーは保温し、交互にあたためながらお使いください。低温のために一時的に性能が低下して使えなかったバッテリーでも、常温に戻ると使える場合があります。

● バッテリー接点について

バッテリーの接点が汚れると、接触不良でカメラが作動しなくなることがありますので、ご注意ください。汚れた接点は、乾いた布できれいに拭いてからお使いください。

● 残量について

残量のなくなったバッテリーをカメラに入れたまま、何度も電源スイッチのON/OFFを繰り返すと、バッテリーの寿命に影響をおよぼすおそれがあります。残量がなくなったバッテリーは、充電してからお使いください。

● 保管について

- バッテリーをお使いにならないときは、必ずカメラやバッテリーチャージャーから取り出してください。カメラやバッテリーチャージャーに取り付けたままにしておくと、電源が切れていても微小電流が流れ続けることで過放電になり、使えなくなるおそれがあります。
- バッテリーは、長期間使わないときでも必ず半年に1回は充電し、使い切った状態で保管してください。
- バッテリーは付属のバッテリーケースに入れて、涼しい場所で保管してください。周囲の温度が15～25℃くらいの乾燥したところをおすすめします。暑いところや極端に寒いところは避けてください。

● 寿命について

充分に充電したにもかかわらず、バッテリーの使用期間が極端に短くなってきたときは、バッテリーの寿命です。新しいバッテリーをお買い求めください。

● リサイクルについて

充電を繰り返して劣化し、使えなくなったバッテリーは、廃棄しないでリサイクルにご協力ください。接点部にテープなどを貼り付けて絶縁してから、ニコンサービス機関やリサイクル協力店へお持ちください。

Li-ion 00

数字の有無と数値は、電池によって異なります。

別売アクセサリー

充電式バッテリー	Li-ionリチャージャブルバッテリー EN-EL10
本体充電AC アダプター	本体充電ACアダプター EH-68P※1
充電器	バッテリーチャージャー MH-63※2
ACアダプター	ACアダプター EH-62D※2 ＜EH-62Dの取り付け方＞ 1 2 3 バッテリー/SDカードカバーを閉める前に、ACアダプターのコードがバッテリー室の溝に正しく入っていることを必ず確認してください。コードが溝からはみ出していると、カバーを閉めたときにカバーを破損するおそれがあります。
USBケーブル	USBケーブル UC-E6
オーディオビデオケーブル	オーディオビデオケーブル EG-CP14

※1 日本国外では、必要に応じて市販の変換プラグアダプターを装着してお使いください。変換プラグアダプターは、あらかじめ旅行代理店などでお確かめのうえ、お買い求めください。

※2 日本国内専用電源コード（AC 100 V対応）付属。日本国外でお使いになるには、別売の電源コードが必要です。別売の電源コードについては、ニコンサービス機関にお問い合わせください。
また、オンラインショップ（ニコンダイレクト）http://shop.nikon-image.com/ でもお求めいただけます。

推奨SDカード

以下のSDカードの動作を確認しています。

- 動画の撮影には、SDスピードクラス※1がClass 6以上のSDカードをおすすめします。転送速度が遅いカードでは、動画の撮影が途中で終了することがあります。

SanDisk	2 GB※2、4 GB※3、8 GB※3、16 GB※3、32 GB※3
TOSHIBA	2 GB※2、4 GB※3、8 GB※3、16 GB※3、32 GB※3
Panasonic	2 GB※2、4 GB※3、8 GB※3、12 GB※3、16 GB※3、32 GB※3
Lexar	2 GB※2、4 GB※3、8 GB※3

※1 SDメモリーカードまたはSDHCメモリーカードの読み出し/書き込み時の転送速度の規格です。

※2 カードリーダーなどをお使いの場合、お使いの機器が2 GBのSDカードに対応している必要があります。

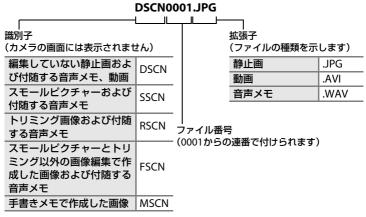
※3 SDHC規格に対応しています。カードリーダーなどをお使いの場合、お使いの機器がSDHC規格に対応している必要があります。

上記カードの機能、動作の詳細については、各カードメーカーにお問い合わせください。最新の動作確認済みSDカードについては、当社ホームページのサポート情報をご覧ください。

記録データのファイル名とフォルダー名

このカメラで撮影した静止画、動画、および音声メモには、以下のようにファイル名が付けられます。

識別子	
編集していない静止画および付随する音声メモ、動画	DSCN
スモールピクチャーおよび付随する音声メモ	SSCN
トリミング画像および付随する音声メモ	RSCN
スモールピクチャーとトリミング以外の画像編集で作成した画像および付随する音声メモ	FSCN
手書きメモで作成した画像	MSCN

拡張子	
静止画	.JPG
動画	.AVI
音声メモ	.WAV

- ファイルを保存するフォルダーは、「フォルダー番号＋ NIKON」（例：100 NIKON）という名前で、自動的に作られます。フォルダー内のファイル数が200に達すると、新しいフォルダーが作られます（例：100NIKON→101NIKON）。フォルダー内のファイル番号が9999に達したときも新しいフォルダーが作られ、ファイル番号は0001に戻ります。
- 音声メモのファイル名は、音声メモを録音した画像と同じ識別子とファイル番号になります。
- パノラマアシストモード（□70）では、撮影のたびに「フォルダー番号＋P_XXX」という名前のフォルダー（例：101P_001）が作られ、ファイル番号0001から始まる一連の画像が保存されます。
- 内蔵メモリーと SD カードの間で記録データをコピーする場合（□100）、ファイル名は以下のようになります。
  - 「選択画像コピー」：使用中のフォルダー（または次回の撮影で使われるフォルダー）に、データがコピーされます。コピーされたデータのファイル名は、「内蔵メモリーおよびSDカード内の最大ファイル番号＋1」から連番で付けられます。
  - 「全画像コピー」：データはフォルダーごとにコピーされます。フォルダー名は「コピー先の最大フォルダー番号＋1」から連番で付けられます。ファイル名は変わりません。
- フォルダー番号が 999 のときにファイル数が 200 個またはファイル番号が9999に達すると、それ以上撮影できません。SDカードを交換するか、内蔵メモリー /SDカードを初期化（□150）してください。

警告メッセージ

画面に表示される警告メッセージの意味は、以下のとおりです。

表示	意味	対処法	📖
(点滅)	カメラの時計が設定されていません。	日付と時刻を設定してください。	141
	バッテリー残量が少なくなりました。	バッテリーの充電や交換の準備をしてください。	16、18
電池残量がありません	バッテリーの残量がありません。	バッテリーを充電または交換してください。	16、18
電池が高温です	バッテリーの温度が高温になっています。	電源をOFFにして、バッテリーの温度が下がるまでしばらく放置してからご使用ください。このメッセージが出ると5秒後に液晶モニターが消灯し、電源ランプが高速点滅を開始します。ランプの点滅が3分続くと電源は自動的にOFFになりますが、電源スイッチを押してもOFFにできます。	21
AF● (赤色点滅)	ピントを合わせることができません。	• ピントを合わせ直してください。 • 同距離にある別の被写体でピントを合わせる方法をお試しください。	30、31 39
記録中 しばらくお待ちください	画像の記録中です。	記録が終了して警告表示が消灯するまでお待ちください。	–
カードがロックされています	SDカードの書き込み禁止スイッチが「Lock」されています。	「Lock」を解除してください。	25
このカードは使えません カードに異常があります	SDカードへのアクセス異常です。	• 動作確認済みのカードを使ってください。 • カードの端子部分が汚れていないか確認してください。 • カードが正しく挿入されているか確認してください。	162 24 24

表示	意味	対処法	📖
ⓘ このカードは初期化されていません。 初期化しますか？ はい いいえ	SDカードが、このカメラ用に初期化されていません。	初期化するとカード内のデータはすべて削除されるため、カード内に必要なデータが残っているときは、［**いいえ**］をタッチし、初期化する前にパソコンなどに保存してください。［**はい**］をタッチすると、SDカードを初期化できます。	25
ⓘ メモリー残量がありません	データを記録する空き容量がありません。	• 画像モードを変更してください。 • 不要な画像を削除してください。 • SD カードを交換してください。 • SDカードをカメラから取り出し、内蔵メモリーを使ってください。	48 33、98、123 24 24
ⓘ 画像を保存できません	画像記録中にエラーが発生しました。	内蔵メモリー /SD カードを初期化してください。	150
	これ以上記録できないファイル番号に達しました。	SD カードを交換するか、内蔵メモリー /SD カードを初期化してください。	163
	オープニング画面に登録できない画像です。	以下の画像は登録できません。 • ［**画像モード**］を［**3968×2232**］にして撮影した画像 • スモールピクチャーやトリミングで作成した画像サイズが320×240 以下の画像	140
	画像コピー先の容量不足です。	コピー先の不要な画像を削除してください。	98
ⓘ これ以上、お気に入り登録できません	お気に入りフォルダーの登録画像数が200 コマを超えました。	• 画像のお気に入り登録を解除してください。 • 別のお気に入りフォルダーに登録してください。	84 81
ⓘ 目つぶり検出した画像を記録しました	記録した画像に目を閉じた人がいるかもしれません。	画像を再生して確認してください。	74、75
ⓘ この画像は編集できません	編集できない画像を編集しようとしました。	• 編集可能な条件を確認してください。 • 動画は編集できません。	105 –
ⓘ 動画記録できません	SD カードに動画を記録するのに時間がかかっています。	画像記録処理の速いSDカードに交換してください。	24

表示	意味	対処法	📖
撮影画像がありません	撮影済みの画像がありません。	• 内蔵メモリーに記録した画像を再生するときは、SD カードをカメラから取り出してください。 • 内蔵メモリーから SD カードにコピーする場合は、MENU をタッチすると画像コピー画面が表示され、内蔵メモリー内の画像を SD カードにコピーできます。	24 100
	選んだお気に入りフォルダーに画像が登録されていません。	• 画像をお気に入りフォルダーに登録してください。 • 画像の登録されたお気に入りフォルダーを選んでください。	81 83
	オート分類再生モードで選んだ項目に、分類された画像がありません。	画像の分類された項目を選んでください。	89
このファイルは表示できません このデータは再生できません	このカメラ以外で作成されたファイルです。	このカメラでは再生できません。ファイルを作成または編集したパソコンなどで再生してください。	–
表示できる画像がありません	スライドショーで表示できる画像がありません。	–	97
このファイルは削除できません	画像にプロテクトがかかっています。	プロテクトを解除してください。	100
自宅と訪問先が同じタイムゾーンです	自宅と訪問先を同じタイムゾーンに設定しました。	–	143
レンズエラー	レンズの作動不良です。	電源を入れ直してください。エラー表示が続くときは、ニコンサービス機関までご連絡ください。	26
通信エラー	プリンターとの通信中に、USB ケーブルが外れました。	カメラの電源を OFF にして、USB ケーブルの接続をやり直してください。	133

表示	意味	対処法	📖
システムエラー ❶	カメラの内部回路にエラーが発生しました。	電源をOFFにしてバッテリーを入れ直し、もう一度電源をONにしてください。エラー表示が続くときは、ニコンサービス機関までご連絡ください。	17、21
プリンターエラー：プリンターを確認してください	プリンターに異常があります。	プリンターを確認し、エラーの原因を取り除いた後、［**継続**］をタッチして、プリントを再開してください。※	–
プリンターエラー：用紙を確認してください	指定したサイズの用紙がセットされていません。	指定したサイズの用紙をセットした後、［**継続**］をタッチして、プリントを再開してください。※	–
プリンターエラー：紙詰まりです	用紙が詰まりました。	詰まった用紙を取り除いた後、［**継続**］をタッチして、プリントを再開してください。※	–
プリンターエラー：用紙がありません	用紙がセットされていません。	指定したサイズの用紙をセットした後、［**継続**］をタッチして、プリントを再開してください。※	–
プリンターエラー：インクを確認してください	インクに異常があります。	インクを確認した後、［**継続**］をタッチして、プリントを再開してください。※	–
プリンターエラー：インクがありません	インクがなくなりました。	インクを交換した後、［**継続**］をタッチして、プリントを再開してください。※	–
プリンターエラー：ファイルが異常です	プリントする画像ファイルに異常があります。	［**キャンセル**］をタッチして、プリントを中止してください。	–

※ プリンターの使用説明書もあわせてご覧ください。

故障かな？と思ったら

カメラの動作がおかしいとお感じになったときは、ご購入店やニコンサービス機関にお問い合わせいただく前に、以下の項目をご確認ください。

表示・設定・電源関連

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
液晶モニターに何も映らない	• 電源が入っていません。 • バッテリー残量がありません。 • 節電機能により待機状態になっています。電源スイッチ、シャッターボタン、📷ボタン、または▶ボタンを押してください。 • フラッシュランプが点滅しているときは、フラッシュの充電中です。充電が完了するまでお待ちください。 • カメラとパソコンがUSBケーブルで接続されています。 • カメラとテレビがオーディオビデオケーブルで接続されています。 • 本体充電ACアダプターでコンセントに接続しているときは、電源はONにできません。	21 26 21、149 43 127 124 18
液晶モニターがよく見えない	• 液晶モニターの明るさを調整してください。 • 液晶モニターが汚れています。	144 157
カメラの電源が突然切れる	• バッテリー残量がありません。 • 無操作状態が続いたため、オートパワーオフ機能が働きました。 • 低温下ではカメラやバッテリーが正常に動作しないことがあります。 • カメラの電源をONにしたまま、本体充電ACアダプターを接続すると電源がOFFになります。 • パソコンまたはプリンターとの接続中にUSBケーブルが外れると電源がOFFになります。USBケーブルの接続をやり直してください。	26 149 159 18 127、129、133
撮影日時が正しく表示されない	• 日時を設定していない（撮影時に日時未設定マークが点滅している）場合は、静止画の撮影日時が「0000/00/00 00:00」、動画の撮影日時が「2010/01/01 00:00」と記録されます。セットアップメニュー［**日時設定**］で日時を正しく設定してください。 • 内蔵時計は腕時計などの一般的な時計ほど精度は高くありません。定期的に日時設定を行うことをおすすめします。	22、141 141
撮影情報や画像情報が表示されない	INFOをタッチして、画面に表示される情報を切り換えてください。	10、12

付録、索引

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
［**デート写し込み**］が選べない	セットアップメニュー［**日時設定**］が設定されていません。	22、141
［**デート写し込み**］を有効にしたのに、日付が写し込まれない	日付を写し込めない撮影モードになっています。	145
設定内容が初期状態に戻ってしまった	時計用電池が切れたため、設定がリセットされました。	142
液晶モニターが消灯し、電源ランプが同時に高速点滅する	バッテリーの温度が高温になっています。電源をOFFにして、バッテリーの温度が下がるまでしばらく放置してからご使用ください。ランプの点滅が3分続くと電源は自動的にOFFになりますが、電源スイッチを押してもOFFにできます。	21
パソコンでカメラ内のバッテリーを充電できない	• カメラの電源を OFF にすると、バッテリーの充電も中止されます。 • 充電中にパソコンが休止状態（スリープ状態）になると、充電が中止され、カメラの電源が OFF になることがあります。 • パソコンの仕様、設定または状態によっては、カメラ内のバッテリーを充電できないことがあります。	131

●デジタルカメラの特性について

きわめてまれに、液晶モニターに異常な表示が点灯したまま、カメラが作動しなくなることがあります。原因として、外部から強力な静電気が電子回路に侵入したことが考えられます。このような場合は、電源をOFFにしてバッテリーを入れ直し、もう一度電源をONにしてみてください。これによってカメラが作動しなくなったときのデータは失われるおそれがありますが、すでに内蔵メモリーまたはSDカードに記録されているデータは失われません。この操作を行ってもカメラに不具合が続くときは、ニコンサービス機関にお問い合わせください。

撮影関連

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
撮影できない	• 再生モードになっているときは、📷 ボタンまたはシャッターボタンを押してください。 • メニューが表示されているときは、☒ をタッチしてください。 • バッテリー残量がありません。 • フラッシュランプが点滅しているときは、フラッシュの充電中です。	6、32 14 26 43
ピントが合わない	• オートフォーカスが苦手な被写体を撮影しています。 • セットアップメニュー［**AF 補助光**］を［**AUTO**］にしてください。 • 電源を入れ直してください。	31 147 21
画像がぶれる	• フラッシュを使ってください。 • ISO 感度を上げて撮影してください。 • 電子式手ブレ補正機能やモーション検知機能を使ってください。 • BSS（ベストショットセレクター）を使ってください。 • 三脚などでカメラを安定させてください（セルフタイマーを併用すると、より効果的です）。	42 54 145、146 53 44
液晶モニターに光の帯や色ムラが発生する	明るい被写体にレンズを向けるとスミアが発生することがあります。マルチ連写と動画の撮影では、太陽や太陽の照り返し、電灯などを画面内に入れずに撮影するようおすすめします。	159
フラッシュ撮影時に、画像に白い点が写り込む	フラッシュの光が空気中のほこりなどに反射して写り込んでいます。フラッシュモードを🅦（発光禁止）にしてください。	43
フラッシュが発光しない	• フラッシュモードが🅦（発光禁止）になっています。 • フラッシュが発光しないシーンモードになっています。 • ベストフェイスメニュー［**目つぶり軽減**］が［**ON**］になっています。 • 撮影モードが動画になっています。 • フラッシュが制限される他の機能が設定されています。	42 59～67 74 119 58
光学ズームが使えない	動画撮影中は使えません。	119

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
電子ズームが使えない	• セットアップメニュー［**電子ズーム**］が［**OFF**］になっています。 • 以下の場合、電子ズームは使えません。 - タッチ撮影が［**ターゲット追尾**］のとき - シーンモードが［**おまかせシーン**］、［**ポートレート**］または［**夜景ポートレート**］のとき - ベストフェイスモードのとき - 撮影メニュー［**連写**］が［**マルチ連写**］のとき - 動画の撮影開始前（動画撮影中は 2 倍まで作動）	148 40 60、62、63 72 53 119
［**画像モード**］が選べない	［**画像モード**］が制限される他の機能が設定されています。	58
シャッター音が鳴らない	• セットアップメニュー［**操作音**］の［**シャッター音**］が［**OFF**］になっています。［**ON**］にしていても、撮影モードや設定によってはシャッター音が鳴りません。 • スピーカーをふさがないでください。	148 5、28
AF 補助光が点灯しない	セットアップメニュー［**AF補助光**］が［**OFF**］になっています。［**AUTO**］に設定していても、AFエリアの位置やシーンモードによっては点灯しない場合があります。	62～68、147
画像が鮮明でない	レンズが汚れています。	157
画像の色合いが不自然になる	適切なホワイトバランスが選ばれていません。	50
画像がざらつく	被写体が暗いため、シャッタースピードが遅くなっているか、ISO感度が高くなっています。 • フラッシュを使ってください。 • 低い ISO 感度にしてください。	 42 54
画像が暗すぎる	• フラッシュモードが ⊘（発光禁止）になっています。 • フラッシュが指などでさえぎられています。 • 被写体にフラッシュの光が届いていません。 • 露出を補正してください。 • ISO 感度を上げてください。 • 逆光で撮影しています。シーンモードの［**逆光**］にするか、フラッシュモードを ⚡（強制発光）にしてください。	42 28 42 52 54 42、67
画像が明るすぎる	露出を補正してください。	52
赤目以外の部分が補正された	⚡◉（赤目軽減自動発光）や、シーンモードの［**夜景ポートレート**］の赤目軽減スローシンクロ強制発光でフラッシュ撮影すると、ごくまれに赤目以外の部分が補正されることがあります。［**夜景ポートレート**］以外の撮影モードで、フラッシュモードを ⚡◉（赤目軽減自動発光）以外にして撮影してください。	42、63

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
美肌の効果が得られない	• 撮影条件によっては、美肌効果が適切に得られないことがあります。 • 4 人以上の顔を撮影した画像は、画像編集の（美肌）をお試しください。	73 112
画像の記録に時間がかかる	以下の場合、画像の記録に時間がかかることがあります。 • ノイズ低減機能が作動したとき • フラッシュを（赤目軽減自動発光）にして撮影したとき • 美肌機能で撮影したとき	43 43 62、63、74

再生関連

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
再生できない	• パソコンか他社製のカメラによって画像が上書きされたか、ファイル名やフォルダー名が変更されました。 • COOLPIX S4000 以外で撮影した動画は再生できません。	– 123
画像の拡大表示ができない	動画やスモールピクチャー、320×240以下にトリミングされた画像は拡大表示できません。	–
音声メモの録音や再生ができない	• 動画には音声メモを付けられません。 • このカメラ以外で撮影した画像には、このカメラで音声メモを付けられません。また、このカメラ以外で画像に音声メモを付けると、このカメラで再生できません。	123 104
画像編集ができない	• 動画は編集できません。 • ［**画像モード**］を［**3968 × 2232**］にして撮影した画像は、編集できません。 • 画像編集が可能な条件を確認してください。 • このカメラ以外で撮影した画像は編集できません。	123 48 105 105
画像がテレビに映らない	• セットアップメニュー［**ビデオ出力**］が正しく設定されていません。 • 画像が記録されていない SD カードが入っています。SD カードを交換してください。内蔵メモリーの画像を再生するときは SD カードを取り出してください。 • カメラの液晶モニター表示に切り換わっています。	151 24 125

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
お気に入りフォルダーのアイコン設定が初期設定に戻っていたり、お気に入り登録した画像がお気に入り再生で表示できない	SDカード内のデータがパソコンで書き換えられると、再生できないことがあります	—
撮影した画像がオート分類再生モードで再生できない	• 表示したい画像が、参照している項目とは別の項目に分類されています。 • このカメラ以外で撮影した画像または［**画像コピー**］でコピーした画像は、オート分類再生モードで表示できません。 • 内蔵メモリー/SDカード内の画像がパソコンで書き換えられると、表示できないことがあります。 • 1つの分類項目で表示できるのは、999コマまでです。すでに999コマ登録されている場合は、それ以降に撮影した画像は登録されません。	88 89 — 89
カメラをパソコンに接続しても、Nikon Transferが自動起動しない	• カメラの電源がOFFになっています。 • バッテリー残量がありません。 • USBケーブルが正しく接続されていません。 • パソコンにカメラが正しく認識されていません。 • 対応OSを確認してください。 • Nikon Transferが自動起動しない設定になっています。Nikon Transferについては、Nikon Transferのヘルプをご覧ください。	21 26 127 — 126 130
カメラをプリンターに接続しても、PictBridge起動画面が表示されない	PictBridge対応プリンターの種類によっては、［**パソコン接続充電**］を［**AUTO**］に設定していると、PictBridge起動画面が表示されず、プリントできない場合があります。［**パソコン接続充電**］を［**OFF**］にしてプリンターに接続し直してください。	152
プリントする画像が表示されない	• 画像が記録されていないSDカードが入っています。SDカードを交換してください。 • 内蔵メモリーの画像をプリントするときはSDカードを取り出してください。 • シーンモードの［**手書きメモ**］で作成した画像は、あらかじめ［**プリント指定**］を設定して、［**DPOFプリント**］でプリントしてください。	24 24 69、94、137
カメラ側で用紙設定ができない	PictBridge対応プリンターでも、以下の場合はカメラで「用紙設定」を行うことができません。プリンター側で用紙サイズを設定してください。 • カメラ側で設定した用紙サイズにプリンターが対応していません。 • 自動的に用紙サイズを認識するプリンターを使っています。	134、135 —

主な仕様

ニコン デジタルカメラCOOLPIX S4000

項目		仕様
型式		コンパクトデジタルカメラ
有効画素数		12.0メガピクセル
撮像素子		1/2.3型原色CCD、総画素数12.39メガピクセル
レンズ		光学4倍 ズーム、NIKKORレンズ
	焦点距離	4.9-19.6mm（35mm判換算27-108mm相当の撮影画角）
	開放F値	f/3.2-5.9
	レンズ構成	5群6枚
電子ズーム		最大4倍（35mm判換算で約432mm相当の撮影画角）
手ブレ補正		電子式
オートフォーカス		コントラスト検出方式
	撮影距離	• レンズ前約 50 cm ～∞ • マクロモード時は約 8 cm（広角側）～∞
	AFエリア	顔認識オート、オート（9点）、中央、マニュアル（タッチパネルでAFエリアを選択可能）
液晶モニター		3型TFT液晶（タッチパネル）、反射防止コート付き、約46万ドット 輝度調節機能付き（5段階）
	視野率（撮影時）	上下左右とも約97 %（対実画面）
	視野率（再生時）	上下左右とも約100 %（対実画面）
記録方式		
	記録媒体	内蔵メモリー（約45 MB）、SDメモリーカード
	画像ファイル	DCF、Exif 2.2、DPOF準拠
	ファイル形式	静止画：JPEG 音声メモ：WAV 動画：AVI（Motion-JPEG準拠）
画像モード（記録画素数）		• 12M（高画質）［4000 × 3000 ★］ • 12M［4000 × 3000］ • 8M［3264 × 2448］ • 5M［2592 × 1944］ • 3M［2048 × 1536］ • PC［1024 × 768］ • VGA［640 × 480］ • 16：9［3968 × 2232］
ISO感度（標準出力感度）		• ISO 80、100、200、400、800、1600、3200 • オート（ISO 80 ～ 1600） • 感度制限オート（ISO 80 ～ 400、80 ～ 800）

項目		仕様
露出		
	測光方式	マルチパターン測光（256分割）、中央部重点測光（電子ズームが2倍までのとき）、スポット測光（電子ズームが2倍以上のとき）
	露出制御	プログラムオート、モーション検知機能付き、露出補正（±2段の範囲で1/3段刻み）可能
	露出連動範囲（オート撮影モード時）	広角側：－0.6～＋17.2 EV 望遠側：1.2～19 EV （ISO感度オート時の連動範囲を、ISO 100のEV値にて換算）
シャッター		メカニカルシャッターとCCD電子シャッターの併用
	シャッタースピード	1/2000～1 秒 4 秒（シーンモードの［**打ち上げ花火**］）
絞り		電磁駆動によるNDフィルター（－2.6 AV）選択方式
	制御段数	2（f/3.2、f/8［広角側］）
セルフタイマー		約10秒、約2秒
内蔵フラッシュ		
	調光範囲（ISO感度設定オート時）	約0.5～4.5 m（広角側） 約0.5～2.4 m（望遠側）
	調光方式	モニター発光によるTTL自動調光
インターフェース		Hi-Speed USB
	通信プロトコル	MTP、PTP
ビデオ出力		NTSC、PALから選択可能
入出力端子		オーディオビデオ出力/デジタル端子（USB）
言語		日本語、英語の2言語
電源		Li-ionリチャージャブルバッテリー EN-EL10（リチウムイオン充電池：付属）×1個 ACアダプター EH-62D（別売）
充電時間		約2時間10分（本体充電ACアダプター EH-68P使用時、残量のない状態からの充電時間）
撮影可能コマ数（電池寿命）※		約190コマ（EN-EL10使用時）
寸法（幅×高さ×奥行き）		約94.5×56.5×20.4 mm（突起部除く）
質量		約131 g（バッテリー、SDメモリーカード含む）

動作環境	
使用温度	0～40 ℃
使用湿度	85 %以下（結露しないこと）

- 仕様中のデータは、すべて常温（25 ℃）、リチャージャブルバッテリー EN-EL10をフル充電で使用時のものです。

※ 電池寿命測定方法を定めたCIPA（カメラ映像機器工業会）規格によるものです。測定条件は、23(±2) ℃、撮影ごとにズーム、2回に1回の割合でのフラッシュ撮影、画像モード［12M **4000×3000**］です。撮影間隔、メニュー表示時間、画像表示時間などにより、コマ数は変動することがあります。

Li-ion リチャージャブルバッテリー EN-EL10

形式	リチウムイオン充電池
定格容量	DC 3.7 V、740 mAh
使用温度	0～40 ℃
寸法（幅×高さ×奥行き）	約31.5×39.5×6 mm（突起部除く）
質量	約15 g（バッテリーケースを除く）

本体充電ACアダプター EH-68P

電源	AC 100～240 V、50/60 Hz、0.065～0.04 A
定格入力容量	6.5～9.6 VA
定格出力	DC 5.0 V、0.5 A
使用温度	0～40 ℃
寸法（幅×高さ×奥行き）	約55×22×65 mm
質量	約60 g

使用説明書について

- 使用説明書の誤りなどについての補償はご容赦ください。
- 製品の外観、仕様、性能は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

このカメラの準拠規格

- Design rule for Camera File system (DCF)：各社のデジタルカメラで記録された画像ファイルを相互に利用し合うための記録方式です。
- DPOF (Digital Print Order Format)：デジタルカメラで撮影した画像をプリントショップや家庭用プリンターで自動プリントするための記録フォーマットです。
- Exif (Exchangeable image file format) Version 2.2：デジタルカメラとプリンターの連携を強化し、高品質なプリント出力を簡単に得ることを目指した規格です。
  この規格に対応したプリンターをお使いになると、撮影時のカメラ情報を活かして最適なプリント出力を得ることができます。
  詳しくはプリンターの使用説明書をご覧ください。
- PictBridge：デジタルカメラとプリンターのメーカー各社が相互接続を保証するもので、デジタルカメラの画像をパソコンを介さずプリンターで直接プリントするための標準規格です。

索引

マーク・英数字

ア

カ

サ

タ

ナ

ハ

マ

ヤ

ラ

アフターサービスについて

■この製品の操作方法や修理についてのお問い合わせは

この製品の操作方法や修理について、ご質問がございましたら、ニコンカスタマーサポートセンターまでお問い合わせください。

- ニコンカスタマーサポートセンターにつきましては、使用説明書裏面をご覧ください。

●お願い

- お問い合わせいただく場合には、次ページの「お問い合わせ承り書」の内容をご確認の上お問い合わせください。
- より正確、迅速にお答えするために、ご面倒でも次ページの「お問い合わせ承り書」の所定の項目にご記入いただき、FAXまたは郵送でお送りください。「お問い合わせ承り書」は、コピーしていただくと、繰り返しお使いいただけます。

■修理を依頼される場合は

ご購入店、またはニコンサービス機関にご依頼ください。

- ニコンサービス機関につきましては、「ニコン サービス機関のご案内」をご覧ください。
- ご転居、ご贈答品などでご購入店に修理を依頼することができない場合は最寄りの販売店、またはニコンサービス機関にご相談ください。
- 修理に出されるときに、SDカードがカメラ内に挿入されていないかご確認ください。

■補修用性能部品について

このカメラの補修用性能部品（その製品の機能を維持するために必要な部品）の保有年数は、製造打ち切り後5年を目安としています。

- 修理可能期間は、部品保有期間内とさせていただきます。なお、部品保有期間経過後も、修理可能な場合もありますので、ご購入店またはニコンサービス機関へお問い合わせください。水没、火災、落下等による故障または破損で全損と認められる場合は、修理が不可能となります。なお、この故障または破損の程度の判定は、ニコンサービス機関にお任せください。

■インターネットご利用の方へ

- ソフトウェアのアップデート、使用上のヒントなど、最新の製品テクニカル情報を下記の当社ホームページでご覧いただくことができます。

  http://www.nikon-image.com/jpn/support/

- 製品をより有効にご利用いただくため定期的にアクセスされることをおすすめします。

ニコンカスタマーサポートセンター　行

FAX:(03)5977-7499

【お問い合わせ承り書】 太枠内のみご記入ください

お問い合わせ日：　　　　　　　　年　　月　　日

お買い上げ日：　　　　　　　　年　　月　　日

製品名：　　　　　　　　シリアル番号：

フリガナ
お名前：

連絡先ご住所：□自宅　　□会社

〒

TEL:

FAX:

ご使用のパソコンの機種名：

メモリー容量：　　　　　　　　ハードディスクの空き容量：

OS のバージョン：　　　　　　　　ご使用のインターフェースカード名：

その他接続している周辺機器名：

ご使用のアプリケーションソフト名：

ご使用の当社ソフトウェアのバージョン名：

問題が発生した時の症状、表示されたメッセージ、症状の発生頻度：
（おわかりになる範囲で結構ですので、できるだけ詳しくお書きください）

※このページはコピーしてお使いください。

整理番号：

製品の使い方に関するお問い合わせ

<ニコン カスタマーサポートセンター>

全国共通のナビダイヤルにお電話ください。

0570-02-8000

一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます

営業時間：9：30～18：00（年末年始、夏期休業日等を除く毎日）
ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、（03）6702-0577 におかけください。ファクシミリでのご相談は、（03）5977-7499 に送信ください。

修理サービスのご案内

インターネットでの修理のお申し込み

下記 URL から「ニコン ピックアップサービス」のお申し込みができます。宅配便などでお送りいただいた場合などの「修理金額見積り」、「修理状況」、「納期」などもご確認できますのでご利用ください。

http://www.nikon-image.com/jpn/support/repair/

修理品のお引き取りを依頼される場合は

<ニコン ピックアップサービス>

下記のフリーダイヤルでお申し込みいただくと、ニコン指定の配送業者（ヤマト運輸）が、梱包資材のお届け・修理品のお引き取り、修理後のお届け・集金までを一括して提供するサービスです。

0120-02-8155

営業時間：9：30～18：00（年末年始12/29～1/4を除く毎日）
※左記のフリーダイヤルは、ニコン指定の配送業者（ヤマト運輸）にて承ります。

製品に関するお問い合わせは、上記のカスタマーサポートセンターへお願いいたします。
修理に関するお問い合わせは、下記の修理センターへお願いいたします。

修理品を宅配便などでお送りいただく場合の送り先と修理に関するお問い合わせは

<（株）ニコンイメージングジャパン　修理センター>

230-0052　横浜市鶴見区生麦2-2-26

0570-02-8200

一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます

営業時間：9：30～17：30（土曜日、日曜日、祝日、年末年始、夏期休業日など弊社定休日を除く毎日）
ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、（03）6702-0577（ニコンカスタマーサポートセンター）におかけください。

●修理センターには、ご来所の方の窓口がございません。宅配便のみお受けします。ご了承ください。

株式会社 ニコン
株式会社 ニコン イメージング ジャパン

Printed in China

YP0C02(10)

6MM77710-02